

令和2年度 山口市社会福祉協議会事業報告

(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

少子高齢化や人口減少が進み、地域社会における支え合いの弱体化、社会経済の担い手の減少等、地域社会を取り巻く環境は大きく変化する中、経済的困窮、介護、障がい、子どもに関する諸問題やこれらが複合した福祉課題が増加している。更に今年度は急速に拡大した新型コロナウイルス感染症により、様々な活動に制限がかかり、本会としても大幅な事業の見直しを余儀なくされた。

こうした中、本会としては、「第3次山口市地域福祉計画・山口市地域福祉活動計画」に掲げている重点事業を主体に事業を行ったが、地域福祉活動の根幹である要援護者への日常の見守り訪問活動については、今まで推進していた顔の見える緊密な見守り活動は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため十分行うことが出来ず、「新しい生活様式」の実践例を取り入れた形の工夫をせざるを得なかった。

また、全国的に経済活動自粛等に伴う失業や休業等を背景に、生活困窮世帯が急増し、そうした人びとの継続的な支援が必要であることから、山口県社会福祉協議会やパーソナル・サポートセンターやまぐちと連携しながら生活福祉資金(特例緊急小口資金、特例総合支援資金)の貸付を行い、その貸付件数は724件、貸付総額は2億5620万6千円(令和3年3月末現在)と未曾有の数字となっている。

介護保険法関連事業及び障害者総合支援法に基づくサービスについては、利用者との距離を保ち、職員が媒介者にならないように最大限の注意を払いながら、概ね通常とおりの活動を行った。

令和元年度から2年間事務局を引き受けた「中・四国都市社会福祉協議会連絡協議会」は、7月14日に開催した運営委員会で新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から研修会は中止、総会は書面議決の方法をとり、今後の開催の在り方の課題を抱えたまま、次期事務局引受の島根県松江市へ引き継ぐこととなった。

山口市阿知須総合支所の建て替えに伴い、昭和62年に旧阿知須町社会福祉協議会により建設された「阿知須社会福祉センター」等の基本財産の処分については、解体が8月28日付で完了した。

働き方改革関連法案の成立に伴い、中小企業扱いの本会は、令和3年4月から「同一労働同一賃金」の適用遵守が義務付けられている。本会はこれを契機に「同一労働同一賃金」に基づいた待遇差の改善を図るとともに、山口市から要請のあった「山口市会計年度任用職員制度」の例による運用を導入するため、その内容を盛り込んだ新就業関連規程を整備し、3月16日開催の第3回理事会に全部改正(案)及び制定(案)として上程し議決された。今後は、新就業関連規程に基づいた計画的な運用が求められる。

第2次山口市社会福祉協議会活動基盤強化計画は、3年次に当たり組織強化、財源確保、人材育成の3つの柱で事業進行及び評価シートを作成し進捗状況の確認作業を行った。令和2年度は、新型コロナウイルス感染症への対応を最重要課題として取り組んだが、今後は新型コロナウイルス感染症が収まった後を見据えた、新しい形での基盤強化を模索する必要があるため、令和3年度に1年前倒しで第3次計画を策定することが決まった。

重点事業Ⅰ

「第3次山口市地域福祉活動計画」の推進

主要事業

- 1 小地域福祉活動計画に基づく地区社会福祉協議会活動の支援
- 2 地域福祉を推進する人材の育成と専門職等ネットワークの構築
- 3 見守り訪問活動及び災害時の地域支え合い活動の仕組みづくりの推進
- 4 地域子育て支援機能の充実
- 5 社会福祉法人の地域公益活動の支援
- 6 地域福祉権利擁護事業及び法人後見事業の充実
- 7 法律相談や貸付相談等の生活支援事業の推進
- 8 介護保険法関連事業及び障害者総合支援法に基づくサービス事業の推進

重点事業Ⅱ

「第2次山口市社会福祉協議会活動基盤強化計画」の推進

主要事業

- 1 自律した法人運営と「働き方改革」の推進
- 2 財源の新規開拓と効果的な法人及び事業運営による経営基盤の強化
- 3 社協の経営理念（※注）に基づいた計画的な人材の育成・確保の仕組みづくり

（※注）市町社協の経営理念（「社協・生活支援活動強化方針」より）

- （1）住民参加・協働による福祉社会の実現
- （2）地域における利用者本位の福祉サービスの実現
- （3）地域に根ざした総合的な支援体制の実現
- （4）地域の福祉ニーズに基づく先駆的な取り組みへのたゆまない挑戦

重点事業 I

「第3次山口市地域福祉活動計画」の推進(平成30年度～令和4年度)

1 「山口市地域福祉計画・山口市地域福祉活動計画」の実行

○事業内容: 平成29年度に策定した「第3次山口市地域福祉計画・山口市地域福祉活動計画」実行の3年次にあたり本年度も、「みんなでもに支え合い、誰もがその人らしく、住みなれた地域で安心して暮らせる福祉のまちづくり」を理念に、「地域福祉を推進するひとづくり」「安全に安心して生活できる地域の輪づくり」「利用しやすい福祉サービスの仕組みづくり」を基本目標に計画に基づく活動を推進した。

【山口市地域福祉活動計画の実行(3年次の主な取り組み)】

基本目標 1 地域福祉を推進するひとづくり

活動目標1 地域福祉活動団体等の活動の推進と人材の育成

活動名	市社協の取り組み	計画年次
担い手の確保と育成の支援	<ul style="list-style-type: none">・山口市ボランティア連絡協議会の主催で、ボランティア相互の連携を図るため交流会を開催した。 開催日:11月17日(火) 会 場:山口県総合保健会館 多目的ホール 参加者:65名・災害ボランティア研修会 新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催中止としたが、YouTube 等オンラインを使用する方法を検討した。・山口市有償在宅福祉サービスの担い手を養成するため、担い手養成講座を開催した。 開催日:令和3年2月17日(水)、24日(水) 会 場:山口市社会福祉協議会南部支所 2階 内 容:1回目:本サービスの説明、事例発表、高齢者の特性について 2回目:相手に寄り添う片付けについて 参加者:1回目:17名 2回目:17名	H30～R4
団体間の交流促進と効果的な情報発信	<ul style="list-style-type: none">・本会の広報紙「こちら社協です」、「ボランティアやまぐち」で各団体の周知を行った。・山口市ボランティア連絡協議会加入グループの新規会員獲得のため、また、市民の皆様に対するボランティアグループの情報提供を目的として、本会ホームページに加入グループの一覧表を掲載した。・山口市ボランティア連絡協議会の主催で、ボランティア相互の連携を図るため交流会を開催した。	H30～R4
新たな財源の確保	<ul style="list-style-type: none">・コロナ禍で大変な状況の中、既存の特別会費や共同募金にて新たな事業所に協力依頼し、財源の確保に努めた。	H30～R4

活動目標2 福祉教育の推進とユニバーサルデザインの啓発

活動名	市社協の取り組み	計画年次
福祉体験学習の推進	<p>・各地区福祉員協議会等で福祉体験学習を実施した。(実施地区:陶、仁保小鯖、嘉川)</p> <p>・市内各小・中学校からの福祉体験学習の相談や福祉体験学習器材貸出の依頼に対応した。</p> <p>・平成22年度から福祉教育推進協力校として希望校の中から毎年小学校2校・中学校2校を指定し、福祉教育の推進を図った。(年度によって指定校数の変更あり)高等学校は30年度から指定を開始した。</p> <p>平成22・23年度 平川小学校、鑄銭司小学校、阿東中学校 平成23・24年度 大殿小学校・白石小学校・瀧上中学校 平成24・25年度 小鯖小学校・小郡小学校・阿東東中学校 平成25・26年度 島地小学校・さくら小学校・川西中学校・仁保中学校 平成26・27年度 佐山小学校・八坂小学校・宮野中学校・徳地中学校 平成27・28年度 大内小学校・小郡南小学校・興進小学校・湯田中学校 平成28・29年度 名田島小学校・中央小学校・白石中学校・小郡中学校 平成29・30年度 湯田小学校・二島小学校・大殿中学校・大内中学校 平成30・31年度 大内南小学校・秋穂小学校・平川中学校・秋穂中学校 中村学園中村女子高等学校</p> <p>令和元・2年度指定 良城小学校・仁保小学校・生雲小学校・阿知須中学校 令和2・3年度指定 宮野小、陶小、徳佐小、二島中 附属高等学校佐波分校</p>	H30～R4
関係機関・団体の連携強化	<p>・福祉教育推進協力校を対象とした情報交換会の開催</p> <p>例年学校同士の情報交換会として集まりの場に設けていたが、新型コロナウイルス感染予防のため集まりの場は設けず、各学校にアンケートを送付し、その回答を学校に返し、紙面上での情報交換を行った。</p> <p>回答結果:41校送付し、30校回答有り</p>	H30～R4
思いやりの心を育むためのふれあいの場づくり	<p>・八坂小学校では八坂保育所の清掃活動を行い、地域住民や園児との交流を図った。</p>	H30～R4
ユニバーサルデザインやバリアフリーの普及・啓発	<p>・山口市内の学校に、ユニバーサルデザイングッズを紹介し、啓発を図った。</p>	H30～R4

活動目標3 企業の社会貢献活動や福祉施設の地域貢献活動の推進

活動名	市社協の取り組み	計画年次
社会・地域貢献活動の周知・啓発、情報交換の場づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・中国電力株式会社山口支社及び山口営業所による施設での電気設備の点検・清掃活動 (照明器具(交換含む)、空調、換気扇等の清掃活動等) ○開催日:10月21日(水) 場 所:清光園 ○開催日:11月4日(水) 場 所:山口育児院 ・山口ヤクルト販売株式会社による地区福祉員協議会定例会やサロンでの健康講座 ・企業のエコキャップ回収への協力 ・企業ボランティア活動促進モデル事業所の推薦 本年度モデル事業所として、「はるやま商事株式会社はるやま山口店」を山口県社会福祉協議会へ推薦し、指定を受けた。その他、企業の地域における社会貢献活動について活動の紹介等を行った。 ・企業貢献活動の取り組みについて、事例を通して学び、県内における企業等の社会貢献活動の充実と促進を図ることを目的に企業の社会貢献活動の情報交換会を山口県社会福祉協議会と共催で開催した。 開催日:11月19日(木) 会 場:山口県社会福社会館 	H30～R4
社会福祉法人地域公益活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・山口市社会福祉法人地域公益活動推進協議会の一員として、市内の社会福祉法人の連携・協働による地域公益活動に取り組み、制度の狭間の福祉課題の解決に向けた協議と仕組みづくりを推進した。 	H30～R4

基本目標2 安全に安心して生活できる地域の輪づくり

活動目標1 地域の生活課題の発見・把握と解決の仕組みづくり

活動名	市社協の取り組み	計画年次
地域の生活課題や住民の個別課題を発見・把握する仕組みの充実	<ul style="list-style-type: none"> ・第2次小地域福祉活動計画の秋穂地区社協、阿東地区社協、第3次計画の大内地区社協、串地区社協、第4次計画の大殿地区社協、鑄銭司地区社協において、策定委員会開催にあわせて、生活課題の把握を行うため会議等を行った。 	H30～R4

<p>地域の生活課題や住民の個別課題を解決する活動の充実</p>	<p>(第2次計画)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・秋穂地区社協、阿東地区社協を指定し、第2次計画策定の支援を行った。 <p>(第3次計画)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大内地区社協、串地区社協を指定し、第3次計画策定の支援を行った。 <p>(第4次計画)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大殿地区社協、鑄銭司地区社協を指定し、第4次計画策定の支援を行った。 ・本会地区担当職員が地区福祉員定例会や地区民生委員児童委員協議会定例会に出席し、住民の生活(福祉)課題の情報収集及び情報提供を行った。 ・各地区について、地域の要援護者の把握と見守り方法の確認を行った。特に、見守り訪問グループ員研修会で民生委員・児童委員や福祉員、地域包括支援センター職員、地区社協職員、本会職員などが一緒になり、コロナ禍での見守り方法や効果的にすすめる方法、また、個人情報の取り扱いについてなどを議題に研修会を行った。 	<p>H30～R4</p>
----------------------------------	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	---------------

活動目標2 地域交流の場づくり

活動名	市社協の取り組み	計画年次
<p>高齢者の交流の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・サロン開設に関する相談支援を行った。 ・サロン(3サロン)の開設支援を行った。 ・本会登録サロン(267サロン)の活動支援を行った。 ・ふれあいいきいきサロン(41サロン)の運営費支援を行った。 ・サロン情報紙を発行(年6回)した。 ・器材の貸出(151件)を行った。 ・高齢者サロンと子育てサロン合同でふれあい・いきいきサロン交流会の開催をした。 <p>開催日:11月9日(月) 会場:山口県総合保健会館 内容:サロンの現状について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山口県社会福祉協議会、山口市社会福祉協議会 事前アンケートの結果報告 サロンでできる簡単フェイスシールドづくり グループワーク「みんなで話してみませんか ～コロナ禍・新しい生活様式でのサロン活動～」 <p>参加者: 1部44名 2部79名</p>	<p>H30～R4</p>
<p>子育て家庭の交流の推進</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者サロンと子育てサロン合同でふれあい・いきいきサロン交流会を開催した。 <p>開催日:11月9日(月) 会場:山口県総合保健会館</p> <p>参加者: 1部44名 2部79名</p>	<p>H30～R4</p>

障がい者の交流の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・山口市障害者団体連合会が開催する第14回山口市ふれあいレク大会への協力を、毎年、市社協登録ボランティアグループへ依頼しているが、令和2年度は新型コロナウイルスの影響により中止となった。 	H30～R4
地域住民の交流の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・福祉の種まきリーディング事業を実施(12件)し、地域福祉活動の支援及び活動強化を行った。 ・広報紙「こちら社協です」や地区民生委員児童委員協議会、地区福祉員協議会定例会等でサロン活動について周知を図った。 ・地域住民グループ支援事業の実施(63グループの内、補助金交付26グループ)により地域住民の交流を支援した。 	H30～R4

活動目標3 地域の支え合い活動の推進

活動名	市社協の取り組み	計画年次
一人暮らし高齢者等の見守り訪問活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・地区社協が主催する小地区見守り訪問グループ員研修会の開催を支援した。特にコロナ禍による高齢者が孤立しないための見守り方法や個人情報の取り扱いについてなど、基本的な部分について周知を図った。 ・平成30年度から「高齢者保健福祉総合調査票」で見守り対象者を把握し、民生委員が調査した結果を市及び本会で取りまとめた。(見守り訪問対象者総数4,086件、総グループ数826グループ) ・県主催の188見守りネットワーク連携会議に出席した。 ・「ふれあい型給食サービス事業」を推進した。 実施地区:15地区(大殿・白石・湯田・大内・宮野・吉敷・平川・陶・鑄銭司・名田島・秋穂二島・嘉川・佐山・小郡・阿東) 総配食数:9,690食 ・給食サービス関係者を対象に食品衛生(食中毒対策)研修会を実施した。 開催日:7月21日(火) 会 場:山口県総合保健会館 参加者:45名 	H30～R4
認知症高齢者等の見守り活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・他地域で実施されている認知症高齢者等に対する取組みについての情報を収集した。 ・鑄銭司地区社協で認知症模擬訓練を実施され、小郡地区社協が参加をされた。 	H30～R4
地域の支え合い活動の仕組みづくり	<ul style="list-style-type: none"> ・生活支援コーディネーターの設置 本会に配置した第1層生活支援コーディネーターと各地域包括支援センターに配置された第2層生活支援コーディネーターとで地区社協や各種会議に出席し、地域課題や地域が求めている活動の担い手について等の聞き取りや、支え合いの取り組み事例の情報提供等を行った。 ・介護予防・生活支援サポーター養成講座の開催 《基礎編》 開催日:令和3年2月3日(水) 会 場:山口市社会福祉協議会南部支所 参加者:26名 	H30～R4

	<p>《応用編》</p> <p>開催日：令和3年2月5日（金）</p> <p>会 場：山口市社会福祉協議会南部支所</p> <p>参加者：24名</p> <p>※百歳体操サポーター養成講座として開催</p> <p>・地区社協の会議及び小地域福祉活動計画策定委員会等を通じて、地区社協の運営・活動支援を行った。</p>	
--	----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--

活動目標4 災害時の要配慮者支援活動の推進

活動名	市社協の取り組み	計画年次
地域の共助による避難支援体制づくりの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・小地域福祉活動計画へ災害支援に関する計画を盛り込むよう助言した。 ・災害時等地域支え合いマップの作成（更新地区：湯田・仁保・小鯖・大内・宮野・陶・鑄銭司・名田島・秋穂二島・嘉川・佐山地区）を支援した。 	H30～R4
災害ボランティア活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・災害ボランティア研修会は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止としたが、YouTube等オンラインを使用した方法を検討した。 ・災害ボランティアセンター模擬訓練 （小郡地区）開催日：令和3年2月6日（土） 会 場：山口市小郡ふれあいセンター 参加者：91名（内スタッフ9名含） ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため教室形式で実施。 （阿東地区） 開催日：令和3年3月26日（金） 会 場：阿東老人福祉センター 参加者：31名（内スタッフ3名含） ※平成25年に被災した際、ボラセンの運営が課題であったことから毎年1回の研修会を実施。 	H30～R4

活動目標5 安全に暮らせる交通安全・防犯活動の推進

活動名	市社協の取り組み	計画年次
児童、生徒等の安全の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・小地域福祉活動計画に地区の課題として挙げておられる地区では、策定委員会や実行委員会において、対応策を検討・実施されている。 	H30～R4
地域の防犯体制の充実・強化	<ul style="list-style-type: none"> ・小地域福祉活動計画に地区の課題として挙げておられる地区では、策定委員会や実行委員会において、対応策を検討・実施されている。 	H30～R4
詐欺、悪質商法等からの被害防止の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・山口南警察署が発行する『メルマガニュース』を地区福祉員協議会定例会において配布し、地域のひとり暮らし高齢者等へ注意喚起した。 	H30～R4

	・山口市消費者生活センターや山口県防犯連合会と協力し、見守り関係者へ周知を図った。	
--	-------------------------------------------	--

活動目標6 民生委員・児童委員及び福祉員活動の推進

活動名	市社協の取り組み	計画年次
民生委員・児童委員の活動強化と住民への周知・啓発	<ul style="list-style-type: none"> ・山口市民生委員児童委員協議会の3部会で研修会を開催し、活動の充実を図った。 ・コロナ禍のため、地区毎に対象者の割当を行い、交流研修会を実施できなかったが、各地区で見守り方法や、相談体制の在り方など全国民生委員児童委員連合会が作成した、「訪問活動、相談活動の基本」で、研修会を実施し、質の向上を図った。 ・地域の見守り活動について「小地区見守り訪問活動とは」のDVDで研修を行った。 	H30～R4
福祉員活動の強化と住民への周知・啓発	<ul style="list-style-type: none"> ・新任福祉員研修会を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。 開催予定日：5月27日(水) 会場：山口県総合保健会館 ・福祉の輪づくり運動関係者研修会を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止した。 開催予定日：11月16日(月) 会場：山口県総合保健会館 ・県社協主催の地域福祉推進セミナーは新型コロナウイルス感染拡大防止により中止となったため、福祉員へ案内を行わなかった。 ・改選後の初年度であり、福祉員の約半数が新任福祉員となった。新型コロナウイルスの影響により、新任福祉員研修会等が開催できなかったが、それに代わり各地区福祉員定例会等で、福祉員活動について地区担当職員より説明を行った。 	H30～R4
民生委員・児童委員と福祉員の連携の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・地区において民生委員児童委員協議会と福祉員協議会が合同で見守り等の研修会を開催するよう支援するとともに、会議や研修会に出席し、見守り方法の注意点などを助言した。 ・共通認識を図るため、福祉サービス等の情報提供等を行った。 	H30～R4

基本目標3 利用しやすい福祉サービスの仕組みづくり

活動目標1 新たな包括的支援体制づくり

活動名	市社協の取り組み	計画年次
相談支援体制の充実	・民生委員・児童委員ブロック別研修会において初期相談に関する窓口等を周知した。(延3回)	H30～R4

	<ul style="list-style-type: none"> ・民生委員・児童委員の部会において相談機関の窓口についての研修会を行った。 ・各地区民生委員児童委員協議会へ、「訪問活動、相談活動の基本」のDVDを貸し出し、研修会を実施した。 ・民生委員・児童委員の定例会において地域包括支援センター職員が出席し、高齢者の初期相談に速やかに対応している。 ・友愛訪問活動(小地区見守り訪問活動)研修会等において、相談支援のポイントの説明を行った。 ・県社協主催の相談関係機関相談員研修会に参加した。 	
<p>福祉課題等の解決に向けた取組みと福祉関係機関・団体との連携強化</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地区福祉員協議会に出席し、地域の福祉ニーズの把握に努めた。 ・地域福祉権利擁護事業に関する相談は、地域包括支援センター、ケアマネジャー、病院及び障がいの相談支援事業所等から幅広くあり、事業周知を行った。必要時には成年後見に関する関係機関と連携を図った。 ・法人成年後見事業受任件数 3件 ・福祉の輪づくり運動推進者に対して研修会を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となった。 開催予定日:11月16日(月) 会場:山口県総合保健会館 ・山口市介護サービス提供事業者連絡協議会が開催された研修会の周知を関係機関に行った。 ・福祉施設や事業者が行う専門的研修会について、関係機関に周知を行った。 ・ホームページにて当事者団体の把握と紹介を行った。 ・市社協広報紙にて、苦情解決制度及び第三者委員会制度の周知を行った。 	<p>H30～R4</p>
<p>制度横断的な福祉サービス提供の仕組みづくり</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・制度の狭間の問題に対応できる制度の周知を福祉員協議会等で行った。(有償在宅福祉サービス事業・チェアキャブ貸出事業・移送サービス事業・福祉機器リサイクル事業等) ・認定特定非営利活動法人支えてねネットワークと共催で一般公開講座の開催を支援した。 一般公開講座:7月12日(日) 会場:小郡地域交流センター 対象者:ひきこもりのご家族等 参加者:34名 	<p>H30～R4</p>
<p>新たな包括的支援体制の構築</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・見守り訪問グループ等の充実を図ることにより、問題の早期発見に努めた。 ・生活困窮者に対して、相談支援、各種資金の貸付や食糧支援を行うとともにパーソナル・サポートセンターやまぐち等と連携し、自立に向けて調整を行った。 ・生活支援コーディネーターを、本所に2名体制で配置し、各地域包括に配置された2層の生活支援コーディネーターと連携をとりながら、高齢者等のニーズ把握及び支援体制づくりに向けた協議を行った。 	<p>H30～R4</p>

主要事業

1 小地域福祉活動計画に基づく地区社会福祉協議会活動の支援

(1) 小地域福祉活動計画策定及び実行委員会の開催 * 受託事業

事業名	地区社協名	会議回数
第1次小地域福祉活動計画の策定	全地区実施済み	—
第2次小地域福祉活動計画の策定 (令和3年度～令和7年度) ※ 座談会等を開催し、第2次計画を策定する	秋穂	3
	阿東	4
第3次小地域福祉活動計画の策定 (令和3年度～令和7年度) ※ 座談会等を開催し、第3次計画を策定する	大内	7(他部会あり)
	串	4
第4次小地域福祉活動計画の策定 (令和3年度～令和7年度) ※ 座談会等を開催し、第4次計画を策定する	大殿	8
	鑄銭司	2
第2次小地域福祉活動計画実行委員会の開催 (平成29年度～令和3年度)	出雲	3
	八坂	2
第2次小地域福祉活動計画実行委員会の開催 (平成30年度～令和4年度)	島地	0
第2次小地域福祉活動計画実行委員会の開催 (令和元年度～令和5年度)	柚野	2
第2次小地域福祉活動計画実行委員会の開催 (令和2年度～令和6年度)	小郡	4
	阿知須	2
第3次小地域福祉活動計画実行委員会の開催 (平成29年度～令和3年度)	仁保	2
	佐山	12
第3次小地域福祉活動計画実行委員会の開催 (平成30年度～令和4年度)	吉敷	4
	陶	3
	名田島	2
第3次小地域福祉活動計画実行委員会の開催 (令和元年度～令和5年度)	大歳	3
第3次小地域福祉活動計画実行委員会の開催 (令和2年度～令和6年度)	湯田	3
	平川	4
第4次小地域福祉活動計画実行委員会の開催 (平成30年度～令和4年度)	小鯖	2
第4次小地域福祉活動計画実行委員会の開催 (令和元年度～令和5年度)	白石	3
	宮野	2
	秋穂二島	3

事業名	地区社協名	会議回数
第4次小地域福祉活動計画実行委員会の開催 (令和2年度～令和6年度)	嘉川	3

《成果と課題》

「小地区地域福祉活動計画」の策定に着手した地区は、現行計画の中で取り組んできた5年間の各事業を総点検する機会となった。

また、その他の地区で実施された「小地域福祉活動計画実行委員会」は、現行小地域福祉活動計画の進捗管理(進捗状況の確認)の場や地域づくり計画等との調整を行う場となっている。コロナ禍の中であったため、実行委員会を開催できない地区もあった。

なお、地域の福祉課題としてコロナ禍ならではの課題(見守りの方法等)がでており、それに対応できるように地域、行政及び関係機関と課題に向けて対応することが必要になってきている。

(2) 山口市地区社会福祉協議会会長・事務局長・事務局員連絡会議の開催

新型コロナウイルスの影響により、本会議は中止となった。ただし、例年同時開催する山口市地区社会福祉協議会連絡会の中で、本会議で実施する「市社協の事業説明」は実施した。

《成果と課題》

例年、本会議にて「市社協の事業説明」を行っていたが、今回は山口市地区社会福祉協議会連絡会の中で説明を行った。会議が繁雑しているため、この形を継承していくことを検討したい。

(3) 山口市地区社会福祉協議会連絡会の運営

①山口市地区社会福祉協議会連絡会役員会

開催日	内 容	会 場
5月19日(火)	協議事項 (1)本連絡会の開催について(コロナ禍のため) (2)本連絡会役員を選任について (3)市社協の評議員の推薦について (4)地区社協連絡会事業計画について (5)各担当課からの説明について	山口市社会福祉協議会 本所会議室
令和3年 3月11日(木)	協議事項 (1)本連絡会の開催について(コロナ禍のため) (2)本連絡会役員改選について (3)令和3年度地区社協連絡会事業計画(案)について	山口市社会福祉協議会 本所会議室

②山口市地区社会福祉協議会連絡会

開催日	内 容	会 場	参加 地区社協数
6月8日(月)	協議事項 ①役員選任 ②新型コロナウイルスに関する事業調整 ③市社協各地区担当からの事業説明等	山口県労働者福祉 文化中央会館 4階 大会議室	25

開催日	内 容	会 場	参加 地区社協数
令和3年 3月16日(火)	協議事項 ①令和3年度 地区社会福祉協議会連絡会事業 計画(案)について ②令和3年度山口市社会福祉協議会事業計画 (案)について	山口県総合保健会 館 2階 第1研修室	25

③山口市地区社会福祉協議会連絡会研修会

開催日	内 容	会 場	参加 地区社協数
8月28日(金)	(1)災害ボランティアセンター模擬訓練	山口県総合保健会館 2階 第1研修室	24
11月26日(木)	(1)グループワークの開催 ・「会長」グループ ・「事務局長」グループ ・「事務局員」グループ	維新みらいふスタジア ム	22

《成果と課題》

市内25地区社会福祉協議会会長をもって組織する「山口市地区社会福祉協議会連絡会」が平成28年12月14日に発足され5年となる。新型コロナウイルス感染拡大予防のため会議の人数を減らしたり、時間を短縮して会議や研修会を行った。今後も、コロナ禍の中ではあるが、引き続き地区社協間の横のつながりを構築するため、情報交換会や自主研修会等を企画し、実施する。

2 地域福祉を推進する人材の育成と専門職等ネットワークの構築

(1) 福祉の輪づくり運動関係者及び福祉員研修会の開催

開催日	11月16日(月)の予定だったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
会 場	山口県総合保健会館
参加者数	—
内 容	—

《成果と課題》

新型コロナウイルスの影響により、不特定多数が集まる本研修会は、感染拡大防止のため中止となった。コロナ禍により、孤独死や詐欺被害等が増加しており、人と人とのつながりが薄れていることが問題として挙げられる。対面での接触をなるべく避ける必要もある中で、どのような見守りを行っていくかが課題となっている。次年度は、まず研修会をコロナ禍でも開催できるような方法を工夫し、課題に沿った内容を検討していく。

(2) 山口市地域住民グループ支援事業の推進 * 受託事業

○事業内容: 地域において高齢者の生きがいと社会参加を促すとともに、社会的孤立感の解消、自立生活の助長及び要介護状態になることの予防を目的とするふれあい・いきいきサロン等の自主活動グループや山口市高齢者生きがいセンターの管理運営団体に対して支援を行った。

○ 補助金交付内容

【地域住民グループ】 全26箇所

グループ	運営費支援		会場費支援
	新規	2年目	
ふれあい・いきいきサロン	3箇所	6箇所	9箇所
サロン以外のグループ	1箇所	2箇所	5箇所
合計	4箇所	8箇所	14箇所

【高齢者生きがいセンター】 全4箇所

No.	地区	センター名
1	大内	大内の館
2	宮野	宮野やすらぎの里
3	名田島	いきいきやかた
4	秋穂二島	もやいの里

《成果と課題》

ふれあい・いきいきサロングループは、山口市全体で3箇所の新しいグループが活動を開始され、運営費の補助等を行った。昨年度に比べ新規の登録グループが減少したが、令和3年度に設立する新規グループの相談も複数受けている。今後も活動についての広報紙への掲載や、民生委員・児童委員及び福祉員、地区社協等の会合にて説明、PRをする場を設けていきたい。

(3) ふれあい・いきいきサロンの推進

○事業内容:ひとり暮らし高齢者をはじめ、地域に住んでいる方々が生活に寂しさを感じたり、地域の中で孤立したり、家に閉じこもることがないように地域の中で楽しく過ごせる場をつくる活動を推進する。

○登録サロン数:267箇所

○新規登録サロン:3箇所

地区	サロン名	開催日
小 鯖	ふれあいいきいきサロンさばじ	不定期 年6回
宮 野	いきいきサロン下恋路	第4火曜日
宮 野	ふれあい・いきいきサロン竜花	第1木曜日

○ふれあい・いきいきサロンレクリエーション講習会 実施状況

・実施回数:全10回実施(予定は16回であったが、新型コロナウイルス感染症防止のため、4~7月・9月分を自粛、中止)

・延参加者 130名

・講習会の内容:笑って元気に笑いヨガ、サロンでできる小物作り、健康体操、演芸、リースづくり、元気!骨コツ学、銭太鼓(2回(内、1回中止))、軸体操で体を整えよう、折り紙、アロマとインフルエンザ予防、ガンバルーン体操、お気軽講座市民の健康づくり、セルフ整体とセルフリンパで健康づくり、植物のクラフトづくり

○ふれあい・いきいきサロン講師派遣事業(サロンお助け隊) 実施状況

・登録講師:56(個人・団体) ・派遣実績:57回

○ふれあい・いきいきサロン器材貸出 実施状況

・貸出実績 151回

○子育てサロン担い手交流会の開催

・新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

○ふれあい・いきいきサロン交流会の開催

※高齢者サロンと子育てサロン合同で開催

①開催日:11月9日(月)

②会 場:山口県総合保健会館

③内 容:サロンの現状について

・山口県社会福祉協議会

・山口市社会福祉協議会

④事前アンケートの結果報告

⑤サロンでできる簡単フェイスシールドづくり

⑥グループワーク

「みんなで話してみませんか～コロナ禍・新しい生活様式でのサロン活動～」

⑦参加者: 1部44名 2部79名

《成果と課題》

本年度は新規に登録されたサロンが3箇所あった。交流会では高齢者サロンと子育てサロン合同で新型コロナウイルスの感染対策をしながら、1部・2部と人数を分けて開催した。また、本会保有貸出器材の写真をホームページに掲載し、ゲームの貸出の促進につながるように努めた。

講師派遣事業では、新しい演芸、物作り、身体の施術や講話を行う講師登録が増えた一方、活動を中止される講師もいた。新しい人材の発掘が課題である。

(4) 福祉の種まきリーディング事業の推進 * 受託事業

事業内容:地区社会福祉協議会、ボランティアグループ、福祉団体等と協力して、地域住民が気軽に地域福祉活動に参加できる事業として実施し、地域に福祉活動の芽を育てることを目的とする。

No.	地 区	事業区分/事業名	実施団体名	実施日	実施場所
1	大 殿	地区サロン連絡会議開催 事業/大殿地区サロン交 流会	大殿地区社会福祉 協議会	10月31日(土)	大殿地域交流センター
2	白 石	地区サロン連絡会議開催 事業/いきいきサロン交 流会	白石地区社会福祉 協議会	11月13日(金)	白石地域交流センター
3	小 鯖	地区サロン連絡会議開催 事業/ふれあい・いきいき サロン連絡会	小鯖地区社会福祉 協議会	令和3年 3月12日(金)	小鯖地域交流センター
4	宮 野	地区サロン連絡会誼開催 事業/宮野地区サロン運 営連絡協議会	宮野地区社会福祉 協議会	令和3年 2月16日(火)	宮野地域交流センター

No.	地区	事業区分／事業名	実施団体名	実施日	実施場所
5	平川	地区サロン連絡会議開催事業／ふれあい・いきいきサロン連絡会	平川地区社会福祉協議会	10月30日(金)	平川地域交流センター
6	大歳	地区サロン連絡会議開催事業／いきいき・サロン交流会	大歳地区社会福祉協議会	令和3年 2月17日(水)	大歳地域交流センター
7	秋穂二島	地区サロン連絡会議開催事業／地区サロン連絡会議	秋穂二島地区社会福祉協議会	令和3年 2月2日(火)	二島地域交流センター
8	小郡	地区サロン連絡会議開催事業／小郡地区サロン代表者会議	小郡地区社会福祉協議会	令和3年 3月15日(月)	山口市社会福祉協議会 南部支所2階
9	小郡	「避難行動要支援等」の避難訓練事業〔災害ボランティア養成事業も可〕／コロナ禍での小郡地区災害ボランティアセンター研修会	小郡地区社会福祉協議会	令和3年 2月6日(土)	山口市小郡ふれあいセンター
10	秋穂	地区サロン連絡会議開催事業／地区サロン連絡会議	秋穂地区社会福祉協議会	12月9日(水)	秋穂総合支所第2会議室
11	徳地	学校と地域の福祉教育協働事業／徳地地区ふれあいボランティア	八坂小学校	10月29日(木)	八坂保育所
12	阿東	「避難行動要支援等」の避難訓練事業〔災害ボランティア養成事業も可〕／令和2年度阿東地区災害ボランティア研修	阿東地区社会福祉協議会	令和3年 3月26日(金)	阿東老人福祉センター 大集会室(地福)

《成果と課題》

新型コロナウイルス感染拡大防止により、集いの場が自粛、中止となったため、昨年に比べ各地区の取り組みが減少した。しかし、地区で工夫をされ実施された事業もあり、今後も、地区への周知方法を検討する。

(5) 地域活性化推進事業の推進

地域活性化推進事業は、本会が旧支部ごとに築いてきた地域の特性を活かした地域福祉活動を引継ぎ、心豊かな地域づくりの実現を図るものである。

1) 阿知須地域活性化事業の実施

○あじす元気ハウスの管理運営

・事業内容：阿知須の旧商店街の空き地に建設した「あじす元気ハウス」の管理運営を行い、地域での交流

を促進する。

- ・実施箇所：山口市阿知須4226番地(寺河内区)
- ・組 織：阿知須出張所内に元気ハウス運営委員会を設置し運営を行う。
- ・提供サービス
 - * ぼらんていあショップの運営(毎週木曜日と10日市開店) コロナのため中止
 - * ふれあい祭り 11月10日(日)開催予定(A、B、C棟を終日開放)コロナのため中止
 - * 地域住民に開放(趣味の会、同窓会、自治会定例会、自主グループの各種研修会など)
 - * 障害のある方、その家族を対象とした憩いの場の開設(地域活動支援センターやまぐち事業)
- ・利用人員 A棟 0名(前年度393名)
B棟 436名(前年度800名)
C棟 1,140名(前年度1849名)

《成果と課題》

地域に元気ハウスがあることが浸透してきている。

今後も高齢者、障がい者、子どもなど誰もが、総合的な支援を手軽に利用でき、地域住民も主体的に運営に参画する総合循環型事業の取り組みを地域に周知し、理解を深めながら地域に根差した拠点として展開していきたい。 * 新型コロナウイルス感染拡大防止で密集等防ぐ対応を行ったため利用者は減った。

2) 徳地地域活性化事業の実施

<19地区福祉部会の活動の充実・強化>

- ・事業内容：徳地地区には、福祉員を中心に民生委員・児童委員、自治会長等で編成された福祉部会が19地区に設置され、運営支援を運営主体である徳地5地区社会福祉協議会や徳地地区社会福祉協議会連絡協議会と連携して行っている。
「誰もが安心して暮らせる地域づくり」を目的に、福祉部会員による情報共有やふれあい会(高齢者を中心とした地域交流行事)の開催等が行なわれている。
- ・支援内容 ①地区福祉部会への会議出席及び活動支援
②地区福祉部会への補助金交付
③各地区ふれあい会等への参加及び企画補助

・各地区福祉部会(18地区毎)の開催実績

※深谷地区福祉部会はコロナウイルス感染防止のため活動自粛。

開 催 数:41回開催 延べ人数:375人

<各地区福祉部会のふれあい会の開催及び友愛訪問活動実績等>

部会名	開催日	内 容	参加者数
柚木	8月25日(火)	第1回ふれあい会(季節ごとの健康づくりのお話と交流会)	13名
	10月27日(火)	第2回ふれあい会(グランドゴルフ大会)	27名
	11月17日(火)	第3回ふれあい会(スカットボールと交流会)	11名
釣山	11月 5日(木)	第1回ふれあい会(松崎ひかりさんの体操・ポッチャ・交流会) 【野谷地区部会と共同開催】	14名
	令和3年3月25日(木)	第2回ふれあい会(ポッチャ・交流会) 【野谷地区福祉部会と共同開催】	13名
野谷	11月17日(火)	第1回ふれあい会(松崎ひかりさんの体操・ポッチャ・交流会) 【釣山地区福祉部会と共同開催】	14名

部会名	開催日	内 容	参加者数
野谷	令和3年2月	友愛訪問(福豆、可燃ごみ袋配布)	19戸
	令和3年3月25日(木)	第2回ふれあい会(ポッチャ・交流会) 【釣山地区福祉部会と共同開催】	13名
八坂	10月19日(月)	第1回ふれあい会(百歳体操と茶話会)	35名
	令和3年3月16日(火)	第2回ふれあい会(ゲームと茶話会) ※コロナウイルス感染拡大防止のため、中止	
船路	令和3年2月8日(月)	友愛訪問活動(マスク配布)	
引谷	9月	友愛訪問活動(不織布マスク配布)	全戸
三谷	10月20日(火)	第1回ふれあい会(山本孝子さんの音楽療法とくじ引きと交流会) 百歳体操の支援(ふれあい会参加者へ三谷地区百歳体操の活動のチラシを使い、参加を呼び掛けた)	24名
	令和3年3月18日(木)	第2回ふれあい会(伊藤さんの消費生活のお話と交流会)	23名
深谷		コロナウイルス感染予防のため、活動を自粛	
小古祖	7月～令和3年3月	百歳体操(小古祖地区)の支援	
関・才谷・ 伏野・須路・ 中村	8月～令和3年3月	百歳体操(関地区・才谷地区、伏野地区)の支援	
	12月20日(日)	友愛訪問活動(75歳以上の方へマスク及びお菓子の配布)	138名
	3月22日(月)	第1回ふれあい会(須路上・下地区でカラオケ、茶話会を実施)	
堀・ 庄方	11月～3月	百歳体操の支援(堀地区、庄方地区)	
	11月～12月	友愛訪問活動(ハンドソープ配布)	全戸
伊賀地	令和3年3月	百歳体操(伊賀地地区)及び自治会活動の支援	
岸見	令和3年2月	百歳体操(岸見地区)の支援	
	令和3年2月28日(日)	友愛訪問活動(75歳以上の独居の方へひな祭り菓子配布)	23名
島地	12月	百歳体操(さくら元気体、宮の前体操部)の支援	
藤木	令和3年2月25日(木)	友愛訪問活動(ハンドソープ配布)	79戸
上村	令和3年1月27日(水)	第1回ふれあい会(健康づくりに関するお話と健康チェック)	26名
山畑	令和3年1月	百歳体操(山畑地区)の支援	
	令和3年2月	友愛訪問活動(アルコール消毒液配布)	全戸
鯖河内	10月～令和3年3月	百歳体操(串)の支援	
	11月17日(火)	第1回ふれあい会(ゲームと交流会)	21名
	令和3年2月23日(火)	第2回ふれあい会(認知症講座とゲーム) ※コロナウイルス感染拡大防止のため、中止	
串	10月～	百歳体操(串)の支援	
	11月10日(火)	第1回ふれあい会 (季節ごとの健康づくりのお話、健康チェックとゲーム)	28名
	令和3年2月16日(火)	第2回ふれあい会(包括支援センターからのお話) ※コロナウイルス感染拡大防止のため、中止	

《成果と課題》

本事業は以前から本会が部会運営に深く関わりながら支援をしている状態であり、今後、福祉部会や運営主体である徳地5地区社会福祉協議会、徳地地区社会福祉協議会連絡協議会が事業実施主体となるように働きかける必要がある。

本年度は昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響で例年のようにふれあい会の開催を自粛さ

れる傾向にあった。

そのため、ふれあい会に代わる活動として友愛訪問活動や自治会単位で行われている百歳体操への支援を行う部会が多くみられ、地域と福祉部会とのつながりの強化が図られた。

次年度もコロナウイルスの影響が続くことが予想され、各福祉部会長や実施主体である徳地5地区社会福祉協議会や徳地地区社会福祉協議会連絡協議会と連携し、活動充実に努めたい。

3) 阿東地域活性化事業の実施

○祭壇等備品の貸出事業

- ・事業内容:祭壇等を必要とされる家庭に祭壇等を無料で貸出する。
- ・貸出件数: 11件 (仏式 8件、神式 3件)

《成果と課題》

無償で祭壇等を貸し出すとともに設置及び撤収も行うため、自宅で葬儀を希望される方には喜ばれている。しかし、地域全体が高齢化してきたため、自治会の方がお手伝いをして執り行う自宅での葬儀が困難になってきており、本会の祭壇の利用は激減している。また、新型コロナウイルス感染症拡大のため、葬儀に参列が難しく親族が集まれないことも多くあるなど、葬儀の形も変わりつつある。

(6) 地域福祉の担い手の育成

1) 福祉員研修会の開催

(1) 新任福祉員研修会の開催→新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

- 目的 地域福祉活動(福祉の輪づくり運動)の推進にあたり、福祉員としての基礎知識を習得することを目的に研修会を開催する。
- 開催日予定日 5月27日(水)
- 会場 山口県総合保健会館 2階 第1研修室

2) 山口市福祉員連絡協議会の設置及び運営

○目的:各地区の福祉員代表者で構成し、福祉員活動の推進と情報交換を行うことを目的に開催する。

開催日	内 容	会 場
4月	退任者・新任福祉員の名簿の提出、委嘱状・門標・ガイドブック等の配付、ボランティア活動保険の加入	
5月27日(水)	新任福祉員研修会 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	山口県総合保健会館
6月26日(金)	山口市福祉員連絡協議会(第1回) ・事業報告、事業計画等	山口市社会福祉協議会 南部支所2階会議室
8月21日(金)	山口市福祉員連絡協議会(第2回) ・輪づくり運動関係者及び福祉員研修会について ・視察研修について	山口市社会福祉協議会 南部支所2階会議室
10月10日(土)	山口市社会福祉大会 新型コロナウイルス感染拡大防止のため表彰者のみの参加で開催	山口県総合保健会館
10月28日(水)	山口県総合社会福祉大会 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	美祢市

11月16日(月)	山口市福祉の輪づくり運動関係者及び福祉員研修会 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	山口県総合保健会館
11月	山口市福祉員連絡協議会視察研修 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	
令和3年 2月26日(金)	山口市福祉員連絡協議会(第3回) ・事業報告・事業計画 ・新任福祉員研修会について	山口勤労者総合福祉センター サンフレッシュ山口 視聴覚室

《成果と課題》

改選後の初年度であり、福祉員の約半数が新任福祉員となった。新型コロナウイルスの影響により、新任福祉員研修会等が開催できなかったが、それに代わり各地区福祉員定例会等で、地区担当より福祉員の活動、役割等について説明を行った。

さらに、感染拡大防止対策を十分に行い、定期的に連絡会議(各地区の福祉員連絡協議会代表者同士の情報交換)を開催し、福祉員の活動上の課題等を話し合い、情報共有に努め、諸機関と連携して地域課題に取り組んだ。

(7) 有償在宅福祉サービス事業の推進

1) 有償在宅福祉サービス事業の実施

○事業内容:誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくりを目的に、高齢者や障がいを持っている方等が様々な理由で日常生活上の家事及び介護等で困っている時、その負担を少しでも和らげるために福祉に理解をもった地域の方々(協会員)に訪問してもらい、身の回りのお手伝いをしていただく事業である。

利用会員	協会員	賛助会員
107名	80名	16名・4団体

○サービスの内容の内訳

内 容	件数	内 容	件数	内 容	件数
食事の支度・後片付け	45	介助	2	代筆・朗読	0
住居等の掃除・整理・補修	615	話し相手	189	保育	0
衣類の洗濯・補修	17	医療機関等との連絡	2	その他	64
生活必需品等の買物	52	留守番	0	合 計	986

○第1回協会員研修・交流会⇒新型コロナウイルス感染予防のため中止

○第2回協会員研修・交流会⇒新型コロナウイルス感染症予防のため中止

○ふれあい新聞の発行:4回

《成果と課題》

初回相談件数は40件であった。平成28年10月から山口市で介護予防・日常生活支援総合事業が始まり、要介護認定でのサービス利用の流れが変わってきたこともあり、要支援1・2認定の方からの相談が増加している。利用者のニーズに対して専門的な対応が必要となる相談も増えている。本会としては、サービスを提供するだけでなく相談者に必要なサービスを見極め、他機関との連携を密に図ることも重要である。

2) 有償在宅福祉サービス事業協力会員公開講座の開催

○事業目的: 協力会員の資質向上及び人材養成を図ることを目的に開催する。

○会 場: 山口市社会福祉協議会 南部支所及び名田島地域交流センター

○受講者: 1回目: 9名 2回目: 9名 3回目: 11名

○内 容

開催日	テーマ・内容	講 師
<第1回> 9月24日(木)	○介護のポイントについて	藤本 令子 氏
<第2回> 10月12日(月)	○自宅でできる栄養料理作り	老人保健施設 日吉台
<第3回> 11月6日(金)	○掃除のポイントについて	株式会社 ダスキン山口

3) 有償在宅福祉サービス事業担い手養成講座の開催

○事業目的: 人材養成(有償在宅福祉サービス事業協力会員の養成)を図ることを目的に開催する。

○会 場: 山口市社会福祉協議会南部支所

○受講者: 1回目: 17名 2回目: 17名

○内 容

開催日	内容・講師
令和3年 2月17日(水)	事業説明 有償在宅福祉サービスについて 山口市社会福祉協議会職員より説明 事例発表 協力会員 門田 妙美 氏 村井 裕子 氏 テーマ「高齢者の特性について」 講師: 山口市川東地域包括支援センター 砂田 孝浩 氏
令和3年 2月24日(水)	テーマ「相手に寄り添うお片付け」 講師: 整理収納アドバイザー 牧野 久美 氏

《成果と課題》

有償在宅福祉サービス事業の課題となっている担い手(協力会員)不足を解消するため、養成講座を開催している。一般参加もあり、本事業が広く認知されてきていることがうかがえた。有償在宅福祉サービス事業協力会員公開講座では1名、有償在宅福祉サービス事業担い手養成講座は5名が新規協力会員として登録した。今後ますます利用ニーズが増えることを想定し、本事業についてより広く周知ができるよう地域へ働きかけ、現協力会員の資質の向上と新たな会員の獲得につなげていく。

(8) 生活支援・介護予防体制整備事業の推進

1) 生活支援コーディネーターの設置 * 受託事業

○目的: 山口市社会福祉協議会に2名の第1層生活支援コーディネーター(以下「1層」という。)、各地域包括センターに1名の第2層コーディネーター(以下「2層」という。)を配置し、高齢者の生活支援・介護予防サービスの提供体制の整備に向けた取り組みの推進を行うため、既存の地域資源等を把握し、地域のニーズにあった生活支援サービスが行われるように、地域に不足するサービスの創出やサ

サービスの担い手の養成、関係者間の情報共有やサービス提供主体間の連携体制づくりなどのネットワーク構築を進める。

○事業内容

①地域組織からのニーズ把握に関すること

・2層と地区社会福祉協議会を訪問し、地域課題や地域が求めている活動の担い手等について聞き取りを実施した。また、各地区の小地域福祉活動計画実行委員会、民生委員・児童委員会、福祉員会等の会議に出席し、生活支援コーディネーターの周知や情報の高齢者の生活課題や取り組みの情報収集をするとともに、支え合いの取り組み事例の情報提供等を行った。

○訪問地区 25地区

○地域の会議への出席 117回

②不足する生活支援サービスの把握・調整・創出に関すること

・連絡定例会、エリア別会議の開催、各地区の話し合いの場等への出席により、現状把握と対策についての協議を行った。

③地域資源の把握と見える化に関すること

・市内の家事援助、市社協事業等の社会資源情報をまとめた冊子の情報を更新した。

④ネットワーク構築に関すること

・基幹型地域包括支援センター、1層、2層の協議の場を設定し、事業推進における課題や方法等を検討・共有した。

○全体会議・連絡定例会 6回

○エリア別会議 52回

⑤介護予防・生活支援サポーターと生活支援サービスとのマッチングに関すること

・平成31年度から調整業務が2層に移管された。

⑥協議体の開催に関すること

・第1回地域支え合い推進会議(第1層協議体)を開催し、市老人クラブ連合会、市社会福祉法人地域公益活動推進協議会と情報交換等を行った。

2) 介護予防・生活支援サポーター養成講座の開催

* 受託事業

・高齢者が安心して住み慣れた地域で暮らし続けられるように、地域での支え合い体制づくりを目指して、地域における住民等における介護予防や生活支援の取組の担い手となる人材の養成を目的に講座を開催している。

今年度は基礎編と応用編にわけ、養成講座を実施した。応用編では、基礎編を終了された方を対象に、活動の場を広げる一助とするため、「いきいき百歳体操サポーター」の養成を行った。

<基礎編>

日時: 令和3年2月3日(水)午後1時30分～ 参加者26名

会場: 山口市社会福祉協議会南部支所2階

内容: ①山口市生活支援体制整備事業について学ぶ

②ボランティア、ライフワーク(生きがい活動)について学ぶ

③実際の活動事例について学ぶ

<応用編>

日時: 令和3年2月5日(金)午後1時30分～ 参加者24名

会場: 山口市社会福祉協議会南部支所2階

内容: ①介護予防としての運動の効果

②いきいき百歳体操の体験

③いきいき百歳体操サポーターの役割と活動について

《成果と課題》

各地域包括支援センターに第2層生活支援コーディネーターが配置され、各地域の会合やつどいの場に参加されるようになり、より地域の社会資源、現状・課題等の情報把握や地域への働きかけができるようになった。2層との協働により、各地区で高齢者の生活支援について理解を深めていきたい。

(9) その他の生活支援・介護予防関連事業の推進

1) マイクロバス運行事業の実施

○事業内容：各地区にマイクロバスを配車し、家に閉じこもりがちな高齢者やひとり暮らし高齢者を市内及び近隣市町の公共・民間施設等に送迎し、生きがいと健康づくりを推進する。

《成果と課題》

新型コロナウイルスによる感染防止のため、今年度は運行を中止した。令和3年度も運行を中止し今後は利用者の安全を第一に考えた事業運営を目指したい。

また、マイクロバスでの外出だけでなく、他の外出手段も考えて外出支援の事業を令和3年度で検討したい。

2) チェアキャブの貸出

○事業内容：身体に障がいがあるため社会参加や外出が困難な方に、車いすのまま乗車できる車両の貸出を行う。運転は家族または知人が行う。

○チェアキャブの貸出

配置場所	件数	配置場所	件数	配置場所	件数
本所・北部支所	30	阿知須出張所	2	南部支所	25
徳地出張所	38	阿東出張所	0	秋穂出張所	8
				合計	103

《成果と課題》

チェアキャブは、在宅の車いす使用者の方々の遠方への外出や、通院時等に貸出を行い、喜ばれている。本年度は、昨年度と引き続き利用件数が増加し、なかでも通院等の利用による件数が増加している。このことから在宅介護（看護）を行う方が増加しているとも考えられる。チェアキャブと併せて車いすやスロープの貸出も可能であることを今後も市民へ周知する。また、貸出前は消毒を念入りに行い、新型コロナウイルス感染予防に取り組み、貸出を行った。

3) 福祉機器リサイクル事業の実施

* 受託事業

○事業内容：車いす、介護用ベッド、ポータブルトイレ、歩行器などの福祉機器を無料で貸出す。

機器の種類	貸出件数	保有台数	機器の種類	貸出件数	保有台数
電動式ベッド	3	18	杖	6	27
歩行器	22	25	松葉杖	3	21
車いす	198	163	スロープ	1	5

機器の種類	貸出件数	保有台数	機器の種類	貸出件数	保有台数
介護テーブル	2	3	ポータブルトイレ	80	52
シャワーチェアー	14	31	浴槽台	3	7
介助バー	0	4	バスボード	1	3
手押し車	6	14	その他	3	14
オーバーテーブル	0	4			
浴槽用手すり	3	3	合計	345	394

《成果と課題》

福祉機器の貸出についての相談は例年多くあり、必要に応じて貸出や情報提供を行った。特に車いす・ポータブルトイレの貸出についての相談が多く、連休前や冬期は在庫が不足するなど対応ができないことがあった。また、機器の老朽化による廃棄を行ったため、機器・機種の実数を図りつつ、保管場所の確保や定期的なメンテナンスを行う必要がある。

4) 移送サービスの実施

* 受託事業

合併前に、山口陸運支局の許可により、地域限定の移送サービス事業として行っている。

地域	利用件数	登録台数
小郡	0	1
阿知須	57	2
阿東	0	1
合計	57	4

《成果と課題》

利用者は、車いす等のままで通院が必要な方が大半を占めている。地域によっては、民間介護タクシーの利用の増加等で利用者が減少傾向にあり、運転手(担い手)不足も課題である。

阿東地域では、平成29年度途中まで配置していた車両が、老朽化のため廃車になり、平成30年度から徳地出張所の車両を登録している。利用については、引き続き0件であった。

今年度は交通会議があり更新を行い、市とも協議の場を持った。今後も本事業の方針について市と連携しながら検討していく。

(10) ボランティア活動の推進

1) ボランティアグループの活動支援

○保険受付件数:基本タイプ5,103名、天災・地震補償タイプ159名

2) ボランティア活動保険の掛金補助

○補助団体数59団体

3) ボランティア活動に関する連絡調整

○事業内容:ボランティアに関する相談について、必要な情報の提供や関係機関への連絡調整を行う。

○相談件数：17件（個人3件、施設1件、行政・関係機関9件、その他4件）

○内 容：派遣依頼2件、活動紹介3件、その他12件

4) 山口市ボランティアセンターの活用

○利用者数 589名（月平均49名）

5) ボランティア活動器材の貸出

今年度は貸出無し。

6) ボランティア情報紙「ボランティアやまぐち」の発行

○発行回数 年6回（奇数月）

7) 使用済み切手の収集

○毎月第2・4木曜日の午後から市ボランティアセンターで、使用済み切手の整理をボランティアが行っている。整理した切手は、切手収集家に送り換金され、ボランティア活動基金に積み立てている。

8) エコキャップの回収

○事業内容：「世界の子どもにワクチンを日本委員会」が行う開発途上国の子どもたちへワクチンを贈る活動の支援を行う。集まったペットボトルキャップをリサイクル業者へ売却。売却額を世界の子どもにワクチンを日本委員会へ寄付している。

小さな心がけで誰でも参加できる収集活動を通して、温かく思いやりの心を育てることを目的に行っている。

○総数量： 総数量：7,111.73kg（前年度6,671.8kg）

寄付金：54,416円（前年度66,718円）

《成果と課題》

ボランティア活動に対する連絡調整は、新型コロナウイルスの感染拡大防止により例年より大幅に減少した。例年施設から行事を行うためボランティア活動者に来てもらいたいという相談が大半を占めるが、今年度は特に依頼が少なかった。また、外出自粛等の雰囲気はあるものの、コロナ禍だからこそ人の役に立ちたいと、ボランティア活動を始めたいという相談も複数あった。

ペットボトルキャップの回収が中止になったため、学校などでも気軽に取り組めるボランティアを新たに検討するとともに、ホームページや市報、社協だよりを見て連絡した方もおられたため、広報で今後もボランティアを始めるきっかけとなれるような情報発信を行っていききたい。

(11) ボランティア(ひとづくり)養成講座の開催

1) ひきこもり支援公開講座の開催

・認定特定非営利活動法人支えてネットワークと共催で支援者専門研修及び一般公開講座の開催を支援した。

○主 催：NPO法人支えてネットワーク

○共 催：山口市社会福祉協議会

○目 的：ひきこもりについての正しい理解と普及啓発に努める。

○開催日：7月12日（日）

《成果と課題》

今年の公開講座は、「ひきこもりのご家族のための生活設計」をテーマとして開催。さらに、個別相談の場を設けることによって、次の支援に繋げていく機会を設けた。

講演の中で、親自身の生活設計と、親がなくなり子どもだけになった時の生活設計、それらを見据えていくために子どものために使えるお金を把握し、ライフイベント表で突発的に起こる支出を考え、お金が使えるように備えておくことが必要といった話があった。

講座後のアンケートを実施し19名の回答があった。

「これからどのような行動をしたらよいかを整理できた」等の意見があり、現状を整理し今度の行動に結びつける機会になった。

2) 山口市災害ボランティア研修会の開催

新型コロナウイルス感染拡大防止のため開催中止。

《成果と課題》

本研修会は、「防災とボランティア週間」の事業として開催し、山口市の災害ボランティア登録者及び登録団体、地区社会福祉協議会、民生委員・児童委員、福祉員、市民等広く呼びかけて行い、毎年大人数の参加者となることもあり、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため中止とした。次善策として YouTube 等オンラインを使用した方法等を検討した。

(12) 福祉教育の推進

1) 福祉教育事業の企画・実施

○小・中学生等の福祉体験学習への協力及び体験用具の貸出

- ・車いす、高齢者擬似体験、点字、ガイドヘルプ、手話等
- ・福祉体験学習の市社協職員の講師派遣及び外部講師の調整については新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施しなかった。
- ・体験用具等貸出

車椅子・・・19件

高齢者擬似体験・・・19件

点字盤・・・9件

白杖・・・11件

アイマスク・・・11件

2) 福祉体験学習研修会の開催

○福祉員会等で依頼があった際に福祉体験学習を実施した。(地区:陶、仁保、嘉川、小鯖)

3) 福祉教育推進協力校の指定

* 受託事業

○目的:次代を担う小・中学生を対象として、福祉の心を育て社会福祉への理解と関心を高め、社会奉仕、助け合い、社会連帯の精神を育成するとともに児童・生徒を通じて家庭や地域で福祉の心を育める総合的教育の啓発、体験、実践、研究を行うことを目的として福祉教育推進協力校の指定を年次的に推進する。

○協力校数:小学校6校(令和元・2年度指定校 良城小学校・生雲小学校・仁保小学校)

(令和2・3年度指定校 宮野小学校・陶小学校・徳佐小学校)

中学校2校(令和元・2年度指定 阿知須中学校)

(令和2・3年度指定 二島中学校)

高等学校1校(令和2・3年度指定校 防府高等学校佐波分校)

○指定期間:2年

○協力校の活動:それぞれの地域の実情に合わせ、地域住民、ボランティア、社会福祉協議会の協力を得て、下記の活動を実施

- (1)福祉体験学習
- (2)福祉講演会、映画会、展示会等による福祉意識の啓発
- (3)社会福祉、地域の福祉課題についての調査研究活動
- (4)地域社会で生活している高齢者、障がい者などに対する実践活動や地域内の社会福祉関係・団体等の交流会
- (5)社会福祉施設等への訪問、体験活動及びボランティア活動
- (6)社会福祉関係行事等への参加
- (7)福祉関係紙、学区新聞等の配布、広報活動
- (8)家庭、地域社会への啓発活動
- (9)災害時における地域の福祉課題を学ぶ活動
- (10)福祉に関する制度・サービスについて学ぶ学習活動
- (11)その他目標達成のために必要な活動

○市社協の役割 (1)福祉体験の助言及び指導
(2)活動に関する相談、情報提供、活動の場コーディネート
(3)助成金の交付

○助成基準 1年につき3万円(上限)

良城小学校

○事業内容

1. 4年総合的学習の時間
・車いす体験、高齢者疑似体験、点字体験
2. 4年総合的学習の時間
・福祉に関する本を活用して、自分の課題を調べる。
3. 4年総合的学習の時間
・校区内で福祉に関するサービスが、どのように展開されているかを実際に調べる。ふれあい給食の弁当に関わる人の話を聞く。

仁保小学校

○事業内容

1. 車いす体験、高齢者疑似体験、点字体験、アイマスク体験
2. ゲストティーチャーターの講演会
3. 特別養護老人ホーム「にほ苑」訪問
4. 仁保地区清掃活動への参加
5. 独居老人への弁当、桜餅に児童が描いた絵手紙を添えて配布する。
6. 福祉体験学習のまとめ

生雲小学校

○事業内容

1. 身近なバリアフリーを探す活動、アイマスク体験、点字を打つ体験(3年生)
2. 「車いすラグビー体験」福岡ランデライオンズ キャプテン工藤徹氏、選手村田和寛氏
3. 老人ホームを訪問し、7月は七夕かざり、12月はクリスマスのタペストリー、3月はランブシェードをプレゼントした。
4. 福祉について、調べたり、体験したりした内容を新聞にまとめる活動
5. 学校だよりでの広報活動

6. 学校と保育園の合同避難訓練
7. 点字学習

宮野小学校

○事業内容

1. 車いす体験、高齢者疑似体験、アイマスク体験
2. 収集活動(ペットボトルキャップ、ベルマーク)
募金活動(歳末たすけい募金)
3. 福祉新聞の作成
4. 福祉に関する本での学習

陶小学校

○事業内容

1. 点字体験、手話体験(5年生)
2. ①もしものときに備えよう(4年生)
自然災害への備えと災害が発生した際に誰もが安全に避難するための方法を作文に
まめる。
②「みんなが過ごしやすい町へ」(5年生)
公共施設を調査し発表し合うことでバリアフリーについての理解を深める。
③地域安全マップづくり(6年生)

徳佐小学校

○事業内容

1. 高齢者疑似体験、アイマスク体験、点字体験、手話体験
2. 小・中合同環境整備活動(ペットボトルキャップ収集活動)
3. 学校広報誌の発行、HP の配信

阿知須中学校

○事業内容

1. パラバドミントン体験
2. 地域の危険個所の確認
3. 地域のふれあいまつりに参加し、車椅子募金活動をする予定であったが、コロナウイルス
感染拡大防止のため中止となった。車椅子の贈呈式のみ行った。
4. VSday の実施(11月)
全校生徒によるボランティア活動。駅前のプランターの花植え、地域の公道の清掃活動等
をした。
5. 学校だよりや生徒会新聞を通してのボランティア活動の紹介やボランティア委員会の紹介
6. ボランティア委員会を通してエコキャップの収集や使い捨てのカイロ収集活動についての
広報
7. あいさつ運動

二島中学校

○事業内容

1. 高齢者疑似体験(2・3年家庭科)
2. 二島地区「あそぼう家」との連携(3年生家庭科)
①「思春期子育て講座」コロナが収束するまでは乳児とのふれあいを断念。代替えとして保
健師による講義を受けて新生児人形おむつ替え体験や妊婦体験セットで疑似体験を行
った。
②①の後「あそぼう家」のお母さん達へ、子育てに関するインタビューを送付し、回答をもら
ったり、制作したおもちゃを乳幼児へプレゼントし遊ぶ様子の動画を撮ってもらったりして、
交流を深めた。

3. 二島地区社会福祉協議会との連携による一人暮らし高齢者宅の友愛訪問および年賀状送付は、コロナウイルスの影響により、中止になった。
4. 二島敬老会の手伝いは、コロナウイルスの影響で中止。
5. 学校だよりで、「思春期子育て講座」について、紹介した。
6. 各学級に、福祉に関する書籍を設置。

防府高等学校佐波分校

- 事業内容
1. 手話講座、点字体験、ライフプランセミナー(妊婦体験・おむつ体験)
 2. 感染症学習(新型コロナ関連の差別防止)
 3. 認知症サポーター養成講座受講
 4. 地域高齢者福祉体験学(ふれあい・いきいきサロン、いきいき百歳体操体験等)

4) 福祉教育推進協力校の情報交換会の開催

*** 受託事業**

平成22年度・23年度指定福祉教育推進協力校(平川小学校、鑄銭司小学校、阿東中学校)と
 平成23年度・24年度指定福祉教育推進協力校(大殿小学校、白石小学校、湯上中学校)、
 平成24年度・25年度指定福祉教育推進協力校(小鯖小学校、小郡小学校、阿東東中学校)、
 平成25年度・26年度指定福祉教育推進協力校(島地小学校、さくら小学校、川西中学校、仁保中学校)、
 平成26・27年度指定福祉教育推進協力校(佐山小学校、八坂小学校、宮野中学校、徳地中学校)、
 平成27・28年度指定福祉教育推進協力校(大内小学校・興進小学校・小郡南小学校、湯田中学校)、
 平成28・29年度指定福祉教育推進協力校(名田島小学校・中央小学校・白石中学校・小郡中学校)、
 平成29・30年度指定福祉教育推進協力校(湯田小学校、二島小学校、大殿中学校、大内中学校)、
 平成30・31年度指定福祉教育推進協力校(大内南小学校、秋穂小学校、平川中学校、秋穂中学校)
 令和元年・2年度指定福祉教育推進協力校(良城小学校、仁保小学校、生雲小学校、阿知須中学校)
 令和2・3年度指定福祉教育推進協力校(宮野小学校・陶小学校・徳佐小学校・二島中学校)
 の計41校を対象に紙面上での情報交換を行った。

《成果と課題》

新型コロナウイルス感染拡大防止のため集まることはせずに、各学校に福祉教育の取り組みに関するアンケートを送付し、その回答を各学校に返し、情報交換を行った。コロナ禍の福祉教育の取り組みや対応策などがわかり、その情報を各学校に提供することができた。紙面だけでは詳しい内容がわからないところが出てくるため、今後は対面若しくはオンラインで実施するか等コロナ禍でどのように情報交換会の場を提供していくか検討していく。

(13) 企業の社会貢献活動の推進

1) 企業の社会貢献活動の支援

○企業ボランティア活動促進モデル事業所の推薦

「はるやま商事株式会社はるやま山口店」を山口県社会福祉協議会に推薦した。

2) 企業等社会貢献活動セミナーの開催

○主 催: 山口県、社会福祉法人山口県社会福祉協議会、公益財団法人山口きらめき財団

○共 催: 山口市社会福祉協議会、やまぐち県民活動支援センター、山口市、社会福祉法人宇部市社会福祉協議会、社会福祉法人防府市社会福祉協議会、防府市市民活動支援センター、社会福祉

法人萩市社会福祉協議会、社会福祉法人平生町社会福祉協議会

○目的: 県内企業の具体的事例を参考にし、県内における企業等の社会貢献活動の更なる充実と発展を促進する。

○開催日: 11月19日(木)

○会場: 山口県社会福祉会館 4階

○参加対象: 社会貢献活動モデル事業所他

○内容: 【モデル事業所指定企業の公表及び活動報告】

＜令和2年度指定の事業所＞

- ・イオンリテール株式会社イオン防府店
- ・株式会社イズミゆめタウン防府
- ・株式会社片岡計測器サービス
- ・協和建設工業株式会社
- ・澤田建設株式会社
- ・はるやま山口店
- ・日立建設株式会社
- ・有限会社ひらお

【グループワーク】

テーマ: 所属の紹介と今日の事例発表を聞いてどういったことができるか考える

3 見守り訪問活動及び災害時等の地域支えあい活動の仕組みづくりの推進

(1) 小地区見守り訪問活動の推進 * 受託事業

○事業内容: ひとり暮らし高齢者等の安否確認のため、自治会(町内)または民生委員・児童委員担当地区ごとに見守り訪問グループを結成し、要援護者を地域で見守るという主旨で友愛訪問活動を実施する。

地区名	見守り訪問対象者数	グループ数	地区名	見守り訪問対象者数	グループ数
大殿	226	38	鑄銭司	95	6
白石	271	25	名田島	37	20
湯田	609	24	秋穂二島	64	64
仁保	93	9	嘉川	116	33
小鯖	122	31	佐山	98	98
大内	625	39	小郡	145	47
宮野	285	195	秋穂	65	18
吉敷	142	21	阿知須	106	11
平川	289	33	徳地	122	47
大歳	390	28	阿東	121	24
陶	65	15	合計	4,086	826

《成果と課題》

山口市の高齢化率は高まっているが、ひとり暮らしの高齢者や高齢の二人暮らし世帯の対象者は増えていない現状がある。しかし、高齢者を対象とした安否確認を中心とする友愛訪問は、悪質な業者等にだまされる

ことを未然に防ぐことや、認知症等で孤立させないためにも地域で関わるが大変重要になってきている。

また、活動する際の知識として、各地区で研修会を実施し、高齢者の異変に気づくための情報共有も見守り活動の一環となっている。市内において要援護者をグループで支援するこの活動も徐々に浸透し、グループでの見守り活動の方法が重要になっているが、若い人の支援が少ないこと、依頼できる支援者がいないところや支援者自身も高齢である等グループ全体について対策を検討する必要がある。

なお、見守りの方法や地域での役割についてわかりやすくするため、「小地区見守り訪問活動について」のDVDを作成した。

地区名	日 時	主な内容	参加者
大 殿	12月3日(木) 10時～12時	小地区見守り訪問活動の現状と課題 災害と見守り活動 事例報告(自主防災組織のある町内会から)	44
白 石	7月31日(金) ①10時～12時 ②13時30分～15時45分	友愛訪問(小地域見守り訪問活動)の説明(DVD視聴) グループ一覧表の説明 認知症サポーター養成講座	68
湯 田	7月15日(水) ①10時～12時 ②13時30分～15時30分	見守り訪問活動の説明(DVD視聴) 中央包括支援センターとの連携について 見守り訪問活動湯田地区の取り組みについて	54
仁 保	12月2日(水) 10時～11時 12月3日(木) 9時50分～10時40分	小地区見守り訪問活動について(DVD視聴) 見守り対象者の確認	27
小 鯖	7月3日(金) 10時～12時	友愛訪問活動について(DVD視聴) 山口市消費生活センター出前講座 消費生活センターの仕事とその役割 ほか 地区ごとの話し合い	68
大 内	12月10日(木) 14時～15時	見守り活動について(DVD視聴)	45
宮 野	5月28日(木) ①9時30分～10時30分 ②10時45分～11時45分 ③12時30分～13時30分	友愛訪問活動(小地区見守り訪問活動)について (DVD視聴) 対象者の把握(民生委員・児童委員と福祉員の個別協議)	77
吉 敷	10月29日(木) ①9時45分～12時 ②13時30分～15時45分	友愛訪問活動(小地区見守り訪問活動)について 「高齢者見守り訪問活動グループ員一覧表」作成 (グループワーク)	①37 ②37
平 川	7月4日(土) ①10時～11時05分 7月11日(土) ②13時30分～14時35分	「見守り訪問活動の充実」及び「地域支え合いマップ」とそのまとめの更新等について グループワーク ・「地域支え合いマップ」と「そのまとめ」の更新及び情報交換	89

地区名	日 時	主な内容	参加者
	12月5日(土) ①10時～11時35分 ②13時30分～15時10分	見守り訪問活動の効果について 見守り訪問活動の充実と災害時における避難行動 支援について 「地域支え合いマップ」と「そのまとめ」の更新及び 情報交換(グループワーク)	82
大 歳	7月27日(月) ①18時30分 ②19時45分 7月28日(火) ③19時～	小地区見守り訪問活動の説明 各自治会における見守り訪問活動の充実について 情報交換	77
陶	6月24日(水) 13時30分～15時	小地区見守り訪問活動について(DVD 視聴) 見守り訪問活動における民生児童委員と福祉員の 連携について(宮野地区における訪問活動への取 り組みの事例発表) 担当集落の情報交換	27
鑄銭司	8月1日(土) 10時～11時	友愛訪問活動について ふれあい・いきいきサロンの取り組みと見守り効果 について(事例発表) 民生委員と福祉員で見守り対象者の確認	34
名田島	7月22日(水) 19時～21時	友愛訪問活動について(DVD 視聴)見守り訪問活 動対象者確認、災害時等支え合いマップ作成及び 更新作業等(グループワーク)	68
秋穂 二島	7月31日(金) 13時30分～15時30分	友愛訪問活動(小地区見守り訪問活動)の説明 地域支え合いマップを使ってグループワーク ・各対象者について見守りグループ構成員の確 認と情報共有 ・新たな対象者や危険箇所等の発見・把握 ・各対象者の対応について協議	40
嘉 川	6月24日(水) 10時～12時30分	友愛訪問活動(小地区見守り訪問活動)の説明 川西地域包括支援センターより グループワーク「見守り訪問活動の現状と課題」 ・見守り対象者の確認 ・グループ員一覧表作成	60
佐 山	令和3年2月3日(水) 10時～11時30分	友愛訪問活動(小地区見守り訪問活動)の説明 ・DVDの視聴 ・民生委員の役割について	9
小 郡	7月13日(月) ①13時30分～15時 7月21日(火) ②13時30分～15時	友愛訪問活動(小地区見守り訪問活動)について 川西地域包括支援センターより グループワーク ・見守り訪問グループ員の組成並びに訪問員グ ループの現状について ・活動を効果的に進める工夫と見守り方法につい	192

地区名	日 時	主な内容	参加者
	7月23日(木) ③13時30分～15時	て ・活動の継続方法について ・災害時の避難方法、避難場所について	
秋 穂	12月14日(月) ①9時～10時40分 ②13時30分～14時40分	友愛訪問活動について(DVD 視聴) 地域支え合いマップ作りについて 「地域支え合いマップ」の作成及び情報交換(グループワーク)	56
串	10月16日(金) 9時30分～12時	友愛訪問活動(小地区見守り訪問活動)の説明 山口市防災講座「自主防災のたいせつさ」、山口市 防災ガイドブックの説明 情報交換(見守り対象者の確認)	36
阿東	11月27日(金) 10時～11時	見守り活動について(DVD 視聴) 見守り活動の実践方法について	21

《成果と課題》

見守り訪問グループ員研修会は、研修メニューの中から地区社協の選択により実施された。市内20地区社協で開催され、本会職員も同席して研修会の企画、運営の支援を行った。見守り訪問活動の役割のひとつとして、高齢者のサロンの新設や百歳体操などの運動グループが地域数箇所に設置され関係機関との連携も得られた。また、悪質業者の訪問販売などによる被害の防止方法を周知することや認知症の方への接し方など見守り訪問活動の重要な役割を担う内容の研修会を今後実施していくことが重要である。

(2) ふれあい型給食サービス事業の推進

* 受託事業

1) ふれあい型給食サービス事業の実施

○事業内容:概ね65歳以上のひとり暮らしの高齢者、75歳以上の高齢者のみの世帯、単身の障がい者世帯で給食を必要とし、かつ地域との交流が必要な方に月1回、見守り活動を兼ねて地域のボランティアがお弁当を届ける。

○利用人員 1,126名

○延利用人員 9,690名

○実施地区:15地区

○実施頻度:月1回(昼食または夕食)

地区	実施回数	利用対象者	対象人員	延利用者数 (R2.4～R3.3)	調理会場
大殿	月1回(夕食) 第1水曜日	・77歳以上のひとり暮らし高齢者等	72名	360名	宅配クック123
白石	月1回(夕食) 第2火曜日	・65歳以上のひとり暮らし高齢者 ・75歳以上の高齢者のみの世帯 ・単身の身体障害者	187名	1,905名	いちやなぎ
湯田	月1回(夕食) 第2水曜日	・65歳以上のひとり暮らし高齢者 ・75歳以上の高齢者のみの世帯 ・60歳以上の単身の身体障害者	123名	1,041名	湯田地域交流センター
大内	月1回(昼食) 第2・第3木曜日	・70歳以上のひとり暮らし高齢者	127名	1,273名	大内地域交流センター

地区	実施回数	利用対象者	対象人員	延利用者数 (R2.4~R3.3)	調理会場
宮野	月1回(昼食) 第1木曜日	・65歳以上のひとり暮らし高齢者等 ・身体障害者等	132名	1,291名	ふしの学園
吉敷	月1回(夕食) 第3木曜日	・65歳以上のひとり暮らし高齢者等	91名	0名	吉敷地域交流センター
平川	月1回(夕食) 第2火・水曜日	・65歳以上のひとり暮らし高齢者等	69名	744名	山口あかり園
陶	月1回(昼食) 第2水曜日	・70歳以上のひとり暮らし高齢者もしくは夫婦が高齢者同士	44名	480名	日吉台温泉ホーム
鑄銭司	月1回(昼食) 第4火曜日	・65歳以上のひとり暮らし高齢者 ・75歳以上の高齢者のみの世帯 ・単身の身体障害者	40名	414名	梅光苑 聖和苑
名田島	月1回(夕食) 第3火曜日	・70歳以上のひとり暮らし高齢者 ・78歳以上の高齢者のみの世帯	29名	326名	梅光苑 (12月は名田島地域交流センターで調理)
秋穂二島	月1回(昼食) 第1火曜日	・70歳以上のひとり暮らし高齢者等 ・75歳以上の高齢者のみの世帯	33名	356名	山口秋穂園
嘉川	月1回(夕食) 第3水曜日	・75歳以上のひとり暮らし高齢者 ・80歳以上の高齢者夫婦	93名	863名	日吉台温泉ホーム
佐山	月1回(昼食) 第4水曜日	・65歳以上のひとり暮らし高齢者等	49名	383名	佐山地域交流センター
小郡	月1回(夕食) 第3木曜日	・80歳以上のひとり暮らし高齢者 ・80歳以上の高齢者世帯	中止		小郡・山手一番館
阿東	月1回(夕食) 第3水曜日	・概ね70歳以上のひとり暮らし高齢者のみの世帯 心身の障害により給食を必要とする	37名	254名	山口市阿東老人福祉センター

2) 給食サービス関係者食品衛生(食中毒対策)研修会の開催

* 受託事業

○事業内容: ふれあい型給食サービス事業の食中毒予防対策として、本会の主催による給食サービス関係者食品衛生(食中毒対策)研修会を開催する。

開催日	7月21日(火)
会場	山口県総合保健会館
参加者数	45名

3) ふれあい型給食サービス事業実施地区交流会の開催

* 受託事業

○事業内容: ふれあい型給食サービス事業の実施地区を対象とした交流会を2年に1回開催する。

令和2年度は開催年であったが、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、開催を中止した。

「ふれあい型給食サービス事業に関するアンケート」を実施し、各実施地区へ報告することで、情報交換の場とした。

《成果と課題》

本事業の実施により、見守り活動の一環として利用対象者の安否確認をすることができる。また、配食をきっかけに地域交流を促進し、地域のつながりを形成できる。

令和2年度は各地区が新型コロナウイルス感染症の感染拡大の状況を考慮しながら事業を実施した。(吉敷・小郡地区は年間通して中止)給食サービス関係者食品衛生(食中毒対策)研修会を7月に延期し、開催した。また、ふれあい型給食サービス事業実施地区交流会は中止した。

調理会場が使用できない、配食の際に対面することが難しいといった新型コロナウイルス感染症の感染拡大によって生じた課題があった。感染症の収束が見込めないため、感染拡大の状況に応じた安全第一の事業を実施したい。

(3) 災害時等地域支え合いマップの作成 * 受託事業

○事業概要:災害時等地域支え合いマップは、住宅地図上に高齢者や障がい者などいわゆる「要援護者」や、要援護者を支援する「支援者」、避難所、医療機関などの地域の資源や危険箇所などの情報を記載することにより、日常的な要援護者の安否確認及び避難や支援を迅速に行うための手段として活用するもので、この作成事業を通じて地域福祉の推進を図る。

○目的 (1)災害時の要援護者の安否確認や避難支援

(2)日常生活における地域での支え合い

(3)地域と山口市地域包括支援センター、山口市社会福祉協議会との連携による緊急時の対応

○更新地区 湯田・仁保・小鯖・大内・宮野・陶・鑄銭司・名田島・秋穂二島・嘉川・佐山地区

地区名	災害時等地域支え合いマップ(更新)作業日
湯田	8月19日(水)
仁保	令和3年1月30日(土)
小鯖	7月29日(水)
大内	9月26日(土)
宮野	8月29日(土)
陶	7月18日(土)
鑄銭司	8月 1日(土)
名田島	7月22日(水)
秋穂二島	7月31日(金)
嘉川	8月 1日(土)
佐山	11月14日(土)

《成果と課題》

マップを作成することで、地域内の災害時要援護者の把握ができ、地域の防災意識の向上に役立っている。

しかし、地区の作成方法等について地域ごとに要望が異なり、また地図の作成にかなりの事務量が発生している。この課題を踏まえ、令和元年度にGISという地図データソフトを導入し、地図のデータ化を進めた。

今年度は、この地図を活用し自治会ごとのハザード情報を写した地図を使い、対象者全員を1枚の地図に示し、情報共有を行った。次年度は山口市が作成した避難行動要支援者から同意を取った同意名簿が地域に提供されることから、この地図を活用した取り組みを市とともに検討していく。

4 地域子育て支援機能の充実

(1) 児童福祉事業の推進

1) 山口市山口児童館の受託運営

事業	名称	内容	時期・回数	対象・人数	成果と課題
自由 来館	施設開放	遊戯室、児童遊園を開放し、子どもの遊び等の活動場所とともに、保護者の交流場所とする。	通年 開館日264日 ※臨時休館 (29日間)	児童・保護者 18,863名	新型コロナによる休館。今後感染症対策マニュアルが必要。備品の老朽化が激しく、計画的な入れ替えが必要。
	HAPPYスペース	2階図書室を小・中学生に自習室として開放し、職員や大学生と話したり、学習・遊びを通して交流する。	月2回(土曜日) 13:00~16:00	小・中学生 11名 大学生 7名	コロナの影響があったが、7月に2回行うことができた。
	プール開放	夏休みに児童遊園のプールを開放し、水遊びの場所とする。	7月下旬~8月上旬	幼児・児童	未実施
連続 講座	やんちゃクラブ	親子の遊びや活動を通じた居場所づくり、仲間づくり。(子育て相談を含む)	毎週木曜日 10:30~11:30	生後6ヶ月 未就園児	未実施
	がらくたらんど	工作や絵画活動、集団遊びを通じた人間関係づくり。(子育て相談を含む)	毎週水曜日 15:45~16:45	小1~小3	未実施
	ぶれい☆メイト	BBS学生との工作や、レクリエーション活動。	月1回土曜日 13:30~15:30 (1回実施)	3歳~小6 15名 保護者7名 BBS 8名 計30名	7月に1回実施。児童館内・外を使用し、BBS学生と自由に交流を行った。
連続 講座	ももたろうクラブ	地域のお年寄りと様々な活動を通して交流を行う。	年2回不定期 (1回実施)	3歳~小6 保護者 25名	しめ縄づくりを通して交流を行った。
	ひよっこり講座	様々な制作や遊びの体験活動。	年10回不定期 (11回実施)	1年~3年 88名	制作やレクリエーションを実施。がらくたらんどで行う内容(運動会・クリスマス

事業	名 称	内 容	時期・回数	対象・人数	成果と課題
					会)も行った。
	親子でひよっこり講座	やんちゃクラブの として実施	木曜日 10:00~11:00 (21回実施)	未就園児 保護者12 組	制作・レクリエーション・季節行事等を行い、親子や子ども同士の交流を行った。子育て相談会としてママカフェ開催。
	特別講座	専門講師による講座	不定期 (8回実施)	内容から設定 196名	科学遊び・萩焼体験・けん玉等、専門講師による様々な体験を行った。
	おはなしライブラリー	読み聞かせ、ペープサート、人形劇、エプロンシアター等	年10回不定期 (9回実施)	幼児・児童・ 保護者 229名	児童館職員やおはなしボランティアによる紙芝居、パネルシアターを実施。回数増が課題。
単独講座	移動児童館	制作やレクリエーション	不定期	内容から設定	未実施
行事	ゲームラリー	施設内での様々なゲーム活動。	9月第4土曜日 午後	3歳~小6 56名	親子、友達で10か所のゲームブースにチャレンジし合計点を競って表彰を行った。
	運動会	BBS 学生企画による運動会。	10月第4土曜日 午前	3歳~小6	未実施
	秋祭り	各種ゲーム、飲食コーナーでの体験活動。	11月第3土曜日 午後	小1~小3	未実施
	クリスマス会	音楽や劇の鑑賞、ゲームなど。	12月第1土曜日 午後	3歳~小6	未実施
	ハロウィン祭り	各種ゲーム、飲食コーナーでの体験活動。	10月31日土曜日 13:30~15:30	幼 児 ・ 児 童 ・ 保 護 者 62名	参加者は仮装をし踊りやおみこし、その他、ハロウィンにちなんだゲームや飲食等を楽しんだ
感染症対策					
<ul style="list-style-type: none"> ・職員・利用者のマスク着用 ・館内手すり・ドアノブ・遊具・玩具の消毒 ・講師・学生ボランティアは健康チェックに関するアンケートを記入 ・入館時の検温・手洗い・手指消毒 ・利用者を分散し各部屋を開放・換気 ・一般利用者は登録書を記入 					

《全体の成果と課題》

- 新型コロナウイルス感染症の影響により4・5月は休館を余儀なくされたが、6月頃から徐々に準備を始め、7月中旬ごろから感染症対策として参加者を限定するなどの工夫をし行事を実施した。
- 連続講座は未実施としたが、代替措置として単独講座を少人数にし回数を増やして行った。
- 老人福祉館とのコラボで行う講座は、来年度も多世代交流の場として回数内容ともに充実させる方向で考えている。
- 前年度まで子育てに関する相談機能が不足していたため、試行的にママカフェを実施した。子どもは児童館職員が見守る中、保護者と離れて別室で過ごし、同じ不安を抱える保護者同士で思いを共有することができた。次年度以降も定期的に行っていきたい。
- 令和3年度4月1日よりNPO法人あつとの運営する『あつと児童クラブ』が施設内に入り、今まで以上に多世代の交流の充実や職員間の連携・危機管理等が重要になってくる。
- 今後も新型の感染症の拡大を踏まえ、子どもたちが安心・安全に活動できる場としての児童館のリスクマネジメントについて現在実施していることをマニュアル化する必要がある。

2)秋穂コミュニティセンターの受託運営

* 受託事業

- 事業内容: 山口市より委託を受けた山口市秋穂コミュニティセンターの適正な管理運営を行い、センターとして地域住民と密接な連携を保ちながら、児童の健全育成に努める。

月	主な行事		定例会・その他
4	～5(日)	お花見週間 中止	囲碁将棋定例会 4回 18名
	4(土)	にこにこ桜まつり 中止	ひまわり会(自彊術) 2回 24名
	18(土)	自然観察会 中止	おはなし会 中止
	26(日)	避難訓練(火災) 12名	秋穂児童にこにこ学級入級式 28名
	13(月)～ 5/17(日)	新型コロナウイルス感染症対策のため閉館	
5	9(土)	フラワーアレンジメント教室 延期	囲碁将棋定例会 中止
	19(火)	防災教室(KYT) 23名	ひまわり会(自彊術) 中止
	31(日)	第89回囲碁大会 中止	おはなし会 中止
6	5(金)・26(金)	健康体操教室①・② 中止	囲碁将棋定例会 8回 47名
	6(土)	ビーズ教室① 中止	ひまわり会(自彊術) 4回 42名
	12(金)	避難訓練(火災) 36名	おはなし会 中止
7	4(土)	たなばた会 35名	囲碁将棋定例会 8回 32名
	8(水)・10(金)	(にっこり劇団) 延 59名	ひまわり会(自彊術) 4回 44名
		防災教室(クイズ) 延 59名	おはなし会 中止
	31(金)	夏休み工作教室 中止	
8	4(火)	環境学習講座 16名 (講師: 曾我邦雄先生) 「ペットボトルで風力自動車作り」	囲碁将棋定例会 9回 38名 ひまわり会(自彊術) 3回 29名 おはなし会 中止

月	主な行事		定例会・その他
	5(水)	パネルシアター (にっこり劇団)	27名
	17(月)	消防総合訓練	45名
	25(火)	ミニコンサート	中止
			秋穂地区学童交流会 大海なかよし学級 26名
9	27(日)	第90囲碁大会	中止
	28(月)	防災教室(KYT)	26名
	28(月)	避難訓練(野犬)	26名
			囲碁将棋定例会 9回 27名 ひまわり会(自彊術) 4回 40名 おはなし会 6名
10	9(金)・23(金)	健康体操教室④・⑤	中止
	19(月)	防災教室(クイズ)	38名
	19(月)	避難訓練(地震)	38名
	24(土)	フラワーアレンジメント教室 (講師:井上晶子先生)	11名
	27(火)	にっこり花壇苗植え	10名
			囲碁将棋定例会 8回 31名 ひまわり会(自彊術) 5回 52名 おはなし会 2名 団体利用(保育園) 20名
11	7(土)	ビーズ教室② (講師:横尾浩子先生)	34名
	28(土)	避難訓練(火災)	5名
			囲碁将棋定例会 8回 39名 ひまわり会(自彊術) 4回 48名 おはなし会 4名 団体利用(保育園) 15名 秋穂保育園おひさまクラブ 16名
12	19(土)	工作教室② 「ミニ門松づくり」 (講師:伝承グループ)	26名
	25(金)	避難訓練(火災)	30名
			囲碁将棋定例会 8回 35名 ひまわり会(自彊術) 3回 30名 おはなし会 7名 児童デイサービス 15名 児童クラブ入級説明会 25名
令和3年1	7(木)	七草がゆを食べる会 昔のあそびをしよう 子どもの居場所づくり	中止 中止 中止
	24(日)	第91回新春囲碁大会	中止
	27(水)	避難訓練(地震)	35名
			囲碁将棋定例会 8回 31名 ひまわり会(自彊術) 4回 49名 おはなし会 中止 秋穂コミュニティセンター・秋穂放課後児童クラブ 運営委員会 14名
2	5(金)・19(金)	健康体操教室⑤・⑥	中止
	24(水)	避難訓練(不審者)	12名
			囲碁将棋定例会 8回 43名 ひまわり会(自彊術) 3回 29名 おはなし会 中止 団体利用(保育園) 23名

月	主な行事		定例会・その他	
3	3(水)	消防訓練	42名	囲碁将棋定例会 8回 34名
	3/28(日)～	お花見週間		ひまわり会(自彊術) 4回 39名
	4/3(土)			おはなし会 5名
				団体利用(保育園) 15名 児童デイサービス 8名

○その他の事業

- ・ 図書の貸し出し ・花壇コンクール参加 ・防災啓発活動(出前授業)

【成果と課題】

- ・今年度は新型コロナウイルス感染症対策により、4月13日～5月17日まで閉館した。再開後一般来館者には児童館コロナガイドラインにそって検温、消毒、マスク着用、人数制限、飲食禁止、館内使用後の消毒など協力していただいた。
- ・感染症対策による行事の中止が多く夏頃から再開したが、定員を減らし3密にならないよう注意した。7月のイベントは外部の方をお願いするのは難しかったので、職員と児童クラブ支援員による「にっこり劇団」を結成した。構成を考え準備や練習などが大変だったが、多くの方に喜んでもらったので、継続的に活動していこうと思う。
- ・毎月のクイズは継続していく事で、認知度が高まった。また高学年向きの図書を増やし、プレイコーナーを設けることにより、楽しい遊びが増えた。
- ・4月に秋穂小学校、大海小学校へポスターを配布したが、コロナの影響もあり、来館者は期待するほどではなかった。今後も地域の小学生に来てもらえるよう、工夫していく。
- ・今年度は、月1回の防災活動を行った。月1回の避難訓練に加え、「防災クイズ」や「KYTワークシート」を使った出前授業を行い、日頃から危険予知を意識した生活ができるよう取り組んだ。
- ・これまで親子参加型のプログラムがなかったので、参加しやすい日程や内容など地域の方にアンケートを実施した。今後のプログラム作成に生かしていきたい。
- ・昨年度から参加している「花壇コンクール」に今年度も応募し、「モデル賞」と「優秀賞」をいただいた。

3) 児童クラブの運営

* 受託事業

①小郡児童クラブ事業(小学校1～6年の学童保育)

* 受託事業

○事業内容: 小学校放課後、家庭に保護者がいない児童に遊びや生活の場を与え、健全な育成を図る。

- ・放課後児童クラブ事業の円滑な運営(常勤支援員30名+非常勤支援員29名+シルバー人材センター3名)
(夏期休業期間に非常勤支援員7名、シルバー人材センター7名増員)

登録学童 290名(5学級)

開設日数	ひまわり学級	290日開設(土曜日48日)	登録学童	60名(3月末41名)
開設日数	ひまわり第2学級	290日開設(土曜日48日)	登録学童	60名(3月末47名)
開設日数	ひまわり第3学級	290日開設(土曜日48日)	登録学童	60名(3月末53名)
開設日数	はちのこ学級	292日開設(土曜日50日)	登録学童	60名(3月末59名)
開設日数	はちのこ第2学級	292日開設(土曜日50日)	登録学童	50名(3月末47名)

各種事業

月	日	曜日	事業内容
4	1	水	・令和2年度 保育開始
	3	金	・小郡小学校挨拶(はちのこ・はちのこ第2学級)
	13	月	・上郷小学校挨拶(ひまわり・ひまわり第2・ひまわり第3学級)
7	13	月	・小郡小学校との連絡会(はちのこ・はちのこ第2学級)
		月	・上郷小学校との連絡会(ひまわり・ひまわり第2・ひまわり第3学級)
12	19 21	土 月	・令和3年度小郡小・上郷小学校区放課後児童クラブ入級説明会
令和3, 3	31	水	・学級別保護者説明会(はちのこ・はちのこ第2学級)
			・学級別保護者説明会(ひまわり・ひまわり第2・ひまわり第3学級) ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため保護者説明会中止
			・令和2年度 保育終了

【職員の研修関係】

放課後児童健全育成関係職員等初任者研修会・放課後児童支援員認定資格研修・教育支援員等研修会・放課後児童健全育成関係職員等中堅者研修会・その他研修会(新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止)

《成果と課題》

共働き世帯、核家族世帯、ひとり親世帯など本事業の利用を希望される世帯が増えており、放課後、子どもが安心して過ごせる生活の場を提供できるよう支援員、保護者、小学校、地域が連携した学級運営に努めている。今年度はひまわり第3学級の新設があり上郷小学校区は待機児童解消となったが、小郡小学校区は通年の待機児童が多く、長期休業期間のみの利用希望もあり、令和3年度以降も関係機関と連携し対応策を検討する必要がある。

②秋穂児童クラブ事業(小学校1～6年の学童保育) * 受託事業

○事業内容: 小学校放課後、家庭に保護者がいない児童に遊びや生活の場を与え、健全な育成を図る。

・児童クラブ事業の円滑な運営(児童厚生員2名+支援員10名+補助員7名)

開設日数 秋穂児童にこにこ学級 289日開設(土曜日45日) 登録学童 45名 (3月末36名)

開設日数 大海なかよし学級 216日開設(土曜日26日) 登録学童 27名 (3月末27名)

各種事業

月	月	曜日	事業内容
4	1	水	・令和元年度保育開始(秋穂児童にこにこ学級、大海なかよし学級)
	8	水	・入級式(秋穂児童にこにこ学級、大海なかよし学級)
	1～7	水～火	・『こいのぼり製作』、チャレンジ月間【春の詩を覚えてみよう】(秋穂児童にこにこ学級)
	15～30	水～木	・コロナ対応臨時開級開始
5	1～26	金～火	・コロナ対応臨時開級期間
	13～20	水～水	・『似顔絵をかこう』(秋穂児童にこにこ学級)
	27	水	・畑作り、サツマイモの苗植え(秋穂児童にこにこ学級)

月	月	曜日	事業内容
6	17～19 10	水～金 水	・壁面作り【世界地図】(大海なかよし学級) ・『七夕飾りを作ろう』(秋穂児童にこにこ学級) ・お楽しみおやつ(秋穂児童にこにこ学級、大海なかよし学級)
7	8～15	水～水	・夏季休業前保護者会(秋穂児童にこにこ学級・大海なかよし学級)中止 ・チャレンジ月間【夏の詩を覚えてみよう】(秋穂児童にこにこ学級) ・お楽しみおやつ(秋穂児童にこにこ学級、大海なかよし学級)
8	3～7 7 18	月～金 金 火	・チャレンジ週間【お楽しみ会準備】(秋穂児童にこにこ学級) ・交流会(秋穂児童にこにこ学級、大海なかよし学級) ・お楽しみ会(秋穂児童にこにこ学級、大海なかよし学級)
9	9～13 16 28	水～日 水 月	・『フォトフレーム作り』(秋穂児童にこにこ学級) ・お楽しみおやつ(秋穂児童にこにこ学級、大海なかよし学級) ・秘密基地作り(秋穂児童にこにこ学級、大海なかよし学級) ・敬老の日プレゼント作り(大海なかよし学級)
10	17、29 1～ 7～19 19	土、木 木 水～月 月	・芋ほり(秋穂児童にこにこ学級)(大海なかよし学級) ・チャレンジ月間【秋の詩を覚えよう】(秋穂児童にこにこ学級) ・『ハロウィン衣装作り』(秋穂児童にこにこ学級) ・ハロウィンパーティー(秋穂児童にこにこ学級、大海なかよし学級)
11	11～13 12 10～	水～金 木 火～	・『押し花を使って栞作り』(秋穂児童にこにこ学級) ・お楽しみおやつ(秋穂児童にこにこ学級) ・チャレンジ月間(クリスマス会練習)
12	9～11 24	水～金 木	・『クリスマスオーナメント作り』(秋穂児童にこにこ学級) ・クリスマス会(秋穂児童にこにこ学級、大海なかよし学級)
令和3年 1	4 21	月 木	・「絵馬を作ろう」(秋穂児童にこにこ学級、大海なかよし学級) ・お楽しみおやつ(秋穂児童にこにこ学級)
1	28 20,29	木 水、金	・運営委員会 ・お楽しみおやつ(大海なかよし学級)
2	1、2 1～28	月、火 月～日	・節分行事(秋穂児童にこにこ学級、大海なかよし学級) ・チャレンジ月間【冬の詩を覚えよう】(秋穂児童にこにこ学級)
3	12 26,31	金 金、水	・新年度保護者会(秋穂児童にこにこ学級、大海なかよし学級) ・お別れ会(秋穂児童にこにこ学級、大海なかよし学級) ・フラワーアレンジメント(大海なかよし学級)

【職員の研修関係】

- ・山口市児童クラブ支援員全体研修会
- ・山口市南部ブロック研修会
- ・新人支援員研修会
- ・放課後児童支援員認定資格研修会
- ・児童館長、児童厚生員等研修会
- ・放課後児童健全育成関係職員等中堅者職員研修会

《成果と課題》

共働き世帯、核家族世帯、ひとり親世帯など、本事業の利用を希望される世帯が増えており、放課後、子どもが安心して過ごせる生活の場を提供できるよう支援員、保護者、小学校、地域が連携した学級運営に努

めている。

開所時間延長事業の利用者が多く、登録児童の4割弱が利用している状況である。

新型コロナウイルス感染症対応に伴う開級利用者は、4月14日～5月22日の間は、家庭保育で感染拡大予防にご協力いただいた世帯が半数以上あった。また、夏休み期間が短縮されたこと、2年生以上は6時間授業が増えたこと、コロナ禍の休み中に留守番ができると判断された家庭も多く3年生以上の退級者が多くでた。今後、新しい生活様式を取り入れて職員一丸となり対応していく。

③阿知須児童クラブ事業(小学校1～6年の学童保育) * 受託事業

○事業内容: 小学校放課後、家庭に保護者がいない児童に遊びや生活の場を与え、健全な育成を図る。

・児童クラブ事業の円滑な運営: 支援員(嘱託)2名+支援員・補助員36名

(学年始め休業期間に補助員6名増員)

登録学童 185名(3学級合計)

開設日数 おひさまクラブ1 292日開設(土曜日50日) 登録学童 56名 (3月末58名)長期保育0名

開設日数 おひさまクラブ2 291日開設(土曜日49日) 登録学童 69名 (3月末66名)長期保育0名

開設日数 井関にここにクラブ 288日開設(土曜日46日) 登録学童 65名 (3月末63名)

各種事業

月	日	曜日	事業内容
4	1	水	・令和2年度保育開始
5			・阿知須中学校職場体験(2か所)中止
6	25	木	・阿知須小学校との連絡会(おひさま1・2)
	30	火	・阿知須小学校との連絡会(おひさま1・2)
7			・七夕製作(おひさま1・2)
8	5	水	・清光園「子どもの食緊急支援プロジェクト」(井関にここに)
	7	金	・清光園「子どもの食緊急支援プロジェクト」(おひさま1・2)
	18	火	・夏休み行事・フラワーアレンジメント・ビーズ作り・習字体験・(おひさま1・2) ・縁日・けん玉認定(井関にここに) ・発表会中止(井関にここに)
10	28	水	・ハローイン(おひさま1・2)
			・井関小学校運営協議会(井関にここに)
11	3	火	・阿知須文化祭ビデオ出演(井関にここに)
12	23	水	・クリスマス会(おひさま1・2)
令和3年1	7	木	・清光園「子どもの食緊急支援プロジェクト」(おひさま1・2・井関にここに)
3	12	金	・おひさまクラブ新1年生保護者説明会
	30	火	・竹とんぼ教室(井関にここに)
	31	水	・お楽しみ会(おひさま1・2)

※9月から毎月・けん玉教室(井関にここに)・月1回学校との連絡会(井関にここに)

毎月支援員会議(おひさま1・2・井関にここに)

[職員の研修関係]

- ・子育て情報交換会・全体研修会・支援員認定資格研修会・代表者会議・社協巡回訪問・中堅研修会
- ・初任者研修会

<成果と課題>

コロナウイルス感染拡大の中で感染症の防止対策を日々実践しながらの1年だった。今年度も新しい生活様式がこれからどこまで続くのかは先が見えないが、感染予防対策をしていく。

共働き世帯、核家族世帯、ひとり親世帯など本事業の利用を希望される世帯が増えており、放課後、子どもが安心して過ごせる生活の場を提供できるよう児童クラブ職員、保護者、小学校、地域が連携した学級運営に努めていく。

④徳地児童クラブ事業(小学校1～6年の学童保育) * 受託事業

○事業内容: 小学校放課後、家庭に保護者がいない児童に遊びや生活の場を与え、健全な育成を図る。

・放課後児童クラブ事業の円滑な運営(支援員9名、補助員1名)

登録学童 58名(3学級)

開設日数 出雲児童クラブ 250日開設(土曜日 8日) 登録学童 26名

開設日数 八坂児童クラブ 285日開設(土曜日41日) 登録学童 14名

開設日数 島地児童クラブ 264日開設(土曜日21日) 登録学童 18名

月	日	事業内容
4	1	・令和2年度保育開始
5		・こどもの日(島地)
7	21	・お楽しみ会(島地)
8		・プラパン、オリジナルパズル作り(八坂)
9		・万国旗制作(約120ヶ国)(出雲)
10	30	・ハロウィン(出雲・八坂・島地)
12	22	・クリスマス会(出雲)
	24	・お楽しみ会(島地)
12	25	・クリスマス会(八坂)
	28	・年末大掃除(島地)
令和3, 1	7	・新年お楽しみ会(八坂)
	11	・鏡開き(ぜんざい)(出雲)
2	2	・節分(豆まき)(出雲・八坂・島地)
		・スピード大会(出雲)
3	15	・入級説明会(出雲・八坂・島地)
		・お別れ会(出雲)
		・お楽しみ会(島地)
	26	

《成果と課題》

放課後、子どもが安心して過ごせる生活の場を提供できるよう支援員、保護者、小学校、地域間で連携した学級運営に努めている。入級児童数は減少しているが、約5割が開所時間延長事業を利用している。

今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止に配慮し、消毒、検温、手洗い、換気等感染症対策に留意した運営に努めたが、一方で多くの行事を取りやめた。

また、八坂児童クラブは、小学校敷地内にある建物(旧寄宿舎)の一部を利用しているが、施設が老朽化し防災の面から不安である。

⑤阿東児童クラブ事業(小学校1～6年の学童保育) * 受託事業

○事業内容: 小学校の放課後や土曜日、学校の長期休業中に、家庭に保護者がいない児童に遊びや生活の場を与え、健全な育成を図る。

徳佐児童クラブ 開設日数 274日開設(内土曜日32日) 登録学童 17名

さくら児童クラブ 開設日数 260日開設(内土曜日19日) 登録学童 20名

月	日	行事内容
12	15	徳佐児童クラブ入級説明会
	16	さくら児童クラブ入級説明会

《成果と課題》

共働き世帯、核家族世帯、ひとり親世帯など本事業の利用を希望される世帯が増えており、放課後、子どもが安心して過ごせる生活の場を提供できるよう支援員、保護者、小学校、地域間で連携した学級運営に努めている。

今年度は、新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言が出され、学校が休校となったため、午前中からの開所対応を実地。消毒、検温、手洗い、換気等感染症対策を十分に行って運営をした。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、多くの行事がとりやめとなった。

4) 子育てサロンの推進

〇ふれあい・いきいきサロンの子育てサロンは、現在の登録数が8サロンであり、1サロン減少した。今年度は高齢者サロンと合同で担い手同士の交流を目的に交流会を開催したが、昨年から参加者も増え、意見交換ができた。

(2) 母子・寡婦・父子家庭福祉事業の推進

・山口市母子寡婦福祉連合会への支援

5 社会福祉法人の地域公益活動の支援

平成30年3月13日に「山口市社会福祉法人地域公益活動推進協議会」の設立総会を行い、本年度から同協議会の取組みをスタートさせた。本会は同協議会の事務局を担っており、市内の社会福祉法人が連携・協働して、地域公益活動に取組み、制度の狭間の福祉課題の解決に向けた協議と仕組みづくりを推進している

年月	役員及び理事	加入法人全体	各エリア部会
4	20日(月) 監査会監事2名		
5	21日(木) 第1回役員会開催 ・理事7名出席 ・令和2年度事業スケジュールの確認他		
6		会費依頼	
7		9日(木)令和2年度総会開催 ・17法人32名出席 ・議事のみ、講演なし	
8			4日(火) 第1回北部エリア部会 27日(木)

年月	役員及び理事	加入法人全体	各エリア部会
			第1回南部エリア部会
9	10日(木) 第2回役員会開催 ・理事7名出席 ・第1回研修会について他		16日(水) 第2回北部エリア部会
10	16日(金) 第3回役員会開催 ・理事5名出席 ・小規模社会福祉法人連携強化事業について他		
11		25日(水)第1回全体研修会及び情報交換会 ・15法人29名出席(オンライン含む) 「ふくしネットそうじゃの取り組み」について	16日(月) 第3回北部エリア部会
12			3日(木) 第2回南部エリア部会 14日(月) 第1回中央エリア部会
令和3, 1	21日(木) 第4回役員会開催 ・令和3年度福祉公益協事業計画(案)について他		13日(水) 第4回北部エリア部会 26日(火) 第2回中央エリア部会 28日(木) 第3回南部エリア部会
2		25日(木)第2回全体研修会及び情報交換会 ・16法人31名出席(オンライン含む) 「山口市におけるひきこもりの現状と取り組み」	
3	24日(水) 第5回役員会 ・令和3年度総会及び議案について		3日(水) 第3回中央エリア部会 4日(木) 第4回南部エリア部会

《成果と課題》

昨年度から事業の検討及び実施する主体として、各エリア部会を設置し、各部会長を中心に事業実施に向けた協議を行った。事業に関しては新型コロナウイルス感染拡大防止のため、イベント等の事業は中止した。市社協各支所・出張所において、法人紹介の写真パネルの掲示及び各エリア部会のパンフレット作成及び地域情報新聞ほっぷへの記事掲載等、法人の紹介やPRに努めた1年となった。また、事業実施に向けた

協議を重ねる中で、法人間のネットワークづくりや情報交換につながっている。

また、コロナ禍での事業継続等のため、県社協からの補助金等により、オンライン環境整備の機材一式を購入し、オンライン併用のハイブリッド型研修会を2回実施した。オンラインであれば、旅費等もかけずに全国的にも先進的な活動に取り組む方々の話も聞くことができるため、積極的に活用していきたい。

今後の課題は、事業実施のための予算確保、実施に向けた仕組みづくり、社会福祉法人の事業活動の更なる周知啓発など多岐にわたる。

6 地域福祉権利擁護事業及び法人後見事業の充実

(1) 利用者保護支援事業の推進

1) 地域福祉権利擁護事業の実施

認知症、知的障がいや精神障がい等の理由により、判断能力が十分でない方々の生活を支援する地域福祉権利擁護事業は、開始以来21年6箇月が経過し、本会が事業推進を担っている。

○全相談件数

対象者区分	相談件数		合計
	北部	南部	
認知症高齢者	31	12	43
知的障がい者	10	5	15
精神障がい者	27	6	33
その他	33	4	37
合計	101	27	128

○契約件数

利用者区分	契約件数		合計
	北部	南部	
認知症高齢者	9	3	12
知的障がい者	5	2	7
精神障がい者	9	3	12
その他	1	1	2
合計	24	9	33

○解約件数

利用者区分	契約件数		合計
	北部	南部	
認知症高齢者	13	4	17
知的障がい者	1	0	1
精神障がい者	4	4	8
その他	0	1	1
合計	18	9	27

○利用者数(3月末日現在)

	認知症高齢者	知的障がい者	精神障がい者	その他	合計
北部	35	21	36	4	96
南部	10	22	25	2	59
合計	45	43	61	6	155

○研修並びに会議等

研修会講師派遣 9月19日 山口市男女共同参画センター

12月11日 川西地域包括支援センター

推進員・生活支援員合同研修会 0回

現物調査 北部支所8月26日、南部支所7月27日、阿東出張所7月10日

○生活支援員人数 18名（実活動人数16名）

《成果と課題》

新規契約件数は33件と増加傾向にあるが、利用者の判断能力の低下などの状況を踏まえて適宜成年後見制度への移行支援を実施し、解約件数27件の内8件が成年後見制度へつながった。また、金銭搾取が疑われる緊急的なケースも適切に対応することが出来た。

今後も関係機関と円滑に連携を図ると同時に職員一人一人の援助スキル向上を図ることで適切な支援の実施に努める。

2) 法人成年後見事業の実施

平成25年度に山口家庭裁判所へ登録申請を行い、法人後見人等候補者名簿への登録が平成26年度6月に完了した。令和3年3月末現在で5件を受任(2件終了)している。

○法人成年後見受任状況

(令和3年3月31日現在)

No.	性別	受任時期	類型	申立人	生活場所	備考
1	男性	H27.1 審判	後見	親族(子)	施設(在宅)	終了
2	女性	H27.3 審判	後見	山口市長	特養	終了
3	女性	H28.7 審判	後見	山口市長	病院	
4	男性	H30.9 審判	後見	後見人	在宅	
5	女性	R2.9 審判	後見	山口市長	在宅	

《成果と課題》

本会としては法人成年後見の受任を開始して6年が経過し、山口市は成年後見制度利用促進基本計画を策定し、本格的に権利擁護のネットワークが構築されることが期待される。そんな中、本年度の受任件数は市長申立てのケースの1件であるが、今後は地域福祉権利擁護事業利用者の中で成年後見制度への移行が必要と思われる利用者の見直しを図り、計画的に受任検討する等本会の取り組みが期待されるものと考えられる。

7 法律相談や貸付相談等の生活支援事業の推進

(1) 生活相談事業の効果的・効率的な運営

1) 法律相談の実施

○相談日 : 毎月第1水曜日(北部支所エリア)と第3水曜日(南部支所エリア)

○相談時間: 午後1時30分から午後3時30分まで(1日4件:1件30分以内)

相談事項		件数	相談事項		件数
家事	離婚	9	不動産	土地建物所有権確認請求	3
	遺言相続・遺産分割	22		賃貸借・売買紛争	4
	その他	2		境界・相隣関係の紛争	5
損害賠償請求		1		土地・建物明渡	2
債権・債務		9		不動産売買	2
労働		2		その他	1
その他		4		合計	66

《成果と課題》

市民の抱える法律的諸問題に、専門的な立場から指導・助言が行われた。

本年度の開催においては、新型コロナウイルス感染症の影響で3回中止したが、相談希望者、相談件数は変わりなかった。

2) お元気コールの実施

○事業内容：ひとり暮らし高齢者の希望者に対し、電話による声の訪問を実施

○実施頻度：利用者に応じて週1回・月2回・月1回の実施

○利用者数： 13世帯（開始件数2、休止件数3、廃止件数1）

《成果と課題》

定期的な声の訪問により、利用者の「安全・安否の確認」や「健康状態の確認」、「精神的ケア」を図るとともに、通話中に発見した福祉ニーズ(困りごと)を関係機関へ繋ぎ、問題の早期解決に役立っている。

新規契約が2件あり、事業への需要がある。緊急時対応等について関係機関と協議する必要がある。

(2) 各種資金の貸付相談窓口の開設

他機関から借り入れが困難な失業者世帯や低所得者世帯、障がい者世帯、高齢者世帯を対象に総合支援資金や教育支援資金等の生活福祉資金貸付制度及び法外援護資金について、相談対応と貸付等を行った。

各種資金の貸付相談窓口		相談件数	貸付決定件数
1	生活福祉資金貸付 (総合支援資金・福祉資金・教育支援資金・不動産担保型生活資金・臨時特例つなぎ資金)	2,837	739
2	生活福祉資金貸付資金償還(職権)免除	0	—
3	不良債権の督促指導(面接及び督促)	0	—
4	法外援護資金の貸付	120	38
5	食糧支援の実施	46	46
6	高額介護サービス費つなぎ資金貸付	1	0
7	生活安定対策資金の貸付	0	0
合計		3,004	823

《成果と課題》

本年度は、新型コロナウイルス感染症対策の特例緊急小口資金等の相談と生活困窮世帯を中心に、延べ3,004件の相談と823件の貸付件数があった。資金の貸付に限らず、必要に応じて食糧等の現物支給も実施した。

今後も、生活困窮者自立支援事業実施機関をはじめとして関係機関と連携を密にし、具体的な支援を行い、生活困窮者の自立促進を図っていく。

(3) 歳末たすけあい配分金の効果的運用

(単位:円)

No.	配分対象	算出基準	件数	配分額
1	生活困窮世帯	世帯当り 10,000円 世帯員1名増ごとに 3,000円加算	99世帯	1,662,000
2	小・中学校入学児童を養育している非課税世帯	入学児童1名当り 20,000円	12世帯	280,000
3	障害者手帳を所持している非課税世帯	障がい者1名当り 7,000円	138世帯	1,141,000
4	常時介護が必要な40歳以上の方とその介護者世帯(要介護3・4・5)	世帯当り7,000円	149世帯	1,043,000
5	常時介護が必要な65歳未満の方とその介護者世帯(障害支援区分5・6)		35世帯	245,000
6	88歳以上ひとり暮らし高齢者	1名当たり物品980円	1,160名	1,136,800
7	フードバンク山口が行う、子ども宅食「冬休み子どもサンタ便」への支援	1件当たり2,000円	50件	100,000
8	罹災世帯	全焼・半焼1件当り 20,000円	5件	100,000
9	児童施設退所者応援事業	1名当たり 上限70,000円	4名	280,000
10	・児童福祉施設 ・児童交流支援事業を行う地区社協	400円×定員 (上限40,000円)	21施設	589,600
11	子どもの遊び体験や文化鑑賞活動を企画する団体	上限100,000円	1団体	82,341
12	地区社協広報支援事業	地区社協だより発行 1回分 (上限40,000円)	21地区社協	791,248
13	市社協広報啓発	社協だより発行の一部		1,310,000
14	市社協登録子育てサロン	上限15,000円	5サロン	84,569
15	地域住民との協働で実施する地域住民の交流を目的とした行事(地区社協)	上限40,000円	2件	73,000
16	事業費	消耗品費・通信費等		463,977
17	令和2年度地域福祉活動事業費			2,139,826
	合計			11,522,361

《成果と課題》

1～5の生活困窮者を始めとした世帯への配分については、1, 2, 4の生活困窮世帯が前年度より増加したが3, 5は逆に減少した。申請方法や啓発方法について、今年も見直しを行ったが、更に利用しやすい仕組みにするために検討の必要性はある。

6～17については、配分額の増減はあったが、概ね予定通りの事業配分をおこなった。しかし、事業については、今一度内容を精査し、地域課題にあったものであるか内容を改めて検討していくことも必要である。

8 介護保険法関連事業及び障害者総合支援法に基づくサービス事業の推進

(1) 高齢者福祉の推進

1) 介護相談員派遣等事業の実施

* 受託事業

○介護相談員派遣等事業内容

介護サービスの提供の場を訪ね、サービスを利用する方等の話を聞き、相談に応じ利用者の疑問や不満、不安の解消を図るとともに介護サービス事業所の質的な向上を図ることを目的として、平成14年から山口市の委託を受け、介護相談員2人1組となって訪問を実施している。

○実施対象の介護サービス

- ①施設サービス： 介護老人福祉施設、介護老人保健施設、介護療養型医療施設
介護医療院
- ②居宅サービス： (介護予防) 特定施設入居者生活介護
通所介護、(介護予防) 通所リハビリテーション
(介護予防) 短期入所生活介護、(介護予防) 短期入所療養護
- ③地域密着型サービス： 認知症対応型共同生活介護（グループホーム）
(介護予防) 認知症対応型通所介護
地域密着型通所介護
総合事業通所型サービス
(介護予防) 小規模多機能型居宅介護
地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護

○事業実施範囲と実施事業所数

山口市内の事業所 68箇所（4、5月は新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止）

○事業実施結果

〈介護相談内容〉

内 容	件数	内 容	件数
入所・退所・利用料金	9	その他のサービス	1
設備・備品	2	介護保険料	0
食事・嗜好	5	利用料	1
トイレ・排泄	1	給付内容	1
入浴・清潔	5	その他の介護保険	2
趣味・娯楽	13	医療保険制度	0
人間関係・プライバシー	3	老人福祉制度	0
施設・職員の対応	4	老人保健制度	0
健康・医療・リハビリ	46	病気・健康管理	1
移動・送迎	2	家族問題	2
安全管理	1	その他	6
拘束	0	合 計	105

内 容	件数
気付き	64
実相談数	98
利用者数	1926

《成果と課題》

本年度114事業所訪問の予定だったが、新型コロナウイルス感染拡大防止で施設側が全面面会禁止の措置を取られ、46事業所が訪問中止となり68事業所に減少してしまった。

相談者は98名、相談件数は105件となった。介護相談内容として圧倒的に多かったのは、健康・医療・リハビリに関する内容だった。次いで、娯楽・趣味に関する内容、入所・退所、利用料金に関する内容の順だった。毎年「利用者の声や気付きの良い点は職員の励みになる」など聞く中、「コロナのせいだけではないと思うけど利用者が言葉に表すこともなく意欲もない。普段より一層職員の声かけが必要、生きていて良かったという気持ちにつながる、そういった関わりが大事だ」という声もあがった。決して高齢者だけでなく人と会って話をする事の大切さをしみじみ感じた年になったと思う。

令和3年度は97事業所に訪問予定。事業所の数を増やしたいが、今現在も予測が難しい新型コロナウイルス問題で例年のような日程調整が難しい。

課題としては、引き続き介護相談員の体調・感染予防を徹底し、受入れの判断にしてもらえよう何らかの相談方法の案を出し事業につなげていきたい。また、新規や未訪問事業所には介護サービス相談員派遣等事業の周知し、実施できるよう努めることが必要である。新規事業所については、一度受入れられると2度目からは事業の様子もわかりスムーズな受入れに繋がる。介護相談員の訪問が少しでも利用者の支援につながればと考える。

2) 居宅介護支援事業の実施

① 南部指定居宅介護支援事業所

月	ケアプラン(件数)		月	ケアプラン(件数)	
	介護保険	介護予防		介護保険	介護予防
4	113件	3件	10	119件	2件
5	114件	3件	11	113件	2件
6	120件	3件	12	117件	2件
7	122件	3件	令和3、1	115件	2件
8	114件	3件	2	116件	2件
9	115件	3件	3	116件	2件
合 計				1,394件	30件

《成果と課題》

令和2年度は、新型コロナ感染症の対策として、施設や医療機関に入ることが制限され、利用者の支援に例年と違う対応をすることになった。研修の参加も年度初めは少なかったが、後半は、ZOOMでの参加ができるようになり、今後はリモートでの参加を増やして、各々のケアマネジャーの質の向上に努めていく。今後も感染予防対策を講じ、本人や介護者に寄り添い、その人らしく地域で生活できるようにケアプランの作成に努める。

②あとう居宅介護支援事業所

月	ケアプラン(件数)		月	ケアプラン(件数)	
	介護保険	介護予防		介護保険	介護予防
4	133件	0件	10	128件	0件
5	133件	0件	11	122件	0件
6	137件	0件	12	129件	0件
7	131件	0件	令和3、1	123件	0件

月	ケアプラン(件数)		月	ケアプラン(件数)	
	介護保険	介護予防		介護保険	介護予防
8	130件	0件	2	117件	0件
9	131件	0件	3	124件	0件
			合計	1,538件	0件

《成果と課題》

5名体制で新規利用者の受け入れ、担当利用者のケアプラン作成等を行っている。利用者数の推移としては昨年より減少している。冬場はどうしても施設入所などで過ごされる利用者も多く、春になって自宅に戻ってこられる人が多い傾向にある。人口減少が著しい中、高齢者の占める割合は多く、今後、介護保険を利用する人は多くなってくることが予想される。

今年度は新型コロナウイルス感染症防止のため、ケアマネジャーの資質向上を図る研修自体も少なかったが、来年度はZoomでのオンライン研修も企画されると思うので、積極的に参加していきたい。

3) 訪問介護事業の実施

○サービス利用者数

	サービス内容				
	延べ利用者数	身体介護	身体生活介護	生活援助	総合支援事業
阿東	560名	2,012時間	3,486時間	660時間	205名
南部	798名	3,743時間	1,550時間	1,057時間	502名
合計	1,358名	5,755時間	5,036時間	1,717時間	707名

《成果と課題》

昨年度と比べ、全体的には利用者数、介護の提供時間ともに減少している。

南部訪問介護事業所では、訪問依頼があっても、職員数や職員の高齢化等に伴い稼働時間に限界があり、受け入れが困難な状況もあった。また、新型コロナウイルス感染予防対策を徹底し、利用者が安心してサービスが受けられるように努めた。

あとう訪問介護事業所は、昨年度に比べ利用者数は減少している。自立生活支援・重度化防止に資するため、生活援助の時間は半減し、身体介護は増加してきている。本年度は、新型コロナウイルス感染症予防で外部の研修参加が難しいため、職場内研修を毎月開催し資質向上に努めている。

今後も、介護ニーズは益々多様化・高度化することが見込まれるため、利用者が安心してサービスが受けられるよう、職員の資質の向上及び人材確保、育成が大きな課題である。

4) 訪問看護事業の実施

○対象地域 阿東地域

月	介護保険		介護予防		医療保険	
	利用者	訪問回数	利用者	訪問回数	利用者	訪問回数
4	52名	244回	9名	34回	14名	101回
5	51名	241回	11名	38回	13名	79回
6	53名	267回	12名	50回	16名	118回

月	介護保険		介護予防		医療保険	
	利用者	訪問回数	利用者	訪問回数	利用者	訪問回数
7	55名	276回	13名	50回	14名	122回
8	52名	244回	12名	43回	15名	107回
9	55名	258回	13名	48回	14名	101回
10	58名	274回	13名	63回	15名	104回
11	57名	260回	12名	49回	15名	102回
12	56名	256回	13名	49回	14名	104回
令和3、1	52名	227回	14名	47回	12名	76回
2	56名	249回	14名	53回	10名	71回
3	55名	278回	14名	60回	11名	85回
合計	652名	3,074回	150名	584回	163名	1,170回

《成果と課題》

本年度も看護師5名体制でサービスを行った。訪問看護の内訳は、昨年と比べ、介護保険は利用者・訪問回数ともに概ね昨年と同様。介護予防は、利用者・訪問回数ともに増加した。医療保険は点滴・処置等の一時的な利用者が多く、年間を通しての利用者・訪問回数は減少している。

新型コロナウイルス感染症予防のため研修が中止になることが多かったが、来年度はオンライン研修など積極的に参加し、職員のスキルアップを図りたい。

令和3年度は看護師1名が新規採用となる。業務に慣れるまでは、同行訪問や研修参加等で技術、知識を習得し、今後6名体制で在宅医療ニーズ等の増加に伴う需要増に対応できるようにしたい。

5) 山口市川西地域包括支援センターの運営

* 受託事業

1 ネットワークの構築

出席数

① 包括ケア会議出席状況

個別ケア会議	20回	
地域別ケア会議	1回	
住民主体会議	13回	
地域包括支援センター連絡会議	12回	
個別サービス調整会議	3回	
ネットワーク構築のための会議	79回	
内訳	(1)民生委員・児童委員協議会	50回
	(2)福祉員会	14回
	(3)地域密着型サービス運営推進会議	9回
	(4)居宅部会等介護支援専門員関係	6回
	(5)地区社会福祉協議会理事会等	0回

2 総合相談・支援業務

総合相談への対応状況(業務区分のその他を除く)

(件数)

電話	実件数	264件
	延件数	1,596件
来所	実件数	126件
	延件数	318件

・相談内容 (延件数)

介護予防	260件
生活支援	987件
虐待	12件
認知症	264件

訪問	実件数	139件
	延件数	899件
文書・Eメール	実件数	1件
	延件数	18件
その他	実件数	0件
	延件数	0件
合計	実件数	530件
	延件数	2,831件

介護保険	1,201件
閉じこもり	3件
緩和ケア	57件
総合事業	23件
障害者自立支援	9件
その他	137件
合計	2,953件

夜間・土・日・休日	85件
-----------	-----

3 権利擁護業務

・権利擁護への対応 (延件数)

地域福祉権利擁護事業に向けての支援	16件
成年後見制度利用に向けての支援	31件
消費者被害に対する支援	0件
措置入所に対する支援	2件

4 包括的・継続的ケアマネジメント支援業務 (延件数)

介護支援専門員への個別相談	44件
---------------	-----

5 介護予防業務実施状況 (実件数)

介護予防出張講座	1件
----------	----

6 指定介護予防支援業務

介護予防支援業務

予防給付プラン作成件数 (件数)

年間給付管理件数	5,539件
新規作成件数	143件

(開催数)

サービス担当者会議	349回
-----------	------

* 介護予防支援業務に関する研修会への協力

7 その他 (実施回数)

広報活動(地域包括支援センターに関するPR)	27回
------------------------	-----

8 認知症地域支援推進員

■ 認知症対応力向上のための支援

介護支援専門員からの相談、支援	14回
認知症カフェとの連携	4回
地域団体との連携(認知症啓発等)	14回

■認知症予防・普及啓発 (実施回数)

認知症サポーター養成講座	6回
介護予防講座	1回
図書館等公共施設との連携	2回

■相談支援・支援体制構築

相談への対応状況(業務区分のその他を除く) (件数)

電話	実件数	45件
	延件数	73件
来所	実件数	12件
	延件数	12件
訪問	実件数	54件
	延件数	80件
その他	実件数	3件

広報活動(認知症地域支援推進員に関するPR)	40回
------------------------	-----

9 生活支援コーディネーター(2層)

■地域組織からのニーズ把握の実績

主催者団体名	内容 (聞き取り方法・参加会議名等)	内訳		
		訪問	参加	その他
おごおり地域づくり協議会 (健康福祉部会)	会議参加		5回	
嘉川・佐山地区民生委員児童委員協議会	交流会の参加		1回	
小郡地区民生委員児童委員協議会	会議参加時の聞き取り		2回	
阿知須地区民生委員児童委員協議会、阿知須地区社会福祉協議会、NPO 法人山口ヘルスプロモーションネットワーク	アンケート実施のための連絡調整、会議出席、アンケート実施		4回	1回
小郡地区社会福祉協議会	会議参加、地域課題の聞き取り、視察研修	1回	5回	2回
嘉川地区社会福祉協議会	地域課題の聞き取り訪問	1回		
佐山地区社会福祉協議会	地域課題の聞き取り訪問	1回		
阿知須地区社会福祉協議会	地域課題の聞き取り訪問	1回		
老人クラブ連合会小郡支部	地域課題についての意見交換	1回	4回	2回
自立支援型地域ケア会議	会議参加		6回	

■地域資源の把握に関する実績

実態把握を行った対象事業所・地域団体・企業等	内訳		
	訪問	参加	その他
百歳体操グループ	30回		18回
各地域交流センター	5回		
小郡ふれあいセンター	1回		

実態把握を行った対象事業所・地域団体・企業等	内訳		
	訪問	参加	その他
公共施設(山口市役所、保健センター、図書館)	2回		2回
趣味サークル(公共施設、民間施設)	5回		6回
地域住民(民生委員、サロン代表者)	3回		10回
地域の企業(丸喜、フジグラン、丸久、嘉川タクシー)	2回		6回
介護保険施設等	2回		5回
ケアマネジャー			1回
地域の環境状況	2回		
宇部市内の包括支援センター			1回

■生活支援サービスの立ち上げ支援に関する実績

地域	支援した相手	訪問回数
小郡	新丁しゃべり場	4回
阿知須	あつえいきいき百歳体操	5回
	西祝	2回

■介護予防・生活支援サポーターと生活支援サービスとのマッチングに関する活動実績

サービス種別	いきいき百歳体操サポーター
マッチング実績数	0人

■協議体設置及び運営に関する活動実績

協議体名	回数
阿知須地区第2層協議体	5回

広報活動(生活支援コーディネーターに関するPR)	23回
--------------------------	-----

《成果と課題》

川西地域包括支援センターは、嘉川・佐山・小郡・阿知須地区における高齢者の総合相談窓口として山口市から受託業務を行っている。事業所は、小郡保健福祉センター内にあることから、他の地域包括支援センターと比べ来所相談が多い。

小郡地区においては、小郡地区社協の福祉部会と地区福祉活動計画について話し合い、認知症関係についての取組を行うこととなった。令和3年度に認知症徘徊模擬訓練を行う予定とし、令和2年度は鑄銭司地区社協が行う認知症徘徊模擬訓練の視察を行った。また、市老人クラブ連合会小郡支部と新山口駅南地域の見守り支援体制についての話し合いも行った。

阿知須地区においては、阿知須地区民生委員児童委員協議会とNPO法人ヘルスプロモーションと協力し、65歳以上の独居高齢者及び高齢者世帯のニーズ調査を行い、課題のある世帯に対して支援を行った。

嘉川地区においては、嘉川地区老人クラブ連合会へ介護予防及び見守り支援を働きかけ百歳体操を普及することができた。

佐山地区においては、地域づくり協議会と協力し、百歳体操の普及を行った。

地域や老人クラブ、薬剤師会、NPO法人、ケアマネジャー等から、高齢者の地域課題等についての情報交換会や課題解決のための協議体を本センターと一緒にやりたいとの声が出ている。個別課題から地域課題へつなげていく活動を地域や関係機関と一緒に取り組む体制づくりが必要となる。

6) 徳地教室型運動ショートプログラム(A-③)*** 受託事業**

介護予防・日常生活支援総合事業により徳地教室型運動ショートプログラムを3会場で実施した。

○出雲地区

会場	徳地保健センター
日時	毎週1回(月曜日)午後2時～4時
参加人数	5名
参加延人数	48名

○八坂地区

会場	徳地地域交流センター八坂分館
日時	毎週1回(水曜日)午後2時～4時
参加人数	3名
参加延人数	26名

○島地・串地区

会場	徳地地域交流センター島地分館
日時	毎週1回(金曜日)午後2時～4時
参加人数	2名
参加延人数	24名

《成果と課題》

体操やレクリエーションを継続することにより、介護予防についての意識が向上し体力の維持ができています。一方で、対象となる特定高齢者選定の困難さや教室期間が3箇月で終了することで、利用者の確保が課題である。

本年度は、新型コロナウイルス感染症対策に伴い、会場である市の施設が利用中止となり4月15日から5月15日まで本事業を休止した。また、2地区で利用者不在(八坂1月～、島地・串12月～)の状態が続いており、今後も各会場で1名以上の利用者の確保に努める。

なお、本事業は令和4年度に事業の内容の見直しが予定をされているため、次年度中に今後の事業継続の可否も含め関係者間で協議をしていく。

7) 介護予防・日常生活支援総合事業の実施**※補助事業****①徳地元気いきいきひろば設置運営事業**

○事業内容:高齢者の閉じこもり防止や生きがいがづくり、体力の維持・改善を目的として、健康チェック及び健康相談、体操やレクリエーション等を行う。

○会場:3箇所(徳地保健センター、徳地地域交流センター八坂分館、徳地地域交流センター島地分館)

○開催数:127回開催

○延べ人数:1,142名

《成果と課題》

やまぐち元気アップ体操やからだと頭を使うレクリエーションを取り入れ、身体機能の改善や認知症予防につなげている。

本年度は、新型コロナウイルス感染症対策に伴い、会場である市の施設が利用中止となり4月15日から5月15日までは利用者宅への訪問という形で対応をした。

八坂地区では、利用率が低下傾向にあり、利用者が2名という日も多くあったため、地域包括支援センターと

連携し、利用者への参加の呼びかけや新規利用者の確保に努める。

なお、本事業は令和4年度に事業の内容の見直しが予定されているため、次年度中に今後の事業継続の可否も含め関係者間で協議をしていく。

(2) 障がい者福祉の推進

1) 社会福祉センターしらさぎ会館

障がい者及び福祉団体の活動の拠点であるしらさぎ会館は、障がい者団体等と連絡を取りながら、障がい者が気軽に集うことができる開かれた施設を目指して運営を行っている。新型コロナウイルス感染症拡大の影響から、例年と比べ7割の利用にとどまった。

地域活動支援センターⅡ型事業、手話通訳者設置事業、手話通訳者等派遣事業、要約筆記者派遣事業などにより障がい者が自立した社会生活ができるよう支援した。

【しらさぎ会館利用状況】

種 別	件 数	人 数
会館通所事業	181	2,011
障がい者団体	204	1,676
福祉団体	427	3,620
その他	6	56
合 計	818	7,363

【全館事業】

《地域生活支援事業》

①地域活動支援センターⅡ型事業

事業内容は、創作的活動及び生産活動の機会の提供、社会との交流に関する基礎的事業、地域において雇用・就労が困難な在宅障がい者に対する機能訓練・社会適応訓練・送迎支援等のサービスを実施する機能強化事業がある。

基礎的事業では、健康体操、絵画、点字、絵手紙、書道、触手話、音楽レクリエーションの講座及び屋外活動を実施した。機能強化事業では、盲サロン・デフサロン・難聴者サロン・ボウリング、パソコンサロン、ハンドメイド、ものづくり、手話、ヨガ、陶芸等の講座を実施した。

○利用者延べ人数 2,011人

【障がい別利用状況】

身体障がい	肢体不自由	2人
	視覚障がい	23人
	聴覚障がい	17人
	内部障がい	1人
知的障がい		1人
精神障がい		7人
重複障がい		8人

《成果と課題》

本年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の関係で4月初旬～5月末まで講座が休みとなった。また、年末年始にも講座が休みになるなど、昨年度に比べ延べ約500人の利用者が減少した。

外出も出来ず、会館内だけの講座(おやつ作り・カラオケ以外)になり、内容も検討するがマンネリ化してしまった。利用者の中には、外出が出来ないし、カラオケの講座がない等コロナ禍になる前の講座が再開するまではお休みする方も増えたが、それでも多くの方は、支援センターに来られることを楽しみにされていた。

講座の内容では運動系が人気であり、外出には行けない代わりに体を動かすことを取り入れ、今年度初めて卓球バレーに挑戦した。椅子に座ってする競技でチーム戦なので、障がいにかかわらず誰でも参加できるため、利用者にも人気のスポーツとなった。

講座の利用者数が15名に足りない日もあるため、参加者が多い講座とのバランスをみながら予定も組んでいく。年々利用者も高齢化し、疾病をもつ人も増えてきている。また、利用者の声に耳を傾け一人ひとりの体調管理を充分に行い、利用者が安心して安全に集える講座・場所作りを目指したい。

②手話通訳者設置事業

ろう者とは、生まれつき、または音声言語を獲得する前に聞こえなくなり、手話言語を獲得している聴覚障がい者である。ろう者が日常生活の上で他者と意思疎通をする際の支援として手話通訳を行っている。また、聞こえないことから生じる情報不足等により生活上の困難を抱えるろう者に対して、相談活動もし、問題解決に向けて家族や専門機関へつなぎ、連携をとりながら、継続的な通訳と相談支援を行っている。

【 設置通訳者派遣内訳 】

	【分類】	【延べ人数】
設置通訳者 3名 (常勤 3名) 4月～7月2名 8月～3月3名	行政	154
	医療	386
	労働	21
	文化	23
	教育	25
	警察	2
	その他	180
	合計	791

《成果と課題》

本年度の派遣件数は791件と昨年度の674件に比べ117件増加している。

本年度の主な特記する点は、常勤者が4月～7月が2名、8月～3月が3名となり、稼働できる人数が増えた。ことと、4月5月の緊急事態宣言が出ている間、病院通訳を登録通訳者ではなく設置通訳が担ったことである。

新型コロナウイルス感染症対策として、ろう者と通訳者に対し感染防止チェックシートでの健康管理をおこなった。また登録通訳者に感染防止のためフェイスシールド、マウスシールド、不織布マスクを配布した。

本年度も、ろう者の高齢化から、医療や介護に関する件数が多くなっている。その中でも重篤な内容については、関係機関との連絡調整を行った。また、身寄りのない高齢ろう者については、住居や死後整理等の相談といった内容など専門機関と連携して専門的な通訳も行った。

「医療」に次いで件数が多い「その他」の内容は、文章理解が難しいろう者へ書類の内容を手話で説明したり、電話ができないろう者が店や業者に連絡をする際の通訳が多い。

また、山口市消防本部とも連携をとり、緊急搬送の通訳対応も1件行った。

今後も高齢独居の生活に困難をかかえているろう者には、関係機関と連携を取り、適切な支援ができるように努める。総合的な支援が必要になっているろう者に対しても、ろう者の自主性を尊重しながら、関係機関と連携しろう者が適切な支援ができるように努める。また、聞こえないための不安や心配のない体制作りにも努める。

③手話通訳者等派遣事業

ろう者が日常生活の上で他者と意思疎通をする際の支援として登録手話通訳者(26名)を派遣している。

手話通訳者設置事業と本事業で約1,800件の派遣実績がある。

【登録者派遣内訳】

登録者 26名 (手話通訳士 1名) (手話通訳者 20名) (手話奉仕員 5名)	【分類】	【延べ人数】
	行政	333
	医療	326
	労働	3
	文化	236
	教育	16
	警察	6
	その他	97
	合計	1,017

《成果と課題》

本年度の派遣件数は昨年度の1205件から188件減少した。

派遣数が減少した理由としては「医療」では4月・5月は病院通訳を新型コロナウイルス感染症の危険性で、設置通訳が担ったためと、新型コロナウイルス感染症対策として学校行事が中止になったことが考えられる。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のために地域生活支援センター事業の講座、主催者負担の行事(講演会や研修会など)が中止となり、そのため、実績の伸びが停滞した。

分類別にみると、最も多かったのが「行政」(ヘルパー利用等)、次に「医療」(通院や訪問看護利用)であった。

また、他市、他県での通訳申請時には、山口県聴覚障害者福祉協会へ広域派遣や斡旋派遣を2件依頼した。

登録通訳者研修会は3回予定したが、新型コロナウイルス感染症対策で2回のみ開催となった。また、密を避けるために要約筆記との合同研修会は行わなかった。

1回目は事前準備の大切さについて研修した。2回目は通訳現場の課題と対応について、事前に考え、当日倫理綱領に照らし合わせて検証をおこなった。欠席者にもレポート課題を提出してもらった。

本年度も登録通訳者に対し活動可能時間調査を実施した。平日昼間に活動できる登録通訳者は平均10名程度と限られている。今後も継続して通訳派遣を実施していくために、登録通訳者の確保が課題となっている。また、登録通訳者の年齢層が高いことも考慮すると、次世代の登録通訳者を増やすことと、後継者育成が課題である。

今後も、適正で円滑なコーディネートが心がけ、よりよい意思疎通支援ができるように努めたい。

④要約筆記者派遣事業

聴覚障がいイコール手話の概念が一般にあるが、要約筆記の利用者の多くは中途失聴者である。今年度は、高齢難聴の方の利用開始が数名あり、包括支援センターからの連絡を受けたケースや聞こえの講座の受講者などであった。市報の掲載記事を見て来館される例もあり、引き続き住民へ向け、事業の発信をしていきたい。

現在、登録通訳者は、24名。転居や体調不良を理由に、年度末には3名の減少となった。通訳者の確保のためには、養成講座は県事業なので、受講につながる体験講座等の継続が必要となる。

新型コロナウイルス感染症の影響は大きかった。地域活動支援センターの休止や行事の中止もあり、利用者・通訳者双方に感染者を出さない配慮が欠かせない一年となった。

【派遣内訳】

【派遣内訳】	【件数】
行政	4
医療	39
労働	3
文化	131
教育	0
その他	19
合計	196

《成果と課題》

派遣件数は、前年比85%の196件。新型コロナウイルス感染拡大により、地域活動支援センターの講座が4月中旬より5月末まで中止。主催者負担の件数は、昨年の20件に対し、8件にとどまった。

登録者研修は2回実施した。

1回目は、対象者や派遣範囲などを実施要綱で確認後、手書きノートテイクの表記と事例検討をグループで行なった。現場での判断や行動が、事業としての信頼を築くことを確認した。

2回目は、パソコンの通訳者証所持者を対象に、「Zoomで要約筆記」とした。新型コロナウイルス感染拡大により、大都市圏では難聴者の会議がZoomで行なわれ、要約筆記の表示方法の検討がされた。その結果、昨年11月に全要研から出されたマニュアルを元に、Zoom・仮想カメラの使用方法を学んだ。受講者からは、より現場に即した学習を望む声が出た。確実な現場の情報保障のために、引き続き取り組んでいきたい。

【しらさぎ会館事業及び活動状況】

事業名	開設日数・延べ人数	年間合計
地域活動支援センターⅡ型事業	開設日数	183日
	利用者延べ人数	2,011人
手話通訳者設置事業	通訳延べ人数	791人
手話通訳者等派遣事業	派遣延べ人数	1,017人
要約筆記者派遣事業	派遣延べ人数	196人

2) 障害者福祉作業所の運営

① かがやき

1) 運営

本年度6月に利用者1名が退所し、現在は登録者数9名となっている。就労継続支援B型の事業所として、利用者の意向、適性、障がいの特性を踏まえて作成した個別支援計画に基づきサービス提供に努めた。今後とも適正かつ健全な運営に努め、日々の作業活動において一人ひとりの特性能力を活かし、自分らしく働けるよう支援する。

2) 作業内容

作業科目	受注先	内容
瓦留めクリップ等の組立て	オノダネイル	瓦留め耐風クリップ、ラク枠、デッキロック等の組立て、箱詰め
紙製品の封入	石見紙工業	ルーズリーフ、クリアブック等の封入、封緘梱包
印刷物の封入	介護労働安定センター マルニ	チラシ、案内状等の封入、封緘、タックシール貼り、仕分け
シール貼り	田辺海苔店	海苔袋のシール貼り
しらさぎ会館の清掃	山口市社協	しらさぎ会館の清掃作業(毎日)

作業科目	受注先	内 容
ポスティング	地域情報新聞	地域情報誌「ほっぷ」のポスティング(週1回)
アーユスの清掃	老人保健施設アーユス	老人保健施設アーユスの清掃作業(毎週火・水曜日)
カレンダー封筒の作製	山口市社協	カレンダー裏面を使った封筒作り

3) 行事等

内 容	開催日
AED講習会	7月10日(金)
保健講座(熱中症について)	7月15日(水)
現場体験実習受入れ(山大附属特別支援学校)	7月20日(月)～31日(金)
虐待防止・権利擁護研修会(希望の館合同)	10月12日(月)
避難訓練(地震)	11月5日(木)
避難訓練(風水害)	11月5日(木)
保健講座(インフルエンザについて)	12月8日(火)
大掃除・茶話会	12月28日(月)
現場体験実習受入れ(山大附属特別支援学校)	令和3年2月1日(月)～12日(金)
避難訓練(火災)	令和3年3月18日(木)
送別会(ボウリング大会)	令和3年3月25日(木)

4) 研修等

なし

5) 利用状況

年間開所日数	235日(月平均20日)
延べ通所者数	1,788名(月平均149名)
1日平均利用者数	7.7名
年間工賃支払総額	2,597,131円
平均工賃(月額)	23,610円(時給286円)

《成果と課題》

本年度の総収入は昨年度よりも20万円程度上回った。コロナ禍の影響もあり、オノダネイルからの受注が減る一方で、5月から開始した老人保健施設アーユスの清掃業務が大きな収入増につながったことと、1月に開始したポスティングが軌道に乗ったことが増収の要因である。従前の作業と新しい作業のバランスを考えながら、さらなる工賃向上と、利用者のモチベーションアップにつなげたい。

②希望の館

1) 運営

令和2年度は7名の利用者となった。就労継続支援B型の事業所として、利用者の意向、適正、障がいの特性等を踏まえて作成した個別支援計画に基づいたサービス提供に努め、利用者個々の人格を尊重しながら、利用者の立場に立ち支援をする。

2) 作業内容

作業科目	受注先	内 容
山口市阿知須体育センター清掃及び	山口市	体育館の清掃作業(週3回)

作業科目	受注先	内 容
周辺の除草		除草(6月1日～6月30日)
阿知須総合支所周辺の除草	山口市	除草(9月1日～9月30日)
山口市公衆トイレ清掃	山口市	トイレの清掃(週1回)
健康福祉センター「おげんき館」清掃	山口市社協	おげんき館の清掃作業(週2回)
自動車部品等形成	モルテン大津	ゴム製部品のバリとり作業
ゴム製品の検品・梱包	王子ゴム化成	製品の梱包資材の準備作業

3) 行事

内 容	開催日
レクリエーション(常盤公園)	5月21日(木)
現場実習受入れ(宇部総合支援学校)1名	7月30日(木)・31日(金)
避難訓練(風水害)	8月31日(月)
現場実習受入れ(山口南総合支援学校)1名	9月7日(月)～9月18日(金)
避難訓練(火災)	9月24日(木)
虐待防止・権利擁護研修会(かがやきと合同)	10月12日(月)
大掃除・お楽しみ会(忘年会)	12月24日(木)
避難訓練(地震)	令和3年2月10日(水)
お花見	令和3年3月31日(水)

4) 研修等

主 催	内 容	会 場	開催日
山口県	相談支援者従事者初任者研修及びサービス管理責任者基礎研修	(初任者研修) YIC 看護福祉専門学校	(初任者研修) 7月8日(水)・9日(木)
		(サービス管理者基礎研修) YIC 看護福祉専門学校	(サービス管理者基礎研修) 10月9日(金)
		YIC スタジオ	10月13日(火)
山口県障害福祉サービス協議会	利用者と職員を守る～防疫と防災～	山口県社会福祉会館	12月15日(水)

5) 利用状況

年間開所日数	239日(月平均20日)
年間利用者延べ人数	1,420名(月平均118名)
1日平均利用者数	6名
年間工賃支払総額	1,742,966 円
平均月額工賃(一人)	24,208円(時給 245円)

《成果と課題》

本年度はコロナ禍の影響でモルテン大津からの作業が激減した。一方で、山口市の公衆トイレの清掃作業、阿知須総合支所周辺の草取り作業は順調で、昨年度と同程度の収入になった。

新規利用者の確保は、相談事業所を通じて2名の見学者があり、また電話による問合せもあったが、利用までには成らなかった。

今後は、継続的な受注の確保に努めながら作業の効率化を図るとともに、個々の利用者に合った作業と適切かつ効果的なサービス提供を行っていく。また、登録者数を10名程度にしていくことが課題となる。

③地域活動支援センター「アカシア工房」 * 受託事業

- 1) 事業内容: 山口市から受託し、身体・精神・知的障がいの方を対象に、石見紙工業や山口市から受託した作業等を行うことにより、社会参加の支援を行う。
- 2) 開設日: 延べ236日
- 3) 利用者: 延べ1,724人
- 4) 実利用者: 11人【登録者: 11名】(令和3年3月31日現在)
- 5) 作業内容: 石見紙工業からの受託する軽作業及び山口市から受託する清掃作業、バザーで販売する手芸品づくりなど
- 6) 作業以外の行事 : 次のとおり

月	日	曜日	行事内容
5	21	木	アカシア工房家族会総会 書面議決(家族会)
9	23	水	避難訓練(火災想定)
12	3	木	健康相談の時バザー出店
12	22	火	デイケア クリスマス会参加
令和3年1	6	水	お楽しみ会

《成果と課題》

令和2年度は新しく1名が入所し、11名のスタートとなった。

年間を通して受注先の企業より安定した仕事を受けることができ、作業工賃も受注内容の違いにより増減はあるが安定して支払うことができた。

製品に対して、作業がマンネリ化しないように気を付けながら、不良製品が出ないように努力している。

増築部分の山口市保健センター清掃業務を市から委託され、作業生は担当場所をきれいにきちんと清掃するよう努めている。

作業の合間には手芸品等を製作し、バザーなどで販売することで自分の作った製品が売れる喜びを感じるとともに、社会参加ができる機会を設けていたが、本年度は新型コロナウイルス感染症対策で行事が中止になったため、アカシア工房入口前に常時展示し販売を行った。

③障がい者の居宅介護支援事業の実施

	サービス内容					
	延べ利用者数	身体介護	家事援助	通院介助	同行援護	重度訪問介護
阿東	69人	126時間	478 時間	0時間	138時間	0時間
南部	154人	191.5時間	808.5時間	6.5時間	77.5時間	30時間
合計	223人	317.5時間	1286.5時間	6.5時間	215.5時間	30時間

《成果と課題》

昨年度と比較し、全体的に延べ利用者数及びサービス提供時間共に増加した。内訳的には、阿東居宅介護支援の延べ利用者数が減少したが、逆に南部居宅介護支援の利用者は増加した。

今後も利用者から選ばれる事業所として努力する。

重点事業Ⅱ

「第2次山口市社会福祉協議会活動基盤強化計画」の推進(平成30年度～令和4年度)

1 第2次山口市社会福祉協議会活動基盤強化計画会議の開催

○年間開催回数 9回

回	開催日	協議内容
第1回	6月18日(木)	○協議事項 1. 災害ボランティアセンター関連について(協定団体関連・職員役割分担表) 2. 会議体について 3. ホームページについて 4. 第2次基盤強化計画について
第2回	8月19日(水)	○協議事項 1. 第2次基盤強化計画について ◇組織強化部門…事業進行計画及び事業ベースシートの作成 事業目標の明確化 ◇財源確保部門…予算削減の推進 ◇人材養成部門…研修委員会の立ち上げ ○その他…会議のあり方を検討(本会議は年2回とし、詳細は9月から事務局長課長会議で協議する) 2. 大口寄附金について 3. ネットワーク整備について 4. 新型コロナウイルス感染症の対応について
第3回	令和3年 1月19日(火)	○協議事項 1. 第2次基盤強化計画の進捗状況確認 2. 令和2年度の評価と事業ベースシートの作成と確認 3. 第3次基盤強化計画の策定について 4. ネットワーク整備について 5. 新型コロナウイルス感染症の対応について
事務局長・課長会議協議 9月	9月14日(月)	○協議事項 1. 第2次基盤強化計画について 2. 事業ベースシート・事業評価シートについて 3. 委託事業数の確認と今後について 4. 組織体制について(課制の確認等)
事務局長・課長会議協議 10月	10月13日(火)	○協議事項 1. 第2次基盤強化計画について 2. 事業ベースシート・事業評価シートについて 3. 委託事業の今後について 4. 嘱託・臨時職員の雇用契約の更新について
事務局長・課長会議協議 11月	11月12日(木)	○協議事項 1. 第2次基盤強化計画について 2. 事業ベースシート・事業評価シートについて 3. 委託事業数の確認と今後について 4. 組織体制について(課制の確認等) 5. 嘱託・臨時職員の雇用契約の更新について
事務局長・課長会議協議 1月	令和3年 1月15日(金)	○協議事項 1. 現事業の評価と方向性について 2. 委託事業の確認と評価について 3. 本会の委託事業の方向性について 4. 本会の組織体制について

回	開催日	協議内容
事務局長・課長会議協議 2月	2月15日(月)	○協議事項 1. 第2次基盤強化計画進捗状況確認 2. 事業ベースシート作成状況確認 3. 本会の委託事業の確認 4. 令和3年度事業計画(案)について
事務局長・課長会議協議 3月	3月15日(月)	○協議事項 1. 第3次基盤強化計画に策定について 2. 事業ベースシートについて 3. 本会の委託事業の方向性について 4. 本会の組織体制について

《成果と課題》

基盤強化会議では、今年度の推進方法を協議した。令和2年度は本計画の中間年度に当たり、3部門(組織強化部門・財源確保部門・人材養成部門)ごとの課題の確認や取り組むべき課題の進捗状況を確認し、優先順位の高い項目の推進を図った。

今年度は、新型コロナウイルス感染症の関係で、事業や財源確保、組織体制の大きな見直しを迫られ、コロナ後の本会の基盤強化にむけ協議した結果、それぞれの行うべき優先順位は①組織強化部門においては、事業進行計画及び事業概要シートの作成を行い、②財源確保部門においては、事業を一つ一つ見直し予算削減に努めること(予算編成会議でも協議)、③人材養成部門においては、多くの職員を参集させての研修会を避けて参加職員を絞っての研修会を実施するなどのやり方を変更し実施した。

主要事業

1 自立した法人運営と「働き方改革」の推進

(1) 組織基盤の整備

1) 住民会員(一般会員)会費の周知の徹底

会費項目 (一口金額)	山口地域 (500円)	小郡地域 (500円)	秋穂地域 (500円)	阿知須地域 (500円)	徳地地域 (500円)	阿東地域 (500円)
会員数	46,293	5,213	2,143	3,341	2,052	2,076
金額(円)	23,146,500	2,606,700	1,071,500	1,670,500	1,026,000	1,038,200
合 計(円)					30,559,400	

※前年度比 500円増

2) 住民会員(一般会員)会費以外[市内統一]の周知の徹底

会費項目 (一口金額)	特別会員会費 (1,000円)	組織会員 (団体会員)会費 (3,000円)	組織会員 (施設会員)会費 (7,000円)	賛助会員会費 (5,000円)
件数	72	84	50	212
金額(円)	888,000	261,000	385,000	1,393,000
合 計(円)				2,927,000

※前年度比 121,000円減

○新たな事業所等に対する賛助会員会費の増強・拡大

本年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大の状況を鑑み、訪問による新規事業所開拓を積極的には行わなかった。例年通り、本会職員が関りのある事業所に対して、賛助会員への加入を直接お願いした。

3) 善意銀行の周知と適正な配分実施

寄附項目	一般寄附	香典返し	資産積立	合計
件数(件)	95	311	4	410
金額(円)	2,283,715	18,598,000	15,200	20,896,915

※前年度比 2,591,725円減

(2) 法人の運営

1) 理事会・評議員会の開催

開催日(会議名)	内 容
6月10日(水) (第1回理事会)	報告第1号 「介護保険関連事業」及び「障害者総合支援関係事業」運営規程の一部改正について 報告第2号 会長、常務理事の職務執行状況について (提出議案) 議案第1号 令和元年度 社会福祉法人山口市社会福祉協議会 事業報告について 議案第2号 令和元年度 社会福祉法人山口市社会福祉協議会 収支決算報告について 議案第3号 令和2年度 社会福祉法人山口市社会福祉協議会 資金収支第一次補正予算(案)について 議案第4号 評議員選任・解任委員会の開催について 議案第5号 評議員選任・解任委員会に提出する評議員の選任候補者の推薦について 議案第6号 定時評議員会の開催について
6月25日(木) (定時評議員会)	(提出議案) 議案第1号 令和元年度 社会福祉法人山口市社会福祉協議会 事業報告について 議案第2号 令和元年度 社会福祉法人山口市社会福祉協議会 収支決算報告について 議案第3号 令和2年度 社会福祉法人山口市社会福祉協議会 資金収支第一次補正予算(案)について
12月17日(木) (第2回理事会)	報告第1号 社会福祉法人山口市社会福祉協議会「介護保険関係事業」及び「障害者総合支援関係事業」運営規程の一部改正について 報告第2号 会長、常務理事の職務執行状況について (提出議案) 議案第1号 社会福祉法人山口市社会福祉協議会 給与規程の一部改正(案)について 議案第2号 社会福祉法人山口市社会福祉協議会 母性健康管理規程の制定(案)について 議案第3号 理事候補者の提案について
令和3年 3月16日(火) (第3回理事会)	報告第1号 会長、常務理事の職務執行状況について (提出議案) 議案第1号 令和2年度 資金収支第二次補正予算(案)について 議案第2号 令和3年度 事業計画(案)について 議案第3号 令和3年度 資金収支予算(案)について

開催日(会議名)	内 容
	議案第4号 「役員等損害賠償責任保険」契約の締結について 議案第5号 第2回評議員会の開催について 議案第6号 就業規程(規程第13号)、嘱託職員就業規程(規程第14号)、臨時職員就業規程(規程第15号)、登録訪問介護員就業規程(規程第56号)、登録生活支援員就業規程(規程第95号)の全部改正(案)について 議案第7号 放課後児童クラブ支援員及び補助員就業規程(規程第97号)の制定(案)について 議案第8号 事務局規程(規程第6号)の一部改正(案)について 議案第9号 給与規程(規程第18号)の一部改正(案)について 議案第10号 継続雇用規程(規程第56号)の一部改正(案)について 議案第11号 育児・介護休業等に関する規程(規程第78号)の一部改正(案)について 議案第12号 ハラスメント防止規程(規程第92号)の一部改正(案)について 議案第13号 社会福祉センター設置及び管理規程(起案第94号)の一部改正(案)について 議案第14号 山口市アカシア工房 山口市地域活動支援センター事業運営規程(規程第98号)の制定(案)について
令和3年 3月24日(水) (第2回評議員会)	(提出議案) 議案第1号 令和2年度 資金収支第二次補正予算(案)について 議案第2号 令和3年度 事業計画(案)について 議案第3号 令和3年度 資金収支予算(案)について 議案第4号 理事候補者の選任(案)について 議案第5号 役員等報酬に関する規程(規程第19号)の一部改正(案)について 議案第6号 社会福祉センター設置及び管理規程(規程第94号)の一部改正(案)について 議案第7号 山口市アカシア工房 山口市地域活動支援センター事業運営規程(規程第98号)の制定(案)について

2) 監査の実施

開催日	内 容
5月22日(金)	令和元年度 山口市社会福祉協議会監査(財務監査・事業監査)

3) 評議員選任・解任委員会の実施

開催日	内 容
6月15日(月) (第1回評議員選任・解任委員会)	(提出議案) 議案第1号 評議員候補者の選任について

(3) 運営体制の強化

1) 月例会議の開催

本会事務事業の円滑な推進に向けた調整・協議・連絡事項を内容とした会議を開催した。

○年間開催回数 11回(月1回開催 8月を除く。)

2) 事業調整会議の開催

各事業について市内全域を対象に推進するため、次のように事業調整会議を開催した。

なお、毎回、地区福祉員協議会、地区民児協定例会に開催する際の情報提供資料の確認を行った。昨年度同様に本会議とは別に小グループで課題を協議する場を設け、山口市地域福祉計画・山口市地域福祉活動計画の取り組みとリンクさせて協議した。なお、この調整会議で小グループの協議結果を報告し、共通認識を図った。

○年間開催回数 12回(月1回)

開催日	協議内容
4月27日(月)	・業務役割分担について ・各事業の確認等
5月28日(木)	・コア会議の開催について ・歳末たすけあい事業について等
6月22日(月)	・民児協ブロック研修会について ・ボランティア研修会について等
7月29日(水)	・福祉の輪づくり運動研修会について ・社会福祉法人地域公益活動推進協議会部会開催について等
8月31日(月)	・有償サービス講座について ・マイクロバス運行事業について等
9月29日(火)	・福祉教育体験学習について ・団体助成について等
10月28日(水)	・福祉員交代の対応について ・地区社協巡回訪問について等
11月30日(月)	・市ボランティア連絡協議会役員改選について ・地域福祉活動計画について等
12月22日(火)	・福祉教育について ・歳末激励品について等
令和3年 1月27日(水)	・災害ボランティア研修会について ・災害時等避難行動要支援者名簿について等
2月24日(水)	・ふれあいのネットワークづくり運動について ・ボランティア活動保険及び行事用保険について等
3月16日(月)	・ふれあい型給食サービスについて ・福祉機器について等

《成果と課題》

事業の内容確認や調整の他、情報の共有や職員の意識統一が図れた。地域福祉課の実施事業は多く、解決すべき課題もあるが、コロナ禍の中、本会だけでなく関連機関(企業、社会福祉法人等)との連携等、効果的な実施方法等も今後検討していきたい。

(4) 共同募金運動への協力

1) 一般募金(目標額:32,980,000円)

(単位:円)

募金種別	令和2年度実績	令和元年度実績	前年度比
戸別募金	22,852,977	23,154,293	△301,316
法人募金	2,586,864	2,691,199	△104,335

募金種別	令和2年度実績	令和元年度実績	前年度比
募金百貨店	385,534	439,527	△53,993
職域募金	1,687,884	1,717,796	△29,912
街頭募金	127,068	393,878	△266,810
興行募金	249,026	1,182,385	△933,359
その他	2,040,913	2,129,008	△88,095
合計	29,930,266	31,708,086	△1,777,820

2) 歳末たすけあい募金(目標額:12,500,000円)

(単位:円)

募金種別	令和2年度実績	令和元年度実績	前年度比
戸別募金	10,578,174	10,942,339	△364,165
学校募金	331,056	269,622	61,434
その他の募金	613,131	852,543	△239,412
合計	11,522,361	12,064,504	△541,143

3) 災害義援金

○実績額: 247,443円

4) 行事の内容

開催日	内容	備考
4月14日(火)	山口市共同募金委員会監事会	監事3名 事務局
6月16日(火)	山口市共同募金委員会運営委員会	運営委員11名 監事1名 事務局
7月22日(水)	山口市共同募金委員会審査委員会	共同募金及び歳末たすけあい募金配分決定
8月4日(火)	山口市共同募金委員会推進委員会	推進委員42名 事務局
10月1日(木)	共同募金開始行事、街頭募金	山口井筒屋
10月10・24日(土)	街頭募金、街頭宣伝	中市アーケード内
10月～12月	法人、職域募金	山口市内全域
10月4日・11月8日 12月6日(日)	中市マルシェ出店	山口井筒屋前
令和3年 2月26日(金)	山口市共同募金委員会審査委員会	令和2年度歳末たすけあい配分報告 令和3年度共同募金配分計画

《成果と課題》

年々募金実績が減少していく中、コロナ禍で募金運動が十分に行えない状況となり、興行募金として毎年行っていた「歌の祭典」を中止とした。

募金活動においては、新型コロナウイルス感染症拡大防止の対策を練ることで、各種会議・オープニング・街頭募金を行うことができた。また、新たな募金活動として商店や事業所と協働して中市マルシェへの出店、多世代が参加できる試みとして、子どもたちが手掛けた募金箱設置企画を行った。募金箱は企業や施設等へ設置依頼し、社会貢献意欲のある企業等とのつながりを持つことができた。

配分事業においては、共同募金の目的に沿った用途となるよう本会内で担当者会議を開催し、事業の再考を図った。

実績を上げるために、広く関係機関・団体へのニーズ調査を行い、地域の課題解決のための配分事業を計画し、コロナ禍でもできる募金活動やHPを活用した効果的な広報等を模索する必要がある。

(5) 福祉サービス事業に関する苦情解決の取り組み

○苦情の受付状況

サービス内容	件数	サービス内容	件数
社協法人運営(住民会員会費)	2	放課後児童クラブ運営	3
組織改編		有償在宅福祉サービス	
福祉資金等貸付・交付	1	介護機器等貸出事業	
地域福祉権利擁護事業		チェアキャブ貸出事業	
社協施設の利用	1	移送サービス	
介護保険サービス(相談)	1	共同募金・歳末たすけあい	3
介護保険サービス(訪問)	3	社協ホームページ	
介護予防事業関連		誤った発送(福祉員関連)	
介護保険施設との行き違い	1	給与・労務事務	2
障害福祉サービス(相談)		職員のモラル(SNS)	1
障害福祉サービス(訪問)		職員の電話対応	
障害福祉サービス(通所)	2	職員の交通マナー	
民生委員・児童委員活動	1		
福祉員活動		合計	21

○福祉サービス苦情解決責任者研修会

※コロナウイルスの感染拡大防止のため中止

《成果と課題》

福祉サービス事業に関する苦情解決体制は、苦情解決責任者、苦情受付担当者、第三者委員の委嘱により体制を整えている。本年度の苦情等の申し出は、丁寧に掘り起こしを行ったこともあり、21件と前年度を上回った。

苦情の内容は、介護保険サービス(訪問)及び放課後児童クラブ運営、共同募金・歳末たすけあいに関するものがそれぞれ3件と最も多く、次いで社協法人運営(住民会員会費)及び障害福祉サービス(通所)、給与・労務事務が2件であった。

苦情は、初期時の適切な対応が大切であると同時に、個人のプライバシーに関する情報管理についても改めて徹底が必要であり、今後も苦情への早期対応及び早期解決に向けて組織的に職員教育を行う必要がある。

(6) 関係機関等との渉外・その他調整等

1) 中国・四国都市社会福祉協議会連絡協議会第58期(令和2年度)定期総会及び研修会

中国・四国地域には昭和38年に中国・四国都市社会福祉協議会連絡協議会が結成されており、前年度に引き続き、山口市社会福祉協議会が事務局引き受けとなった。しかし、新型コロナウイルス感染症流行の収束が見込めないこと等を踏まえ以下のように進めた。

運営委員会

- 開催日 7月14日(火)
- 会場 山口市社会福祉協議会南部支所
- 参加者 会長－1名、運営委員－3名、監事－1名、事務局－6名

定期総会及び研修会

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため定期総会は書面議決、研修会は中止。

2) ソーシャルワーク実習等の引受

福祉現場の実習等については、山口県内の大学(福祉学部)及び福祉職をめざす山口市出身者、福祉事務所等からの相談・依頼を受けて、本会としてソーシャルワーク実習Ⅱ等を積極的に引受け、人材育成に努めた。

学校名	実習人員	実習期間	実習受入部署
山口県立大学 社会福祉学部 社会福祉学科	4名	8月17日(月)～9月9日(水) 〔内17日間〕	山口市社会福祉協議会 本所 兼 北部支所

(7)「働き方改革」の推進

1) 就業関連規程の全部改正及び制定

1. 今回の規程改正及び制定の目的

- (1)働き方改革関連法案が成立し、2020年4月から「同一労働同一賃金」を定めた法律が施行され、中小企業扱いの本会は2021年4月からの適用となり、同一労働同一賃金の適用遵守が義務づけられる。これを契機に同一労働同一賃金に基づいた待遇差を改善すること。
- (2)本会の就業関連規程は、法人合併後大きな見直しをしていない継ぎはぎの規程で、本来規程に明記されるべき内容が網羅されていないため、整備を図ること。
- (3)山口市が地方公務員法や地方自治法の改正により令和2年4月1日から「会計年度任用職員制度」を導入され、山口市から「山口市会計年度任用職員制度」の例による運用の要請があったこと。

■全部改正規程(5)

- ・就業規程 ・嘱託職員就業規程 ・臨時職員就業規程 ・登録訪問介護員就業規程
- ・登録生活支援員就業規程

■制定規程(1)

- ・放課後児童クラブ支援員及び補助員就業規程

■関連規程(2)

- ・事務局規程 ・給与規程

2. 今回の規程改正のポイント

- (1)各規程に雇用形態別の責任の重さを明記(同一労働同一賃金関連)[パートタイム・有期雇用労働法]

①(正規職員・継続雇用職員)就業規程(第2条「定義」)

- ・正規職員→本会の中核的業務に常時従事する職員
- ・継続雇用職員→本会の中核的業務に従事する職員

※事務局規程にア)第5条 組織上の職員の職名を職位と職位以外に分けて明記

イ)第6条 管理監督者を明記

ウ)第7条 組織上の職員及び所属長の職務を詳細に明記

②嘱託職員就業規程(第2条「定義」)→本会の補佐的業務に従事する職員

③臨時職員就業規程(第2条「定義」)→本会の補助的業務に従事する職員

(2)福祉事務を遂行する常勤嘱託の雇用形態を週4日(31時間)勤務の非常勤嘱託に移行〔山口市会計年度任用職員制度の例による〕

①嘱託職員就業規程(第4条「嘱託の種類」)

- ・新規採用職員の場合は令和3年4月1日から
- ・在職職員の場合は令和5年4月1日から

(3)フルタイム臨時制の廃止

①臨時職員就業規程(第4条「臨時の種類」)

- ・新規採用職員の場合は令和3年4月1日から
- ・在職職員の場合は令和5年4月1日から

※雇用形態をそれぞれ週4日(31時間)勤務のパートタイム臨時へ移行する。

(4)正規職員への転換推進の措置を整備〔パートタイム・有期雇用労働法〕

正規職員の募集を行う場合は、その募集要件をパートタイム職員及び有期雇用職員へ回覧及び掲示により周知する。

①嘱託職員就業規程(第21条「正規職員への転換推進の措置」)

②臨時職員就業規程(第21条「正規職員への転換推進の措置」)

※登録訪問介護員・登録生活支援員・児童クラブ支援員及び補助員就業規程も同様に明記

(5)就業管理システムによる勤怠管理の導入〔労働安全衛生法〕

働き方改革関連法の1つである「労働安全衛生法(平成31年4月)」の改正により「従業員の労働時間の把握」が義務化された。厚生労働省は、労働時間の把握方法として「原則、労働時間の記録等の客観的な記録を基礎として確認し、適正に記録すること」を定めている。厚生労働省が示す客観的な記録方法の例(タイムカード、ICカード、パソコン)

①(正規職員・継続雇用職員)就業規程(第27条「労働時間の管理」)

→就業管理システムに始業及び終業時刻を打刻

②嘱託職員就業規程(第29条「労働時間の管理」)→同上

③臨時職員就業規程(第29条「労働時間の管理」)→同上

(6)法定休暇(有給・無給)の明記と臨時職員の年次休暇の付与単位の変更及び特別休暇の整備

(同一労働同一賃金関連)

職員の休暇は、次の3つに区分する。

・年次休暇 心身の疲労を回復し、ゆとりある生活を保障するために付与する有給休暇(労働基準法第39条に規定)。なお、有給休暇とは、正規の勤務時間中に賃金の支給を受けて勤務しない期間をいう。

・法定休暇 法律により義務付けられ、付与する休暇(年次休暇以外は有給・無給の定めなし)。付与の開始日は、年次休暇に準じる。

・特別休暇 法律上の定めがなく、本会が福利厚生の一つとして種類や取得範囲、取得単位 等のルールを決め、付与する休暇 付与の開始日は、年次休暇に準じる。

①(正規職員・継続雇用職員)就業規程(第41条「法定休暇」・第42条「特別休暇」)

②嘱託職員就業規程(第41条「法定休暇」・第42条「特別休暇」)

③臨時職員就業規程(第41条「法定休暇」・第42条「特別休暇」)

※登録訪問介護員・登録生活支援員・児童クラブ支援員及び補助員就業規程も同様に明記

(1)有給単価

ア)年間を通じて所定労働時間が固定している臨時職員

・時間給で計算し、通常勤務と同じ金額の賃金を支払う。

イ) 所定労働時間が変動する臨時職員(登録訪問介護員・登録生活支援員・登録児童厚生員・児童クラブ職員・訪問看護師等)

・1日を単位とした過去3箇月間の平均賃金を算出し支払う。

(2) 年次休暇の付与単位

ア) 正規職員・継続雇用職員・嘱託職員・1日の所定労働時間が7時間45分の臨時職員

・1日・半日・時間単位

イ) 1日の所定労働時間が7時間45分未満かつ固定している臨時職員

・1日・半日単位

ウ) 1日の所定労働時間が変動する臨時職員(登録訪問介護員・登録生活支援員・登録児童厚生員・児童クラブ職員・訪問看護師等)

・1日単位

(7) 雇用形態別に給与又は賃金の種類を明記(同一労働同一賃金関連)[パートタイム・有期雇用労働法]

①(正規職員・継続雇用職員)就業規程(第53条「給与の種類」)

→正規職員12種類、継続雇用職員9種類

②嘱託職員(第50条「賃金の種類」)→9種類

③臨時職員(第50条「賃金の種類」)→6種類

④登録訪問介護員就業規程(第48条「賃金の種類」)→6種類

⑤登録生活支援員就業規程(第42条「賃金の種類」)→4種類

⑥放課後児童クラブ支援員及び補助員(第51条「賃金の種類」)→7種類

(8) 学歴に応じた資格・免許取得による「山口市社協嘱託職員・臨時職員職種別基準表」を整備[山口市会計年度任用職員制度を参考]

①嘱託職員就業規程(第51条「給料」)

(1) 職種別基準表に基づいた賃金を支給(令和3年度・4年度は月給制)

(令和5年度から時間給制)

(2) 令和3年度の採用時基本給(月給)、令和4年度の号級調整加算後の基本給(時間給)が令和2年度と比べ減額となる場合は、令和3年度及び令和4年度に限り、令和2年度基本給(月給)を堅持し、現給補償を行う。

②臨時職員就業規程(第51条「給料」)

(1) フルタイム臨時→職種別基準表に基づいた賃金を支給(令和3年度から時間給制)

パートタイム臨時→職種別基準表に基づいた賃金を支給(従来どおり時間給制)

(2) 現給補償(上記嘱託職員と同様の内容を明記)

※児童クラブ支援員及び補助員就業規程も同様に明記

(9) 経験年数による号級調整加算を導入[山口市会計年度任用職員制度の例による]

①嘱託職員就業規程(第52条「経験年数の号級調整加算」)

②臨時職員就業規程(第52条「経験年数の号級調整加算」)

③児童クラブ支援員及び補助員就業規程(第53条「経験年数の号級調整加算」)

①～③の規程の共通事項

ア) 経験年数による号級調整加算は採用時基本給の8号上位までとする。

イ) 令和3年度以前の嘱託職員及び臨時職員としての経験年数や学歴は、号級調整加算の対象としない。

ウ) 再度、任用するまでの間に空白期間がある場合には号級調整は行わない。

- (10)均等待遇に位置づけられる通勤手当の改善(同一労働同一賃金関連)[パートタイム・有期雇用労働法及び山口市会計年度任用職員制度の例による]
- ①嘱託職員就業規程(第54条「通勤手当」)
- (1) 山口市の「会計年度任用職員制度」事務マニュアルの例により費用弁償として通勤距離(片道2km未満である者、徒歩で通勤する者を除く。)に応じた自動車通勤の額を支給する。
- (2) 当該職員が週4日勤務に移行した場合の通勤手当は、通勤距離に応じた手当額の5分の4とする。
- (3) 通勤手当加算2,000円(駐車場自己負担額4,000円以上かつ通勤距離片道4km以上の場合は支給なしに移行。(駐車場会計で年度末に調整を図る)
- ②臨時職員就業規程(第53条「通勤手当」)
- (1) 週の所定労働日数が4日以上かつ固定している臨時職員
→上記嘱託職員と同じ
- (2) 週の所定労働日数が4日未満の臨時職員及び週の所定労働日数が変動する臨時職員
→1日につき1km20円に往復の距離数(片道2km未満である者、徒歩で通勤する者を除く。)を乗じた額を旅費として支給する。ただし、年次有給休暇の付与日は支給日数に含めない。
- (11)1日の所定労働時間が7時間45分の週4日(31時間)勤務する臨時職員に対する期末手当の支給[山口市会計年度任用職員制度の例による]
- ①臨時職員就業規程(第56条「期末手当」)
- (1) 令和5年度から年 2.55 箇月支給することができる。ただし、65歳に達した日に属する年度以降の臨時職員を除く。
- (12)健康診断に要する時間の位置づけ
- ①嘱託職員就業規程(第64条「健康診断」)
- ②臨時職員就業規程(第61条「健康診断」)
- (1) 本会は、月11日以上勤務する職員(登録訪問介護員及び児童クラブ職員は原則全員対象)に対して毎年1回以上定期的に健康診断を行う。
- (2) 当該健康診断に要する時間は、職務専念義務を免除する労働時間と位置づけ、費用については、2時間を限度とし、通常勤務と同じ金額の賃金を本会が負担する。
- (3) 再検査に要する時間は無給とし、費用は本人負担とする。
- (13)放課後児童クラブ支援員及び補助員就業規程(規程第97号)の制定
- ※児童クラブ職員は、働き方が様々で、勤務形態も年間を通じて変動する等「臨時職員就業規程」に網羅できない独自の内容があるため、この機会に本規程を制定する。
- ※(1)~(12)以外の内容
- ①(第4条)児童クラブ職員の区分→(1)児童クラブ支援員(2)児童クラブ補助員の「定義」を明記
- ②(第5条)児童クラブ主任・副主任の配置の配置及び職務→「必要に応じて主任及び副主任を配置することができる」を明記
- ③(第26条)人事異動→「地区内において就業する場所又は従事する業務の変更を命じることがある」を明記
- ④(第34条)休憩時間→「本会会長は、労働時間が6時間を超える場合は45分、7時間45分を超える場合は1時間の休憩時間を労働時間の途中に与える。ただし、本会は、児童クラブ職員がやむを得ず休憩時間に仕事をせざるを得なかった場合にかぎり、その事由を明記した「勤務実績記録票」に基づき、労働した時間に対して賃金を支給する」を明記
- ⑤(第58条)賃金改善手当→別に定める「賃金改善手当支給要綱」により支給することができる。
- ・令和3年度 年額124,000円[10,000円×11箇月+(12月)14,000円]

2 財源の新規開拓と効果的な法人及び事業運営による経営基盤の強化

(1) 予算編成会議の開催

回	開催日	協議内容
第1回	10月29日(木)	○協議事項 1. 委託・補助・指定管理事業の予算要望の確認について 2. 自主財源の伴う各事業の新年度予算経費削減状況について 3. その他予算編成に向けての確認について
第2回	12月4日(金)	○協議事項 1. 予算要望提出事業の状況について 2. 自主財源の伴う各事業の新年度予算経費削減状況について (シミュレーション) 3. 今後のスケジュールの確認について
第3回	令和3年 1月7日(木)	○協議事項 1. 決算見込みの状況について 2. 予算編成状況確認 3. 次年度予算について

《成果と課題》

山口市社会福祉協議会活動基盤強化計画の中の財源確保部門の一環として、予算削減に努めるため、3回にわたり管理者及び予算管理責任者で予算編成会議を行った。

予算削減を進めるにあたり、各事業の精査が必要であり、委託・補助・指定管理事業及び自主財源事業の見直しを行う必要があるため、今後は基盤強化会議で一緒に進めていく。

3 社協の経営理念に基づいた計画的な人材の育成・確保の仕組みづくり

(1) 職員研修会の開催

<令和2年度 職員研修会>

回数	開催日	内容	講師	出席者数
第1回	11月24日(火)	持続可能な社会福祉協議会のあり方を考える～組織マネジメント・人材育成の視点から～	山口市福祉センター 館長 石丸義臣氏	所属長及び主幹・主査・管理者 19名

<令和2年度 ビジネスマナー研修会>

回数	開催日	内容	講師名他	出席者数
第1回	8月26日(水)	感じの良い表情	有限会社ケイ・アンド・ワイ 杉山裕子氏	9名
第2回	9月17日(木)	人にやさしい態度(1)	〃	9名
第3回	9月30日(水)	人にやさしい態度(2)	〃	8名
第4回	10月7日(水)	感じいい話し方(1)	〃	8名
第5回	10月21日(水)	感じいい話し方(1)	有限会社ケイ・アンド・ワイ 温品富美子氏	8名

回数	開催日	内 容	講 師 名 他	出席者数
第6回	11月4日(水)	信頼関係を築く話の聞き方(1)	有限会社ケイ・アンド・ワイ 杉山裕子氏	9名
第7回	11月19日(木)	信頼関係を築く話の聞き方(2)	〃	9名
第8回	12月2日(水)	コミュニケーションの取り方	〃	8名
第9回	12月18日(金)	振り返り・まとめ・成果のプレゼン	〃	9名

《成果と課題》

例年、年間3回全職員対象に開催していた職員研修会は、新型コロナウイルス感染症防止の観点から、密になることを避けるため、対象者を絞っての研修会とした。

リーダー及びミドルリーダーを対象にした職員研修会では、参加対象者を役職が主査以上の職員とし、組織マネジメント・人材育成に焦点を当ててグループワークを行った。本会の現状を踏まえ、リーダーとして必要な知識を皆で共有することが出来た。

ビジネスマナー研修会では、本会に採用されて比較的若い職員や将来リーダーを担う職員を対象に研修を行った。対象者は9人と限定し、毎回2グループに分かれ社会人としての基本的な事柄を徹底して学んだ。

2回の研修とも対象者を絞って行ったことにより、職種にあった内容にすることが出来た一方で、全職員を対象にした研修の必要性も感じた。令和3年度は対策を十分考えながら研修会の方法を工夫したい。

関連事業

1 広報・啓発活動の充実・強化

(1) 社会福祉功労者等表彰状・感謝状贈呈式の開催

○開催日 10月9日(金)午後2時～3時

○会 場 山口県総合保健会館 第1研修室

○参加者 33名

○内 容

表 彰 本会表彰規程に基づき、社会福祉事業関係功労者等の表彰を行い、その功績を讃えた。

部 門	個人	団体
被 表 彰 者	56名	12団体
感謝状贈呈者	7名	1団体

記念講演 新型コロナウイルス感染防止のため、記念講演は中止した。

《成果と課題》

今年度も被表彰者・感謝状贈呈者を対象に社会福祉功労者等表彰状・感謝状贈呈式を開催し、その功績を讃えた。昨年度まで行っていた記念講演は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止し、表彰式のみ行った。表彰者件数は68件(個人・団体)、感謝状贈呈者は8件(活動者・寄付者)であった。

当日は検温、健康チェック、マスク着用、換気、アルコール消毒等を徹底し式典を行い、閉会後は、被表彰者と感謝状贈呈者を部門ごとに写真撮影を行い、本会発行広報紙の「山口市社協だより」で紹介した。

今年度は記念講演を中止し、一般の来場者を呼ばなかったことで地域福祉活動の周知の機会が減ってしまった。来年度も新型コロナウイルス感染症の状況によっては今年度同様小規模な式になる可能性が高いため、「山口市社協だより」だけではなくホームページでの周知も検討したい。

(2) 機関紙「山口市社協だより(こちら社協です)」の発行

○事業内容:年6回「山口市社協だより(こちら社協です)」を発行し、各戸及び関係機関へ配付する。

本会事業や福祉団体の活動紹介、福祉サービスの情報を掲載し、市民から親しまれる紙面づくりに努力した。本年度も全号表紙・裏表紙カラー刷りとなっている。

発行月	発行部数	発行回数(頁)	配布先
4・6・8・10・12・2月	各75, 100部	6回(12頁)	各戸、関係機関

《成果と課題》

今年度も年6回「山口市社協だより(こちら社協です)」を発行した。新型コロナウイルス感染症の影響で記事が減少したこともあり、本会がコロナ禍でどのような活動をしているかの特集を組むなどの工夫をした。

今年度は12頁構成で年6回発行したが、来年度からは8頁に減らし、年6回の発行を予定している。頁数を減らしたことによる経費削減分を来年度全面リニューアル予定のホームページの保守料等に充て、来年度からはホームページでの情報発信を充実させていきたい。

2 福祉団体への支援・協力

(1) 山口市ボランティア連絡協議会の運営

今年度も、役員会とボランティア相互の連携を深めるため視察研修や交流会を行った。

開催日	内 容	会 場	参加者数
4月14日(火)	第1回山口市ボランティア連絡協議会役員会	山口県総合保健会館 第1研修室	13名
6月23日(火)	山口市ボランティア連絡協議会研修会 (研修会は講演会と視察研修を交互に開催)	阿東地域交流センター	47名
7月21日(火)	第2回山口市ボランティア連絡協議会役員会	山口市社会福祉協議会 南部支所	11名
9月15日(火)	第3回山口市ボランティア連絡協議会役員会	山口市社会福祉協議会 南部支所	14名
10月10日(土)	赤い羽根共同募金 街頭募金活動①	山口市中市商店街	14名
10月24日(土)	赤い羽根共同募金 街頭募金活動②	山口市中市商店街	22名
11月2日(月)	第4回山口市ボランティア連絡協議会役員会	山口市社会福祉協議会 南部支所	13名
11月17日(火)	山口市ボランティア連絡協議会交流会	山口県総合保健会館 多目的ホール	65名
12月3日(木)	山口県ボランティア連絡協議会 リーダー研修会	山口県社会福祉会館	4名
令和3年 1月19日(火)	第5回山口市ボランティア連絡協議会役員会	山口市社会福祉協議会 南部支所	11名
1月26日(火)	山口市ボランティア連絡協議会選考委員会	山口市社会福祉協議会 本所	4名
3月25日(木)	第6回山口市ボランティア連絡協議会役員会	山口県社会福祉会館	13名

開催日	内 容	会 場	参加者数
随時	山口市ボランティア連絡協議会支援事業 (メニュー事業)	申請無し	—
中止 ※書面議決	令和2年度山口市ボランティア連絡協議会総会	—	
中止	山口市健康づくりふれあい大会(協力)	—	
中止	山口市ふれあいレク大会	—	

《成果と課題》

一本化した山口市ボランティア連絡協議会の運営は6年目に入った。

6月に実施した研修会では、加入グループである「国際交流ひらかわの風の会」が活動発表を行い、秋の交流会では、会員同士で活動の情報交換をしたいという声を受けて活動発表の機会や展示パネルの設置を行い、お互いの活動への理解を深めた。

新型コロナウイルスの感染拡大により、活動が減ったりできなくなったという団体の声を多数聞いた。行事を開催することでコロナ禍での活動の情報交換の場になったり、モチベーションを保つことにも繋がればと思う。

感染拡大防止の策を講じながら、今後も山口市ボランティア連絡協議会への加入促進、発展につながる取り組みを考え、役員の方と協議し活動の支援を行う。

(2) 山口市民生委員児童委員協議会の運営

* 受託事業

開催日	内 容	会場等
4月3日(金)	監事会	山口市社会福祉協議会本所
4月6日(月)～15日(水)	春の全国交通安全運動	6地区民児協実施
4月15日(水)	会長・副会長会議(第1回)	山口市社会福祉協議会本所
4月23日(木)	山口市民生委員児童委員協議会総会 →書面議決	山口県健康づくりセンター
4月23日(木)	理事会(第1回)	防長苑
5月5日(火)～11日(月)	児童福祉週間	
5月12日(火)～18日(月)	民生委員児童委員の日 活動強化週間	
5月17日(日)	民生委員児童委員の日 一斉取組日	
5月18日(月)	地域福祉部会研修会(第1回)→中止 高齢者福祉部会研修会(第1回)→中止	山口県健康づくりセンター
5月22日(金)	地区会長会議(第1回)	セントコア山口
5月27日(水)	「地区民生委員児童委員協議会定例会における地域交流センター等会議室使用について(意見具申)」申入	山口市役所
5月29日(金)	主任児童委員連絡会議(第1回)→中止	山口県労働者福祉文化中央会館
6月16日(火)	会長・副会長会議(第2回)	山口市社会福祉協議会本所
6月29日(月)	児童福祉部会研修会(第1回)→中止	山口県健康づくりセンター
6月30日(火)	理事会(第2回)	防長苑
7月1日(水)	青少年健全育成・社会を明るくする運動式典・パレード参加 →中止	

開催日	内容	会場等
7月11日(土)~20日(月)	夏の交通安全県民運動	9地区民児協実施
7月13日(月)	ブロック別研修会 北部 (仁保・小鯖・大内・宮野・徳地・阿東)	徳地文化ホール
7月15日(水)	ブロック別研修会 南部 (陶・鑄銭司・名田島・秋穂二島・嘉川・佐山・小郡・秋穂・阿知須)	山口南総合センター
7月21日(火)	ブロック別研修会 中央部 (大殿・白石・湯田・吉敷・平川・大歳)	山口県健康づくりセンター
8月24日(月)	交流研修会→中止	ホテルニュータナカ
8月25日(火)	現任民生委員・児童委員研修会(県社協主催)	山口県セミナーパーク
8月31日(月)	会長・副会長会議(第3回)	山口市社会福祉協議会本所
9月3日(木)	山口市新任民生委員・児童委員研修会(7名)	山口市役所
9月21日(月)~ 30日(水)	秋の全国交通安全運動	12地区民児協実施
9月23日(水)	主任児童委員連絡会議(第2回) 地域福祉部会研修会(第2回)(基本編)	山口県健康づくりセンター
9月24日(木)	地域福祉部会研修会(第2回)(応用編)	山口県健康づくりセンター
9月30日(水)	会長・副会長会議(第4回)	山口市社会福祉協議会本所
10月9日(金)	社会福祉功労者等表彰状・感謝状贈呈式	山口県健康づくりセンター
10月10日(土)	山口市社会福祉大会→中止	
10月15日(木)	中堅民生委員・児童委員研修会(県社協主催)	山口県健康づくりセンター
10月19日(月)	高齢福祉部会研修会(第2回)(北部対象)	山口県健康づくりセンター
10月22日(木)~23日(金)	第89回全国民生委員児童委員大会~群馬大会~→中止	
10月23日(金)	理事会(第3回)	セントコア山口
10月27日(火)	児童福祉部会研修会(第2回) 高齢福祉部会研修会(第2回)(南部対象)	山口県健康づくりセンター
10月28日(水)	第70回山口県総合社会福祉大会→中止	美祢市民会館
11月18日(水)	山口市表彰式	山口市民会館小ホール
11月27日(金)	地区民生委員児童委員協議会 会長・副会長 研修会 (県社協主催)	山口県健康づくりセンター
12月10日(木)~1月3日(日)	年末年始の交通安全県民運動	10地区民児協実施
12月16日(水)	常任理事会(第1回)	防長苑
令和3年 1月21日(木)	児童福祉部会役員会	山口市社会福祉協議会本所
1月22日(金)	地域福祉部会役員会	山口市社会福祉協議会本所
1月22日(金)	主任児童委員連絡会議役員会	湯田地域交流センター
1月25日(月)	地区会長会議(第2回)及び研修会	セントコア山口
1月26日(火)	高齢福祉部会役員会	宮野交流センター
2月17日(水)	山口市新任民生委員・児童委員研修会(2名)	山口市役所
2月19日(金)	会長・副会長会議(第5回)	防長苑
2月26日(金)	常任理事会(第2回)	防長苑
3月15日(月)	児童委員・主任児童委員研修会(山口県主催)	山口県健康づくりセンター

開催日	内容	会場等
3月19日(金)	理事会(第4回)	防長苑
○地区民児協だより	5月発行	
○地区民児協定例会	毎月1回各地区にて実施	
○県民児協活動支援事業[令和2年度指定]	大内・大歳・嘉川・佐山 地区民児協	
○市民児協活動支援事業[令和2年度指定]	白石・湯田・吉敷・名田島・徳地・阿東地区民児協	

《成果と課題》

令和元年12月に民生委員・児童委員の一斉改選が行われ、民生委員・児童委員の活動が活動内容も広範多岐にわたっており、円滑に出来るよう、交流研修会や専門部会研修会でグループワーク等計画していたが、コロナ禍のため、十分な研修会が行えなかった。組織改編された部会での研修会も5月、6月は実施できず、9月10月の部会研修会でコロナ感染対策を十分に行い、2回に分けて実施した。

今後は、コロナ感染防止に気を付けながら、コロナ禍による高齢者の引きこもり防止等にも取り組み、人との関りが欠かせない民生委員・児童委員活動をどのように進めていくかが課題となる。

(3) 山口市介護者の会の運営

開催日	行事	内容	参加人数	会場
5月 21日(木)	役員会	施設訪問・リフレッシュ旅行行先等について	8名	山口市社協南部支所
5月 21日(木)	総会	総会及び介護講演会 ※中止 書面決議		
6月 18日(木)	介護実践教室	認知症の方への対応について考えてみよう	会員14名 一般3名	山口市社協南部支所
7月 2日(木)	施設訪問	医療法人和同会 山口リハビリテーション病院 ※中止		
7月 30日(木)	役員会	リフレッシュ旅行の行き先について 介護講演会について	7名	山口市社協南部支所
9月 17日(木)	介護相談会	包括支援センター等関係機関との相談会 (仁保地区)	医療相談者2名 福祉相談者3名	仁保地域交流センター
10月 15日(木)	介護実践教室	介護のポイント	会員8名	セミナーパーク
11月 19日(木)	リフレッシュ旅行及び在宅介護者の集い	長門方面 在宅介護者の会と同時開催	会員24名	大谷山荘
12月 10日(木)	介護講演会	プライマリケアとひきこもりについて	会員15名 一般9名	山口市社協南部支所
令和 3年 1月 14日(木)	役員会	茶話会について 令和3年度事業計画(案)について	6名	山口市社協南部支所
2月 18日(木)	茶話会	山口市介護者の会員対象の茶話会 ※中止		

開催日	行事	内 容	参加人数	会 場
3月 23日(火)	役員会	令和3年度総会等について	6名	山口市社協南部支所

《成果と課題》

山口市介護者の会が平成27年度から一本化され、山口市全体で実施される研修会の見直しや、市内から参加しやすい場所を選定するなど、会員が参加しやすい方法を協議した。また、今までのエリアでも引き続き事業が行えるように事業調整を行うとともに、会員以外の一般の方でも参加できる研修会を開催した。今後の運営を支援していく上で、広域であること、会員の高齢化が進んでいることなど、在宅介護をしている会員の増強や会の運営内容などが課題となる。具体的には、介護する人が気軽に行ける場所づくりや、会員同士の交流を図っていきたいと考えている。本年度は新規事業として、介護者と要介護者が一緒に出かけられる旅行の実施を検討したが、新型コロナウイルス感染拡大防止等の観点から中止した。今後も実施に向けて、継続的に協議していく。社会福祉法人との連携等により、安心安全に旅行ができる環境づくりも検討したい。また、リフレッシュ旅行は一般の方も多数参加され、会員との交流を通して介護者の会を知っていただき、結果として旅行に参加された一般の方の中から3名が会への入会に繋がった。今後も活動の充実と会員の交流を図り、会員確保と会員福祉の増強に努めていく。

3 施設の管理運営

(1) 山口市老人福祉館の運営 * 受託事業

開館日数 老人福祉館265日・児童館264日

臨時休館 4月13日(月)～5月16日(土) 緊急事態宣言の為 26日

9月 2日(水) 台風接近の為 1日

12月19日(土) 館内清掃の為 1日

令和3年2月5日(金) 児童クラブ新設に伴う施設整備の為(児童館のみ) 1日

老人館28日・児童館29日

【山口市福祉センター(老人福祉館・山口児童館)利用状況】

	利用者(名)	月平均
老人福祉館	5,302	441
山口児童館	18,863	1,571
合 計	24,165	2,012

(定期利用グループ)

事業内容	回数/月	利用者(名)	事業内容	回数/月	利用者(名)
民踊等 (3グループ)	10	589	謡曲・詩吟 (2グループ)	5	200
ダンス (2グループ)	6	476	囲碁・将棋 (3グループ)	6	820
人形・手芸 (2グループ)	4	88	三味線	3	196
合 計					2,369

(不定期利用グループ)

事業内容	回数/月	利用者(名)	事業内容	回数/月	利用者(名)
体操	2	100	オカリナ	2	103
日本習字 ※3月に散会	2	435	編み物	1	60
日本画	1	24	朗読	4	280
詩吟 ※7月に散会	3	24	合計		1,026

(新規利用団体)

光々会(不定期実施) 計22人(全11回)

(大殿地区社会福祉協議会)

行くっちゃ! おおどの健康教室(第1~4金曜日実施) 計280人(全16回)

※新型コロナウイルス感染症対策の為、5月・1月~3月は中止

【山口市福祉センター講座(8回実施)】

日付	講座名	参加者(名)	日付	講座名	参加者(名)
8月25日(火)	萩焼	11	11月10日(火)	絵手紙	10
9月25日(金)	ヨガ①	15	11月24日(火)	手芸	14
10月27日(火)	スワッグ	11	11月27日(金)	ヨガ③	13
10月30日(金)	ヨガ②	14	12月26日(土)	小さな門松づくり	13

【山口市福祉センター交流モデル事業】

○新型コロナウイルス感染症対策の為、中止

【ボランティアセンター利用状況】

	利用者(名)	月平均
ボランティアセンター	589	49

《成果と課題》

○運営方針

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、高齢者の安心・安全な施設利用を重点課題にして運営を行った。また、昨年度に引き続き、利便性、居心地の良さ、可能な限りニーズに応えるという方針で運営を行い、接遇も含めて雰囲気の良い老人福祉館づくりができた。特に、自動ドアの修繕を行い、不便が解消されたとの声が多く聞かれた。

○山口市福祉センター講座

美術、工芸、運動などの内容で実施した“山口市福祉センター講座”は、実績のある講師のおかげで事後アンケートはほとんど満点に近い状態だった。今後も講座や講師の情報収集に努め、高齢者が楽しめる講座を企画したい。広報活動については、市社協だより・市社協ホームページの活用に加え、チラシを作成し、山口市老人クラブ連合会山口支部の集まりで配布した。

また、山口児童館と共同で行う冬の特別講座では、多世代交流を目的とした講座を企画した。老人クラブに

講師を紹介してもらい、山口児童館・老人福祉館が共同で募集した参加者に文化や技術を伝えるというものである。講師と参加者の両方が楽しく参加できる講座となった。

○駐車場

2月に行われた駐車場の白線工事により、円滑な駐車ができるようになった。しかし、駐車場不足は解消されていない。来館者の多いときは、児童遊園の一部を利用して対応している。

○感染症対策

年間を通して、スタッフ・利用者を含め、マスク着用、検温、手指消毒、施設内のドアノブ等の消毒を行い、習慣化した。自動手指消毒器を2台設置したことで、受付の滞りが多少解消された。次年度もこのような取り組みを継続していきたい。

(2) 秋穂コミュニティセンターの運営 * 受託事業

○年間来館者数

	開館日数 (日)	総来館者 人数(名)	地域別内訳(名)		
			秋穂地域	山口市内	その他
合計	336	9,073 (児童クラブ「秋穂児童にこにこ学級」通級児童6,114名含む)	7,932	759	382
月平均		756.1	661.0	63.3	31.8
一日平均		27.0	23.6	2.3	1.1

(3) 阿知須社会福祉センターの設置経営 令和2年度解体完了

○基本財産の内容

- 建物:①鉄骨造亜鉛メッキ鋼板葺2階建社会福祉センター1棟(280.43㎡)
②鉄骨造亜鉛メッキ鋼板葺平家建物置1棟(42.43㎡)

住所:山口県山口市阿知須字飛石2743番地、2747番地1、2747番地1先所在

○基本財産の処分については、令和2年2月17日付けで山口市長宛で「基本財産処分承認申請書」を提出し2月19日付けで承認を受け、8月28日付けで解体が完了した。

(4) 山口市阿知須健康福祉センター(おげんきかん)の運営 * 受託事業

○事業内容:平成15年度に開館した施設(18年目)の指定管理者として円滑な運営を行う。

年間延利用者 11,411名(前年度比 16,271名減) 月平均 951名 の利用

	福祉関係	保健関係	各種団体	定期利用	社協関係	高齢者 娯楽室	その他	合計
合計(名)	904	3,009	2,515	2,656	764	1,177	386	11,411
%	7.9	26.4	22.0	23.3	6.7	10.3	3.4	100

- * 福祉関係 (3者会議、定例民協、情報交換会、福祉相談、視察研修、各種講習会など)
- * 保健関係 (健康相談、健診事業、子育て支援事業、各種健康教室など)
- * 各種団体 (コムニオの会、ほほえみの会、母子保健推進協議会、食生活改善推進協議会、身体障害者福祉更生会、ことぶき会、婦人会、老人クラブ、手話友の会、シルバー人材センターなど)
- * 定期利用 (きんもくせい、3B、AMZ創作ダンス、さわやかコーラス、みのり会、民児協、いきいき体カづくり、きらら竹とんぼ、子育て支援センター、ブックスタート囲碁同好会など)
- * 社協関係 (社協の各種事業、地区社協事業、研修会など)
- * 高齢者娯楽室 (囲碁(文化祭)・将棋)
- * その他 (おげんきかん祭、日赤、コープ委員会など)
- * コロナ禍が続く中、利用者が減少した。

山口市の福祉概要

(令和3年3月31日現在)

人 口	189,600人 (住民基本台帳による)	
世 帯 数	89,507世帯	
高齢化率	29.76%	
65歳以上高齢者数	56,424人	
ひとり暮らし高齢者数 (R2.5.1)	7,569人	
75歳以上二人暮らし世帯数 (H2.5.1)	2,882世帯	
民生委員・児童委員数	401人	
主任児童委員数	43人	
身体障害者手帳保持者	7,251人	
療育手帳保持者	1,561人	
精神障害者保健福祉手帳保持者	1,876人	
ひとり親世帯数(平成27年国勢調査)	6,903世帯	
被保護世帯数	1,117世帯	
保 健 福 祉 施 設 数	養護老人ホーム	3箇所
	特別養護老人ホーム	20箇所
	軽費老人ホーム(ケアハウス含む)	6箇所
	デイサービスセンター(通所介護)	107箇所
	デイケアセンター(通所リハ)	10箇所
	在宅介護支援センター	3箇所
	生活支援ハウス	1箇所
	介護老人保健施設	10箇所
	訪問看護ステーション	24箇所
	グループホーム(認知症)	23箇所
	宅老所	3箇所
	保 育 所	38箇所 (うち1箇所休園を含む)
	地域型保育事業所	8箇所
	児童養護施設	3箇所
	障害福祉サービス事業所(①～⑤の計)	83箇所
	① 生活介護事業所	24箇所
	② 自立訓練(生活訓練・宿泊型自立訓練)事業所	3箇所
	③ 就労移行支援事業所	10箇所
	④ 就労継続支援事業所	29箇所
	⑤ 共同生活援助事業所	17箇所
	相談支援事業所	12箇所
	障害者支援施設(施設入所支援)	6箇所
	地域活動支援センター	5箇所
	福祉型児童発達支援センター	1箇所
	障害児通所支援事業所(⑥～⑨の計)	50箇所
	⑥ 福祉型児童発達支援事業所	16箇所
	⑦ 医療型児童発達支援事業所	1箇所
⑧ 放課後等デイサービス事業所	30箇所	
⑨ 保育所等訪問支援事業所	3箇所	
母子生活支援施設	1箇所	

